

u-DIEX 利用者向けガイド

1. 9版

2022年10月1日

株式会社トヨタシステムズ

■商標

- ・ Java およびその他の Java を含む商標は、米国 Oracle Corporation の商標であり、同社の Java ブランドの技術を使用した製品を指します。
- Solaris は、米国 Oracle Corporation の商標です。
- Windows, Windows NT, Internet Explorer は米国 Microsoft 社の商標または登録商標です。
- AIX は米国 IBM 社の商標です。
- HP-UX は米国 Hewlett Packard 社の商標です。

更新履歴

No.	更新日付	版数	更新内容
1	2002/07/07	0.5	0.5 版(暫定版)を公開
2	2002/08/12	1.0	1.0 版を公開
3	2003/02/24	1.1	1.1 版を公開
4	2011/06/27	1.2	Sun Microsystems 社⇒Oracle 社に修正 Java1.4 以降 Web-EDI の公開対応
5	2013/03/18	1.3	u-DIEX サービス紹介ページ移行に伴い URL 修正
6	2014/04/25	1.4	推奨環境の更新に伴い修正
7	2015/03/23	1.5	JDK/JRE1.3 用 URL、画面を削除
8	2018/04/09	1.6	一部画像を修正
9	2019/01/01	1.7	会社名変更
10	2022/4/28	1.8	Edge 対応に伴い、アップロード/ダウンロード手順の変更 通信部品の記述削除
11	2022/10/1	1.9	サービスサイト URL 変更に伴い、参照先 URL の記述変更

目次

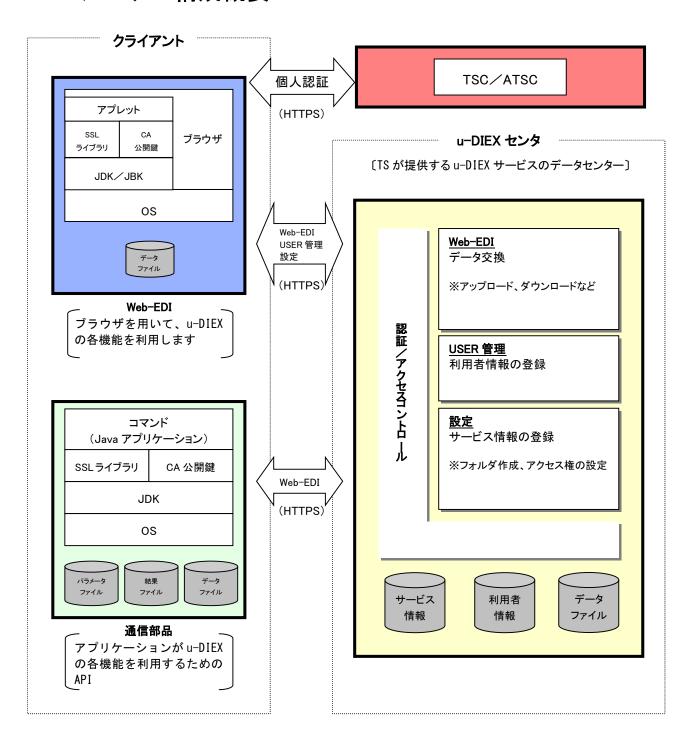
1.	はじ	.めに	6
2.	シス	.テム構成概要	6
_	144 det	7 ×00 14-	_
3.		環境	
3	3.1.	Web-EDI	7
4.	シス	.テム利用手続き	8
	l.1.	USER 管理	g
		設定	
		~ v -	
5.	想	定業務	10
5	5.1.	Web-EDI	11
5	5.2.	USER 管理	13
5	i.3.	設定	14
6.	Web [.]	-EDI	15
_	3.1.	Web-EDI	16
U	6.1.1 6.1.1		
	6.1.2		
	6.1.3		
	6.1.4		
	6.1.5		
	6.1.6		
	6.1.7		
	6.1.8		
	6.1.9		
	6.1.1		
	6.1.1	** *** *	
	6.1.1	2. メール通知設定	58
	6.1.1	3. 利用者履歴	62
	6.1.1	4. プロパティ	66
	6.1.1	5. 送信先設定	78
	6.1.1	6. アドレス帳	86
	6.1.1	7. 仕分検索	93
7.	USE	R 管理	117
7	' .1.	一般ユーザ用	118
		. ユーザ情報表示	
	7.1.2	ユーザ情報変更	121

7.1.3.	プロセス情報表示	124
7.2. 会	社管理者用	127
7.2.1.	会社情報表示	129
7.2.2.	組織情報表示	131
7.2.3.	ユーザ情報表示	134
7.2.4.	ユーザ情報作成	137
7.2.5.	ユーザ情報変更	140
7.2.6.	ユーザ情報削除	144
7.2.7.	プロセス情報表示	148
7.2.8.	プロセス情報作成	151
7.2.9.	プロセス情報変更	154
7.2.10.	プロセス情報削除	158
7.2.11.	一括登録	162
8. 設定		168
8.1. オ	ーナ・スーパーユーザ用	169
8.1.1.	サービス設定ウィザード	171
8.1.2.	フォルダ作成	179
8.1.3.	フォルダ変更	183
8.1.4.	フォルダ削除	188
8.1.5.	フォルダー括登録	191
8.1.6.	定義体の登録	199
8.1.7.	スーパーユーザの設定	204
8.1.8.	フォルダ削除履歴	208
8.1.9.	一括登録履歴	211
8.1.10.	ロール設定	214
8.1.11.	ロールー括登録	220
9. u-DIEX	〔補足説明	228
9.1. デ	一タの名称について	229
9.2. ア	クセス権について	231
9.3.	ールについて	232
9.4. 送·	信先について	234
9.5. ¬	一ド形式について	236
9.6. 有	効期限・回答期限・公開日時について	237
9.7. 未	読/既読について	238
9.8. ダ	ウンロード先について	240
9.9. パ	ッケージの転送について	241
10. 用語	集	243

1. はじめに

本書では、u-DIEX を利用される方を対象に、u-DIEX のシステム構成、u-DIEX の機能と操作手順について説明します。

2. システム構成概要



3. 推奨環境

u-DIEX を利用するにあたり、u-DIEX を動作させる環境を用意する必要があります。また、クライアントにアプリケーションのインストールと設定を行う必要があります。以下に、Web-EDI と通信部品の推奨環境の説明を示します。

3.1. Web-EDI

【Web-EDI の推奨環境】

Web-EDI を利用する推奨環境は以下の URL を参照ください。

- •3.1.Web-EDI: https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/u-DIEX_UsersGuide2J.html
- ・Web-EDI 利用機能のダウンロード、設定方法はホームページより提供します。

ホームページの URL 日本語版: https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/setup-ja.html

英語版:https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/guide-en/

【u-DIEX の接続先 URL】

Web-EDI で u-DIEX を利用される場合、アクセスする URL は Java 環境が ComponentAA(トヨタ標準の Java 実行環境)用と JDK/JRE(Oracle 社製の Java 実行環境)用により異なります。

●日本語 ComponentAA(トヨタグループ標準の Java 実行環境)用 URL

ATSC 認証 : https://www.u-diex.jp/home-caa-ja/atsc/
TSC 認証 : https://www.u-diex.jp/home-caa-ja/atsc/

●英語版 ComponentAA(トヨタグループ標準の Java 実行環境)用 URL

ATSC 認証 : https://www.u-diex.jp/home-caa-en/atsc/
TSC 認証 : https://www.u-diex.jp/home-caa-en/tsc/

●日本語版 JDK/JRE(Oracle 社製の Java 実行環境)用 URL

ATSC 認証 : https://www.u-diex.jp/home-edi-ja/atsc/
TSC 認証 : https://www.u-diex.jp/home-edi-ja/atsc/

●英語版 JDK/JRE(Oracle 社製の Java 実行環境)用 URL

ATSC 認証 : https://www.u-diex.jp/home-edi-en/atsc/
TSC 認証 : https://www.u-diex.jp/home-edi-en/atsc/

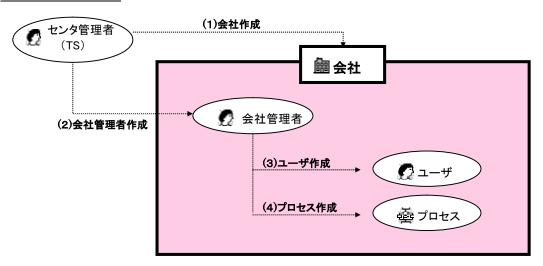
4. システム利用手続き

u-DIEX を利用するにあたり、ブラウザにて利用者登録(USER管理)とサービス登録(設定)の事前準備を行います。

4.1. USER 管理

USER 管理にて、u-DIEX を利用する会社・ユーザ・プロセスを作成する作業を行います。

利用者作成の流れ



(1)会社作成

作成権限:センタ管理者(TS)

u-DIEX を利用する会社を作成します。

(2)会社管理者任命

任命権限:センタ管理者(TS)

会社内のユーザを、その会社の代表者として会社管理者に任命します。

※会社作成時はユーザが一人も登録されていないので、このときのみセンタ管理者(TS)がユーザを作成し、そのユーザを会社管理者に任命します。

(3)ユーザ作成

作成権限:会社管理者

会社管理者が、その会社に属するユーザを作成します。

(4)プロセス作成

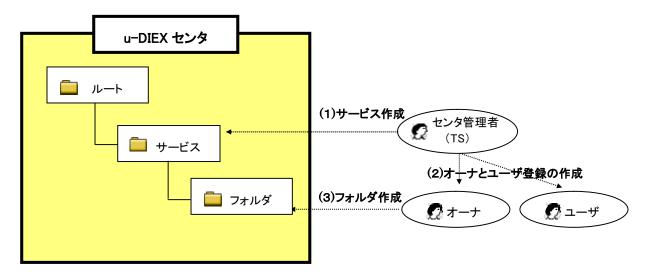
作成権限:会社管理者

会社管理者が、その会社に属するプロセスを作成します。

4.2. 設定

設定にて、ユーザまたはプロセスが利用するサービスとフォルダを作成する作業を行います。

サービス登録の流れ



(1)サービス作成

作成権限: センタ管理者(TS)

u-DIEX センタ内に新たなサービスを作成します。

(2)オーナとユーザの作成

作成権限: センタ管理者(TS)

サービスを利用するオーナとユーザを作成します。

(3)フォルダ作成

作成権限:オーナ

サービス内にファイルまたはパッケージを格納するフォルダを作成します。

5. 想定業務

u-DIEXの利用者やサービスを具体的に設定し、利用者の準備作業や実際の業務でどのようにu-DIEXを利用するのかを説明します。

登場人物とサービス構造

想定業務での登場人物の詳細設定、サービス構造について説明します。

■登場人物(設計会社)

項目名	値	備考		
会社名	設計会社			
会社コード	DEMO1			
ユーザ名	設計太郎	「設計プロセス」の管理者		
ユーザ ID	SEKKEI0001	「部品見積サービス」のオーナ 「設計会社」の会社管理者		
プロセス名	設計プロセス	アプリ連携して、u-DIEX センターにデー		
プロセス ID	SEKKE I P001	タのアップロード・ダウンロードを行う		

■登場人物(製造会社)

項目名	値	備考
会社名	製造会社	
会社コード	DEMO2	
ユーザ名	製造花子	「部品見積サービス」のユーザ
ユーザ ID	SEIZ0U0001	「製造会社」の会社管理者

■サービス構造

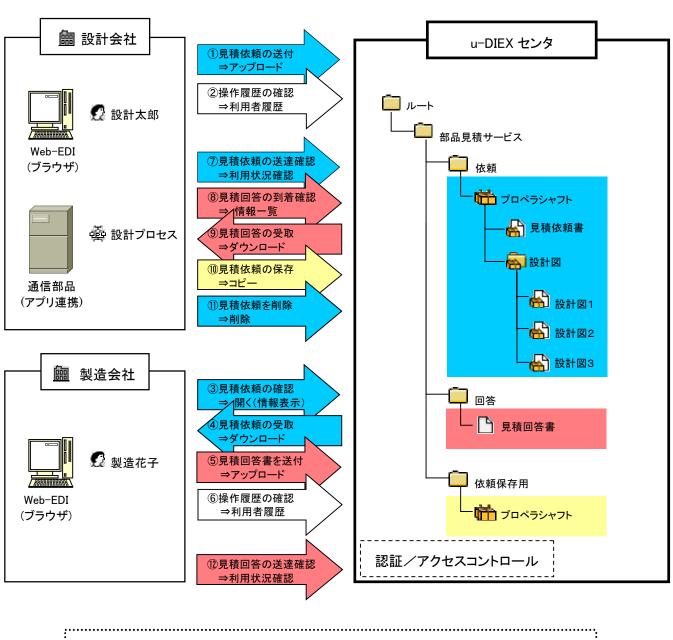
サービス名:部品見積サービス

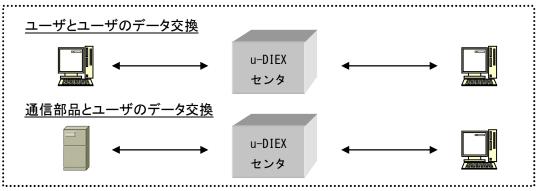
オーナ: 設計太郎(SEKKEI0001)、設計プロセス(SEKKEIP001)

フォルダ	送信先	アクセス権
一 部品見積サービス	SEKKEI0001	
1 T	SEKKEIP001	READ
	SEIZ0U0001	
体頼	SEIZ0U0001	READ
	SEKKE10001	
	SEKKEIP001	READ/WRITE
	SEIZ0U0001	
└──	SEKKEI0001	READ/WRITE
	SEKKEIP001	NLAD/ WINT IL

5.1. Web-EDI

設計会社から製造会社に対し、設計図と見積依頼書を送り、製造会社が設計会社に対し、見積回答書を返す業務の流れに「u-DIEX」を適用した場合の説明を行います。





【想定業務(Web-EDI)の詳細説明】

① 設計会社は、見積依頼書と設計図を u-DIEX センタへ送付します。

(Web-EDI または、通信部品によるアップロード)

② 設計会社は、見積依頼書と設計図が正確に u-DIEX センタに送付されたかを確認します。

(Web-EDI または、通信部品による利用者履歴)

③ 製造会社は、見積依頼書の内容を確認します。

(Web-EDI による開く(表示))

④ 製造会社は、見積依頼書と設計図を受け取り、それを基に見積もりを行います。

(Web-EDI によるダウンロード)

⑤ 製造会社は、見積回答書を設計会社宛てに u-DIEX センタへ送付します。

(Web-EDI によるアップロード)

⑥ 製造会社は、見積回答書が正確に u-DIEX センタに送付されたかを確認します。

(Web-EDI による利用者履歴)

⑦ 設計会社は、製造会社が見積依頼書と設計図を受け取ったかを確認します。

(Web-EDI または、通信部品による利用状況確認)

⑧ 設計会社は、見積回答書が送付されているか確認します。

(Web-EDI または、通信部品による情報一覧)

⑨ 設計会社は、見積回答書を受け取り、内容を確認します。

(Web-EDI または、通信部品によるダウンロード)

⑩ 設計会社は、見積依頼書と設計図を依頼保存用に保存します。

(Web-EDI または、通信部品によるコピー)

① 設計会社は、送付した見積依頼書と設計図が不要となり削除します。

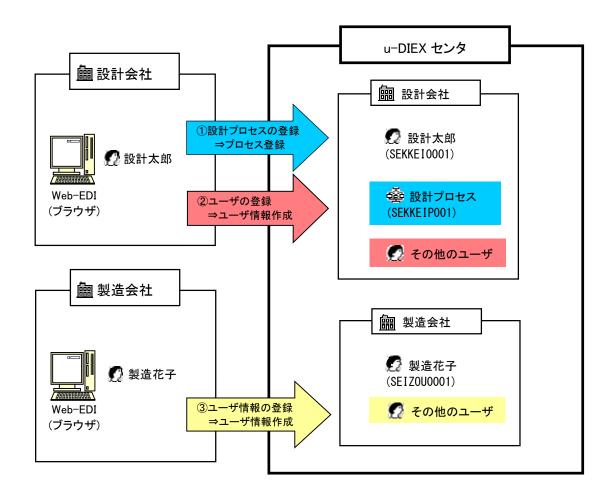
(Web-EDI または、通信部品による削除)

② 製造会社は、設計会社が見積回答書を受け取ったか確認します。

(Web-EDI による利用状況確認)

5.2. USER 管理

設計会社の会社管理者である設計太郎さんは、u-DIEX センタの設計会社にプロセスを登録します。

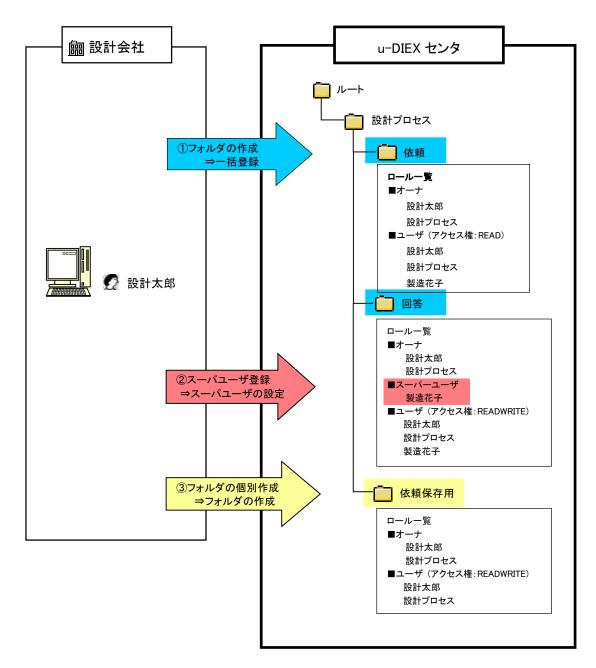


【想定業務(USER 管理)の詳細説明】

- ① 設計太郎さんが、u-DIEX センタの設計会社に設計プロセスを登録します。 (プロセス情報登録)
- ② 設計太郎さんが、u-DIEX センタの設計会社にユーザを登録します。 (ユーザ情報登録)
- ③ 製造花子さんが、u-DIEX センタの製造会社にユーザを登録します。 (ユーザ情報登録)

5.3. 設定

サービスオーナである設計太郎さんが、新規サービスである部品見積サービスの設定を行います。



【想定業務(設定)の詳細説明】

① 設計太郎さんは、依頼フォルダと回答フォルダを作成します。

(フォルダー括登録)

② 回答フォルダに対して、製造花子さんをスーパーユーザに設定します。

(スーパーユーザの設定)

③ 設計太郎さんは、個別に新たなフォルダを作成します。

(フォルダ作成)

6. Web-EDI

6 章では、u-DIEX における Web-EDI 機能について説明します。Web-EDI は、データ交換を行う機能です。 Web-EDI の環境として、ブラウザを利用する Web-EDI、コマンドを実行することによりデータ交換を行う通信部品があります。6.1 章では Web-EDI、6.2 章では通信部品の機能について説明しています。

6.1. Web-EDI

6.1 章では、u-DIEX 利用環境のひとつである Web-EDI の各機能について説明します。 Web-EDI は、ブラウザを用いてデータ交換を行うための機能です。

【Web-EDI の主な機能】

機能名	説明
What's New 表示	Web-EDI TOP 画面に相手先からの新着情報を表示します。
フォルダツリー	利用可能なサービス/フォルダ/パッケージ/パッケージフォルダを表示します。
	ローカルディスクのファイル/フォルダ(ディレクトリ)を u-DIEX センタにアップロードしま
アップロード	す。
ダウンロード	u-DIEX センタのデータをローカルディスクにダウンロードします。
開く	ブラウザ上に選択したデータの内容の表示と入力を行います。
削除	u-DIEX センタのデータを削除します。
コピー	u-DIEX センタでデータをコピーします。
情報一覧	自分が参照可能なデータを表示します。
検索	検索条件に一致するデータを表示します。
利用状況確認	カレントフォルダのデータの最終利用履歴を表示します。
利用者履歴	ログオンユーザの u−DIEX 利用履歴を表示します。
メール通知	相手先からの新着情報をメールで受け取ります。
仕分検索	アップロードまたはコピーの送信先を仕分マスタから設定します。

6.1.1. メインメニュー

u-DIEX ヘアクセス後、認証に成功するとブラウザにメインメニュー画面が表示されます。メインメニュー画面は「Web-EDI Light!」、「Web-EDI」、「USER 管理」、「設定」、その他のリンク先へリンクしています。

●ログオン後のメインメニュー画面



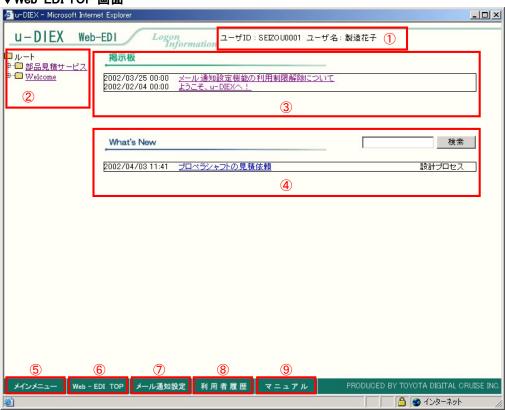
●メインメニュー画面構成

No.	機能名	機能説明
1	Web-EDI Light!	Web-EDI Light!画面が表示されます。
2	Web-EDI	Web-EDI 画面が表示されます。
3	USER 管理	USER 管理画面が表示されます。
4	設定	 設定画面が表示されます。
⑤	English	u-DIEX 英語版に画面が切り替わります。
6	u-DIEX とは?	u-DIEX の概要紹介のページが表示されます。
7	u-DIEX ご利用にあたって	u-DIEX を利用するための設定手順解説ページが表示されます。
8	利用規約	u-DIEX の利用規約が表示されます。
9	お問い合わせ	u-DIEX に関する問い合わせ先が表示されます。

6.1.2. Web-EDI 画面

メインメニュー画面で、「Web-EDI」ボタンをクリックすると、Web-EDI TOP 画面が表示されます。Web-EDI 画面では、掲示板や What's New が表示されます。サービスツリーのリンク部分をクリックすると情報一覧画面が表示されます。

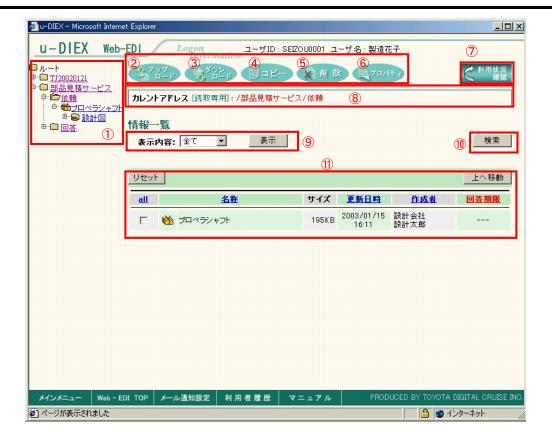
▼Web-EDI TOP 画面



●Web-EDI TOP 画面構成

No.	機能名	機能説明	
1	ログオンインフォメーション	ログオンしているユーザ ID とユーザ名が表示されます。	
2	サービスツリー	ログオンユーザが利用できるサービスが表示されます。	
		サービス配下は 宀‐‐をクリックしてツリー構造を展開していきます。	
	掲示板	u-DIEX センタ管理者(TS)が、u-DIEX 利用ユーザに対してメッセージを	
		書き込みます。そのメッセージー覧が掲示板に表示されます。	
4	What's New	ログオンユーザに対しての新着情報が表示されます。	
5	メインメニュー	メインメニュー画面が表示されます。	
6	Web-EDI TOP	Web-EDI TOP 画面が表示されます。	
7	メール通知設定	メール通知設定画面でメール通知設定を行うことができます。メール通	
		知設定の機能については 6.1.12 章を参照してください。	
8	利用者履歴	利用者履歴画面が表示されます。利用者履歴の機能については 6.1.13	
		章を参照してください。	
9	マニュアル	Web-EDI のオンラインマニュアル画面が表示されます。	

▼Web-EDI 情報一覧画面



●Web-EDI 情報一覧画面構成

No.	機能名	機能説明
1	フォルダツリー	ログオンユーザが利用できるサービス・フォルダ・パッケージ・パッケージフォルダが
		表示されます。ヰ゚゚゙をクリックしてツリー構造を展開していきます。
2	アップロード	ローカルディスクのデータを u-DIEX センタにアップロードします。アップロードの機
		能については 6.1.3 章を参照してください。
3	ダウンロード	u-DIEX センタのデータをクライアントのローカルディスクにダウンロードします。ダウ
		ンロードの機能については 6.1.4 章を参照してください。
4	コピー	u-DIEX センタのデータをコピーします。コピーの機能については 6.1.8 章を参照して
		ください。
⑤	削除	u-DIEX センタのデータを削除します。削除の機能については 6.1.7 章を参照してく
		ださい。
6	プロパティ	u-DIEX センタのデータの属性を表示します。
7	利用状況確認	カレントフォルダのデータの最終利用履歴を表示します。利用状況確認については
		6.1.11 章を参照してください。
8	カレントアドレス	現在一覧表示しているアドレスを表示します。
9	表示内容	現在表示している情報一覧の中から、ログオンユーザが未読/既読の情報を絞り
		込んで一覧表示します。
10	検索	現在表示しているアドレス以下の情報が検索できます。検索の機能については
		6.1.10 章を参照してください。
11)	情報一覧	カレントアドレスにあるデータを表示します。情報一覧の機能については6.1.10章を
		参照してください。

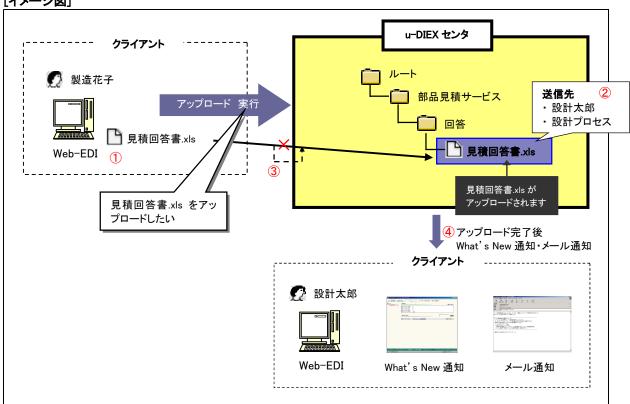
6.1.3. アップロード

【機能説明】

[機能概説]

クライアントのローカルディスクに存在するファイルまたはフォルダ(ディレクトリ)を、u-DIEX センタにアップロードします。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『製造花子さんが、u-DIEX 上の"/部品見積サービス/回答/"配下に、設計太郎さんと設計プロセス宛ての見積回答書.xls をアップロードする』流れを表しています。

[主な機能]

① アップロードできるデータの種類

アップロードできるデータの種類として、ファイルとフォルダ(ディレクトリ)があります。一度のアップロードで複数のデータを同時にアップロードすることができます。また、大容量(一度の処理で 2GB が上限)のデータをアップロードすることができます。

※アップロードによるデータの名称とデータの定義については、9.1 章『データの名称について』をご覧下さい。

② 送信先

アップロードするデータに対して、送信先を設定します。送信先を設定することで、データを公開したい相手 を選ぶことができます。

※送信先についての詳細は、9.4章『送信先について』をご覧下さい。

③ リトライ機能

データのアップロード中に通信障害が発生した場合、アップロードを途中から再開するリトライ機能があります。

④ What's New 通知・メール通知

データを公開した相手に、データをアップロードしたことを通知します。メッセージまたはメールによるの通知により、送信先ユーザはいち早くアップロード情報を知ることができます。

※メール通知の設定については、6.1.12章『メール通知設定』をご覧下さい。

[その他の機能]

⑤ 期限

アップロードするデータを、いつ u-DIEX センタに公開をするか(公開日時)、送信先ユーザからいつまでに回答をもらいたいか(回答期限)、いつまで u-DIEX センタに公開をするか(有効期限)を設定することができます。

※有効期限・回答期限・公開日時の詳細については、9.7章『有効期限・回答期限・公開日時について』をご覧下さい。

⑥ コード形式

データのコード形式を設定することで、データを公開する相手がデータのコード形式を知ることができます。

※コード形式の詳細については、9.5章『コード形式について』をご覧下さい。

⑦ データの名称

データの表示名称を設定することで、クライアントでの名称とは別の u-DIEX 上での表示名称を設定することができます。

⑧ コメント

アップロードするデータにコメントを設定することできます。コメントには、アップロードするデータの詳細情報を設定することができます。

【画面を用いた操作説明】

イメージ図のアップロード作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●アップロード先フォルダを指定

- ① アップロードするフォルダをフォルダツリーから選択します
- ②「アップロード」ボタンをクリックします



●アップロードデータの送信先・期日・コード形式・転送モードの設定

① 送信先を設定します

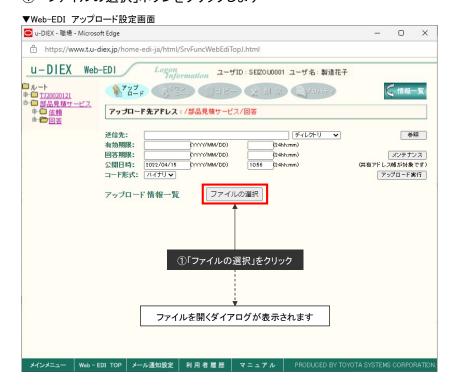


- ② 有効期限、回答期限、公開日時を設定します
- ③ コード形式を設定します



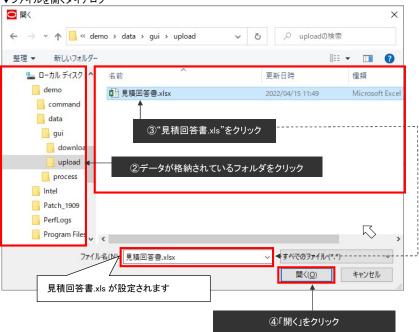
●アップロード元データの設定

①「ファイルの選択」ボタンをクリックします



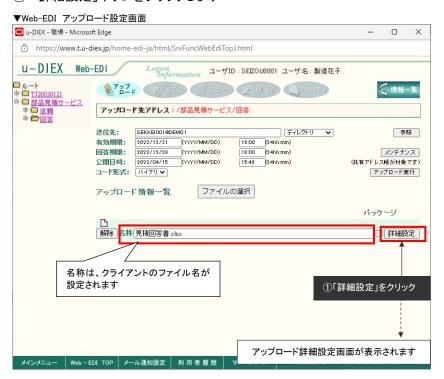
- ② クライアントのアップロード元ファイルの格納されているフォルダを選択します
- ③ アップロードするデータをクリックします
- ④「開く」ボタンをクリックします

▼ファイルを開くダイアログ

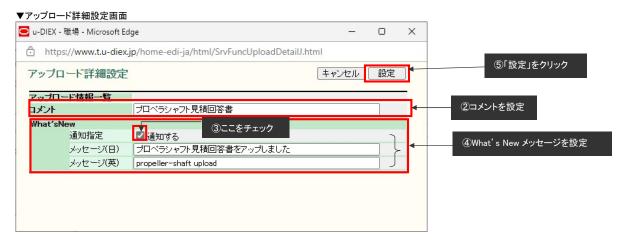


●アップロードデータの詳細設定

①「詳細設定」ボタンをクリックします



- ② コメントを設定します
- ③ What's New の通知指定にチェックが入っていることを確認する。
- ④ What's New(日)、What New(英)のメッセージを設定します
- ⑤ 「設定」ボタンをクリックします



●アップロードの実行

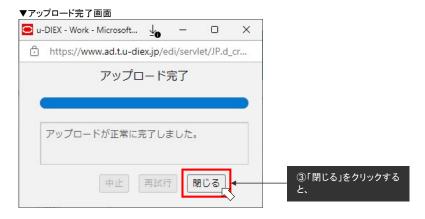
①「アップロード実行」ボタンをクリックします



② アップロード中の画面が表示されます

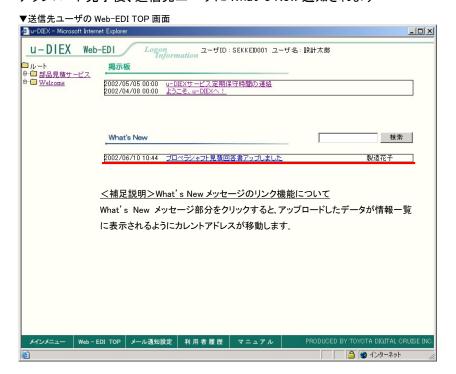


③ アップロードの正常終了画面が表示されます



<補足説明 その1>

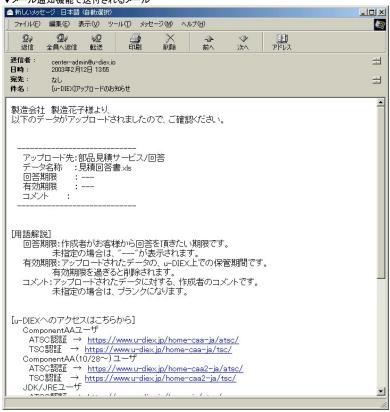
アップロード完了後、送信先ユーザに What's New 通知されます



<補足説明 その2>

メール通知設定で送付されるメールの内容

▼メール通知機能で送付されるメール



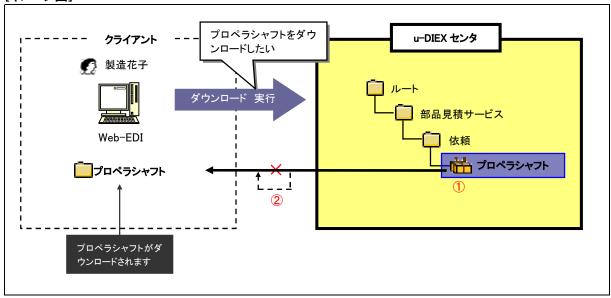
6.1.4. ダウンロード

【機能説明】

[機能概説]

u-DIEX センタのデータを、クライアントのローカルディスクにダウンロードします。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『製造花子さんが、u-DIEX 上の"/部品見積サービス/依頼/"配下のプロペラシャフトをダウンロードする』流れを表しています。

[主な機能]

① ダウンロードできるデータの種類

u-DIEX センタの参照できる全てのデータをダウンロードすることができます。一度のダウンロードで複数のデータをダウンロードすることができます。

※ダウンロードによるデータの名称とデータ定義については、9.1 章『データの名称について』をご覧下さい。

② リトライ機能

データのダウンロード中に通信障害が発生した場合、ダウンロードを途中から再開するリトライ機能があります。

[その他の機能]

③ コード形式の変換

ダウンロードするファイルのコード形式を変更することができます。

※コード形式の詳細については、9.5章『コード形式について』をご覧下さい。

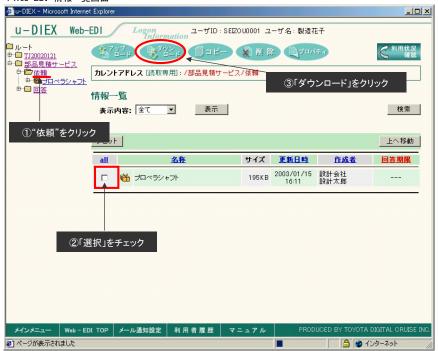
【画面を用いた操作説明】

イメージ図のダウンロード作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●ダウンロード元データを指定

- ① ダウンロードするデータの格納されているフォルダまたはパッケージフォルダをフォルダツリーから選択します
- ② ダウンロードするデータの「選択」をチェックします
- ③ 「ダウンロード」ボタンをクリックします

▼Web-EDI 情報一覧画面



●ダウンロードの設定

① ダウンロード形式を選択します



●ダウンロードの実行

(1) 「ダウンロード実行」ボタンをクリックします



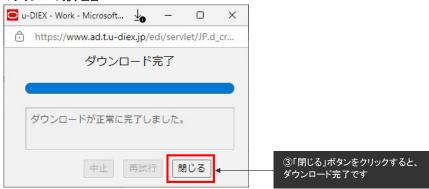
② ダウンロード実行中

▼ダウンロード処理画面



③ ダウンロードの完了

▼ダウンロード完了画面



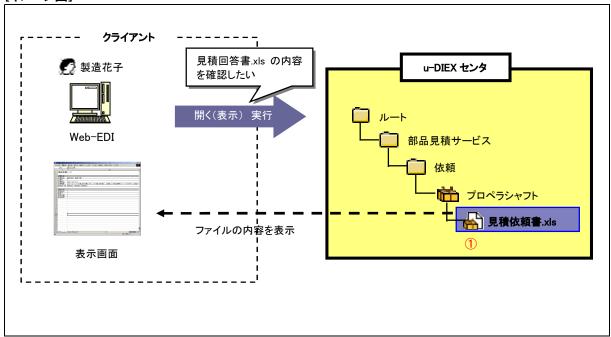
6.1.5. 開く(表示)

【機能説明】

[機能概説]

選択したデータの内容をダウンロードすることなく、ブラウザ上に表示します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『製造花子さんが、u-DIEX 上の"/部品見積サービス/依頼/プロペラシャフト"配下の見積依頼書.xls を開く(表示)する』流れを表しています。

[主な機能]

① 開く(表示)ができるデータの種類

開く(表示)ができるデータの種類は、ファイルとパッケージファイルです。

② 開く(表示)ができるファイル形式

.txt、.doc、.xls、.ppt、.pdf、.html、.jpg、.gif などのファイル形式を開くことができます。
※表示するには、形式に関連するアプリケーションをインストールする必要があります。

【画面を用いた操作説明】

イメージ図の開く(表示)作業順序を、Web-EDI画面を用いて説明します。

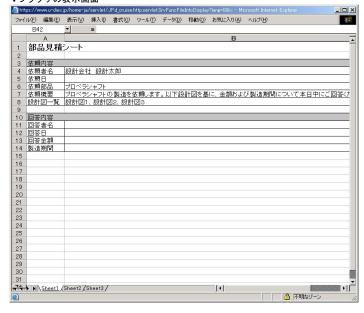
●ファイルの表示

- ① 表示したいデータの格納されているフォルダまたはパッケージフォルダをフォルダツリーから選択します
- ② パッケージファイルアイコンをクリックします



③ データの内容がブラウザに表示されます

▼ブラウザの表示画面



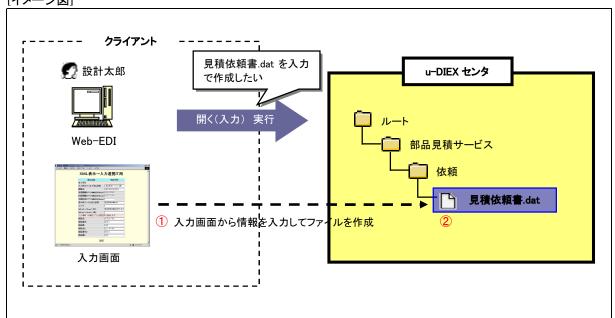
6.1.6. 開く(入力)

【機能説明】

[機能概説]

ブラウザ上で情報を入力することで、u-DIEX センタにアップロードすることなく、u-DIEX センタにデータを作成することができます。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『設計太郎さんが、u-DIEX 上の"/部品見積サービス/依頼"配下に開く(入力)機能で見積 依頼書.dat を作成する』流れを表しています。

[主な機能]

① ブラウザからのデータ作成

ブラウザでデータを入力することで、データをアップロードすることなく、u-DIEX センタに作成することができます。

② 送信先

開く(入力)で作成するデータに対して、送信先を設定します。送信先を設定することで、データを公開したい相手を選ぶことができます。

※送信先についての詳細は、9.4章『送信先について』をご覧下さい。

③ 作成できるデータの種類

開く(入力)機能では、ファイルのみを作成することができます。

4 What's New 通知・メール通知

データを公開した相手に、データを作成したことを通知します。メッセージまたはメールによるの通知により、 送信先ユーザはいち早くアップロード情報を知ることができます。

※メール通知の設定については、6.1.12章『メール通知設定』をご覧下さい。

[その他の機能]

⑤ 期限

開く(入力)で作成するデータを、いつu-DIEX センタに公開をするか(公開日時)、送信先ユーザからいつまでに回答をもらいたいか(回答期限)、いつまで u-DIEX センタに公開をするか(有効期限)を設定することができます。

※有効期限・回答期限・公開日時の詳細については、9.7章『有効期限・回答期限・公開日時について』をご覧下さい。

⑥ データの名称

データの表示名称を設定することで、u-DIEX上での表示名称を設定することができます。

⑦ コメント

開く(入力)で作成するデータにコメントを設定することできます。コメントには、作成するデータの詳細情報を設定することができます。

【画像を用いた操作説明】

イメージ図の開く(入力)作業順序を、Web-EDI画面を用いて説明します。

●開く(入力)を実行するための事前準備

① 開く(入力)を実行するために必要な XSL と DTD の定義体ファイルをサービスに登録しておきます



② 開く(入力)を実行する XML ファイルを XSL、DTD の定義体ファイルを登録したサービス内のフォルダにアップロードします





※アップロードする XML ファイルの拡張子は、XSL、DTD の定義体ファイルを登録する際に設定した拡張子と一致させてお く必要があります。

●開く(入力)用ファイルを開く

- ② 開く(入力)用ファイルの格納されているフォルダまたはパッケージフォルダをフォルダツリーから選択します
- ③ 開く(入力)用ファイルアイコンをクリックします



●開く(入力)画面の情報設定

開く(入力)用の画面で、情報を入力します

▼入力画面



※この画面は、事前準備した XML、XSL、DTD より組み立てられた画面です

▼入力完了画面



●開く(入力)の作成結果

情報一覧でファイルが新たに作成されたことを確認できます

▼Web-EDI 情報一覧画面



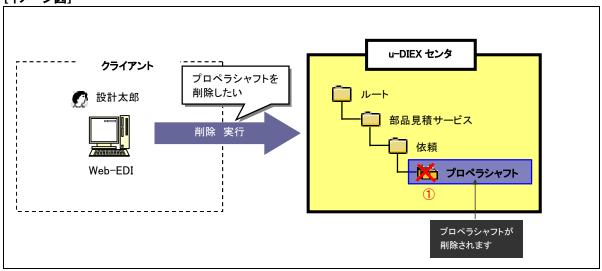
6.1.7. 削除

【機能内容】

[機能概説]

u-DIEX センタのデータを削除します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『設計太郎さんが、u-DIEX 上の"/部品見積サービス/依頼/"配下のプロペラシャフトを削除する』流れを表しています。

[主な機能]

① 削除できるデータの種類

削除できるデータの種類として、ファイルとパッケージがあります。パッケージを削除する場合、そのパッケージ内のパッケージファイルとパッケージフォルダも同時に削除されます。

② 削除できないデータの種類

パッケージファイルとパッケージフォルダを個別に削除することはできません。

【画面を用いた操作説明】

イメージ図の削除の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●削除するデータの指定

- ① 削除するデータの格納されているフォルダをフォルダツリーから選択します
- ② 削除するデータの「選択」をチェックします
- ③「削除」ボタンをクリックします



●削除の実行

- ① 削除情報一覧に削除するデータが表示されているか確認します
- ②「削除実行」ボタンをクリックします



△ インターネット

③ 削除の最終確認で「OK」ボタンをクリックします

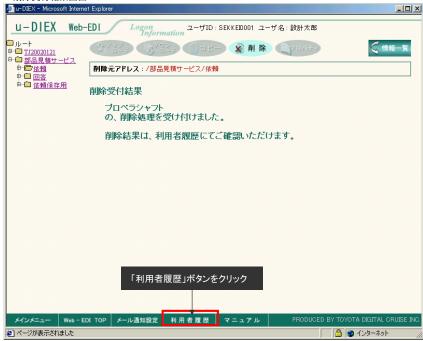
▼削除確認画面

ページが表示されました



④ 削除受付後、利用者履歴で削除結果を確認します

▼削除受付結果画面



●削除結果確認

利用者履歴で削除が正常終了していることを確認します

▼利用者履歴画面



※ 利用者履歴の詳細については、6.1.13章『利用者履歴』をご覧下さい。

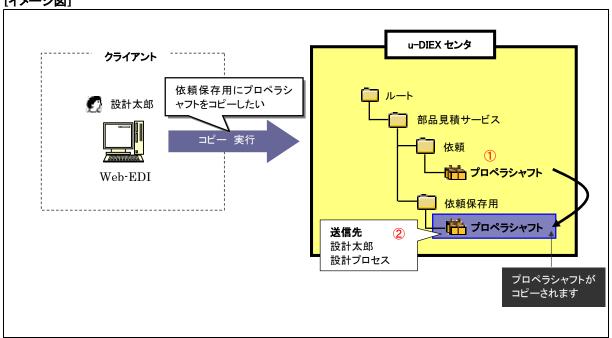
6.1.8. コピー

【機能説明】

[機能概説]

u-DIEX センタのデータを同一フォルダまたは別フォルダにコピーします。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『設計太郎さんが、u-DIEX 上の"/部品見積サービス/依頼/"配下のプロペラシャフトを"/ 部品見積サービス/依頼保存用/"配下にコピーする』流れを表しています。

「主な機能」

①コピーできるデータの種類

コピーできるデータの種類として、ファイル・パッケージ・パッケージファイル・パッケージフォルダがあります。 一度のコピーで複数のデータを同時にコピーすることができます。

②送信先

コピーするデータに対して、送信先を設定します。送信先を設定することで、データを公開したい相手を選ぶことができます。

※送信先についての詳細は、9.4章『送信先について』をご覧下さい。

③What's New 通知・メール通知

データを公開した相手に、データを u-DIEX センタに作成したことを通知します。メッセージまたはメールによるの通知により、送信先ユーザはいち早くコピー情報を知ることができます。

※メール通知の設定については、6.1.12 章『メール通知設定』をご覧下さい。

[その他の機能]

④ 期限

コピーしたデータを、いつ u-DIEX センタに公開をするか(公開日時)、送信先ユーザからいつまでに回答をもらいたいか(回答期限)、いつまで u-DIEX センタに公開をするか(有効期限)を設定することができます。

※有効期限・回答期限・公開日時の詳細については、9.7章『有効期限・回答期限・公開日時について』をご覧下さい。

⑤ データの名称

データの表示名称を設定することで、コピー元データの名称とは別の表示名称を設定することができます。

⑥ コメント

コピーするデータにコメントを設定することできます。コメントには、コピーするデータの詳細情報を設定することができます。

【画面を用いた操作説明】

イメージ図のコピーの作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

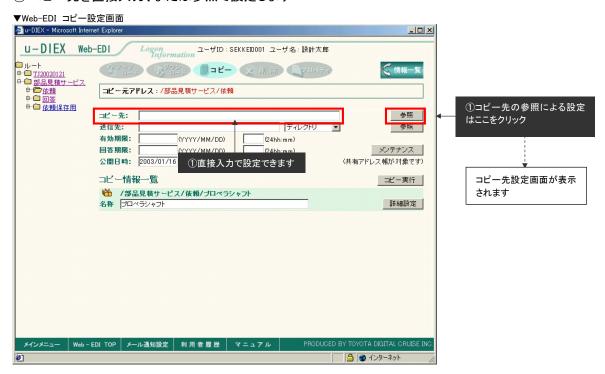
●コピー元データの指定

- ① コピー元データの格納されているフォルダまたはパッケージフォルダをフォルダツリーから選択します
- ② コピー元データの選択をチェックします
- ③「コピー」ボタンをクリックします



●コピー先の設定

① コピー先を直接入力、または参照で設定します



●コピー先の参照による設定

① コピー先をフォルダツリーより選択します

▼コピー先設定画面



●送信先の設定

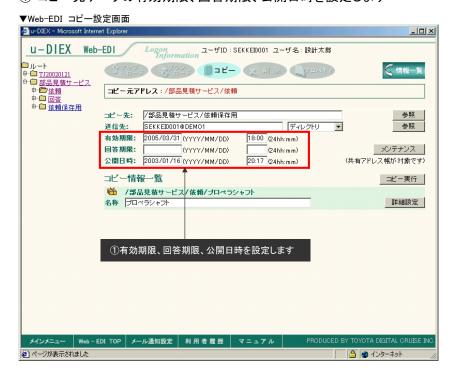
① 送信先を直接入力、または参照で設定します

▼Web-EDI コピー設定画面



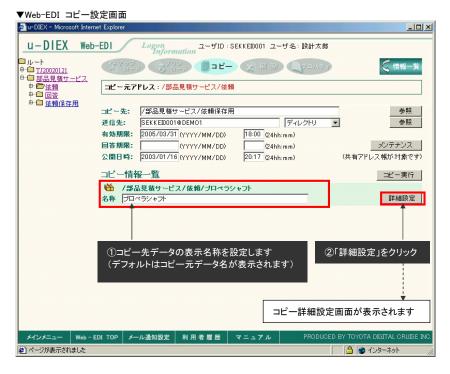
●コピー先データの期日設定

① コピー先データの有効期限、回答期限、公開日時を設定します



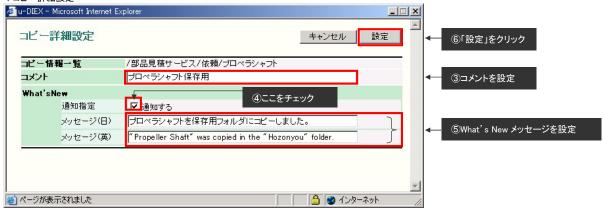
●コピーの詳細設定

- ① コピー先データの表示用名称を設定します
- ② 「詳細設定」ボタンをクリックします



- ③ コメントを設定します
- ④ What's New 通知設定をチェックします
- ⑤ What's New(日)、What's New(英)のメッセージを設定します
- ⑥「設定」ボタンをクリックします

▼コピー詳細設定



●コピーの実行

①「コピー実行」ボタンをクリックします

▼Web-EDI コピー設定画面



② コピー受付結果画面が表示されます。利用者履歴でコピー結果を確認します。

▼Web-EDI コピー受付画面 _ | × Logon ユーザID: SEKKEI0001 ユーザ名: 設計太郎 u-DIEX Web-EDI ・ルート 申・1720020121 申・28品見様サービス 申・20回答 申・10回答 金アップ ラグランド **コピー** 又 削 除 フェバティ コピー元アドレス:/部品見積サービス/依頼 コピー受付結果 /部品見積サービス/依頼/ブロペラシャフトの、コビー先: /部品見積サービス/依頼保存用 へのコビー処理を受け付けました。 コピー結果は、利用者履歴にてご確認いただけます。 ②「利用者履歴」をクリック

●コピー結果確認

利用者履歴でコピーが正常終了していることを確認します

Web - EDI TOP メール通知設定 利用者履歴 マニュアル

▼利用者履歴画面

② ページが表示されました



※ 利用者履歴の詳細については、6.1.13章『利用者履歴』をご覧下さい。

△ ◇ インターネット

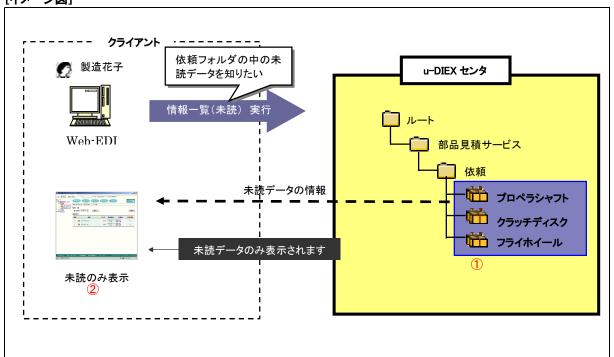
6.1.9. 情報一覧

【機能説明】

[機能概説]

ログオンユーザが参照可能なデータと、作成したデータが情報一覧に表示されます。表示内容として、 未読データのみ表示、既読ファイルのみ表示、全てのデータ表示を選択することができます。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『設計太郎さんが、u-DIEX上の"/部品見積サービス/依頼/"配下で、未読のデータを情報ー覧に表示する』流れを表しています。

[主な機能]

① 情報一覧に表示されるデータ

情報一覧に表示されるデータは、自分宛てに公開されているデータ、または自分が作成したデータです。

※アップロード、コピー、開く(入力)でデータを作成できます。

② 情報一覧のデータの表示内容

情報一覧の表示内容は、未読データのみ表示/既読データのみの表示/全て(未読、既読の両方)のデータ表示があります。標準の表示内容は、全てのデータ表示です。

※未読/既読についての詳細は、9.8 章『未読/既読について』をご覧下さい。

[その他の機能]

③ ソート順

情報一覧に表示されるデータを、名称順・更新日時順・作成日順・回答期限順に並び替えることができます。赤字で表示される項目が現在のソート順であることを表しています。

④ ページ制御

情報一覧で一度にブラウザに表示できるデータは100件です。それ以上のデータを表示する場合、ページ制御により次ページに100件表示されます。

【画面による操作説明】

イメージ図の情報一覧作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●未読データのみ表示

- ① 表示させるデータが格納されているフォルダまたはパッケージフォルダをフォルダツリーから選択します
- ② 情報一覧の表示内容から「未読のみ」を選択します
- ③「表示」ボタンをクリックします



⑤ 未読のデータが情報一覧に表示されます

▼Web-EDI 情報一覧画面



<補足説明>既読データのみ表示

表示内容で"既読のみ"を選択し、「表示」をクリックすることで既読データが情報一覧に表示されます。

▼Web-EDI 情報一覧画面



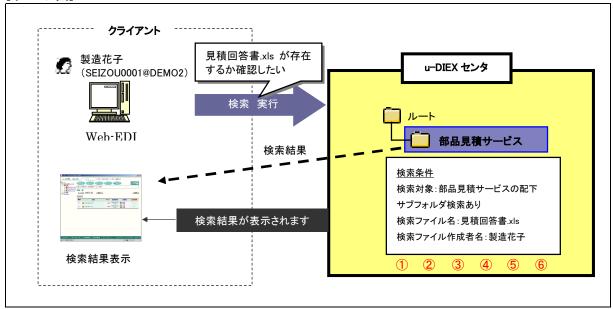
6.1.10. 検索

【機能説明】

[機能概説]

検索条件に一致するデータを表示します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『製造花子さんが、u-DIEX 上の"/部品見積サービス/"配下に見積依頼書.xls というファイルを検索する』流れを表しています。

[主な機能]

① データ名称

指定したデータ名称に部分一致するデータを検索することができます。

② データ種別

検索するデータ種別を指定することができます。指定できる種別は、"ファイルのみ/パッケージのみ/フォルダのみ/ファイルとパッケージ/全て"から指定することができます。

③ データの未読/既読

"既読のみ/既読のみ/全て"のデータを検索することができます。

4) 日付

"更新日付/作成日付/回答期限/有効期限"の日付と、その日付の指定期間内のデータを検索することができます。

⑤ 作成者

データ作成者の"ユーザ ID/プロセス ID"または会社コードが一致するデータを検索することができます。

⑥ サブフォルダ検索

指定したフォルダ配下のフォルダ内のデータを検索することができます。

「その他の機能」

⑦ ページ制御

検索で一度にブラウザに表示できるデータは100件です。それ以上のデータを表示する場合、ページ制御により次ページに100件表示されます。

【画面を用いた操作説明】

イメージ図の検索の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●データの検索

- ① 検索対象のフォルダまたはパッケージフォルダをフォルダツリーから選択します
- ② 「検索」ボタンをクリックします



- ③ 検索条件を設定します
- ④ 「検索」ボタンをクリックします



●検索結果表示

検索条件に一致するデータが表示されます



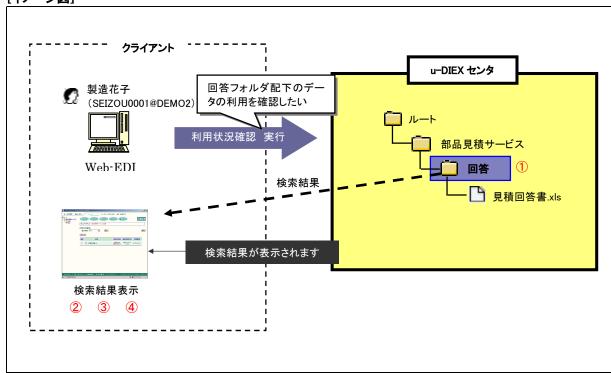
6.1.11. 利用状況確認

【機能説明】

[機能概説]

u-DIEX センタのデータの最終利用者・最終利用日時・最終利用機能を表示します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『製造花子さんが、u-DIEX 上の"/部品見積サービス/回答/"配下のデータの利用状況を確認する』流れを表しています。

[主な機能]

① 情報の取得できるデータ

利用状況確認では、ログオンユーザが作成したデータの情報を取得することができます。ログオンユーザがオーナまたはスーパーユーザの場合は、すべてのデータの情報を取得することができます。

② データの最終利用者

データごとにそのデータを最後に利用したユーザ/プロセスを知ることができます。

③ データの最終利用日時

データごとにそのデータを最後に利用した日時を知ることができます。

④ データの最終利用機能

データごとのそのデータを最後に利用した機能を知ることができます。

[その他の機能]

⑤ ページ制御

利用状況確認で一度にブラウザに表示できるデータは100件です。それ以上のデータを表示する場合、ページ制御により次ページに100件表示されます。

【画面を用いた操作説明】

イメージ図の利用状況確認の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

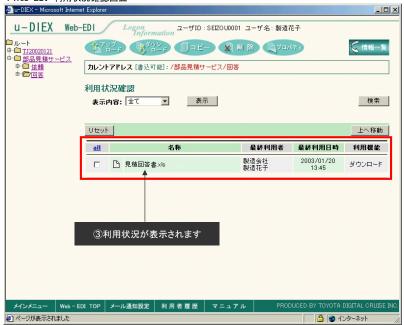
●利用状況確認の実行

- ② 利用状況確認するデータの格納されているフォルダまたはパッケージフォルダをフォルダツリーから選択します
- ③「利用状況確認」ボタンをクリックします



④ データの利用状況が表示されます

▼Web-EDI 利用状況確認画面



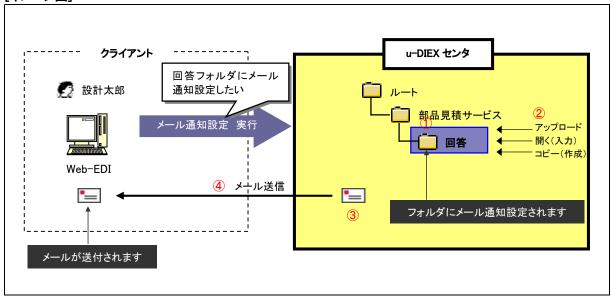
6.1.12. メール通知設定

【機能説明】

[機能概説]

メール通知を設定したフォルダにデータが作成された場合、設定者にデータが作成された旨のメールが送信されます。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『設計太郎さんが、u-DIEX 上の"/部品見積サービス/回答/"フォルダにメール通知設定し、メールが送信される』流れを表しています。

[主な機能]

① メール通知を設定する対象

メール通知は、フォルダ単位で設定します。設定したフォルダ直下にデータが作成された情報のみメール 送信されます。

② メールが送信される機能

メール通知設定されたフォルダに対して、アップロード/コピー/開く(入力)が行われた場合、メールが送信されます。

③ 送信されるメールの言語

送信されるメールの言語として、日本語と英語を指定することができます。指定はメール通知設定時に行います。

④ メールアドレス

USER 管理でユーザ作成時に入力したメールアドレスにメールが送信されます。

[その他の機能]

⑤ ページ制御

メール通知設定で一度にブラウザに表示できるデータは10件です。それ以上のデータを表示する場合、ペ ージ制御により次ページに10件表示されます。

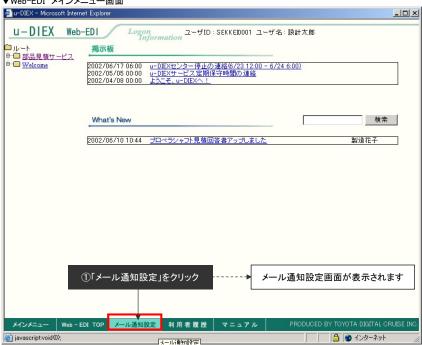
【画面を用いた操作説明】

イメージ図のメール通知設定の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●メール通知設定画面の表示

① Web-EDI TOP 画面の「メール通知設定」をクリックして、メール通知設定画面を表示させます

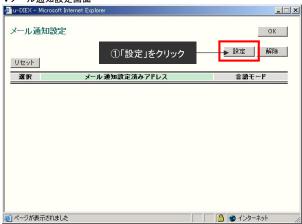
▼Web-EDI メインメニュー画面



●メール通知の設定

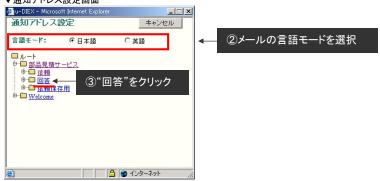
①「設定ボタン」をクリックします

▼メール通知設定画面



- ② メールの言語モードを選択します
- ③ メール通知設定を行うフォルダをクリックします

▼通知アドレス設定画面

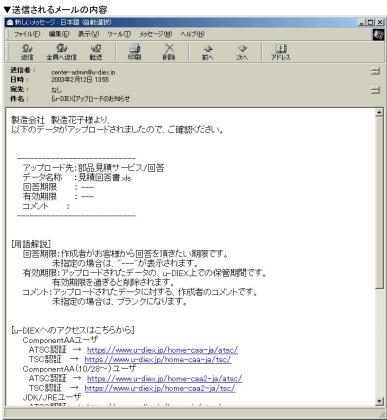


- ④メール通知が設定されたことを確認します
- ⑤「OK」ボタンをクリックすると、メール通知設定画面が閉じます

▼メール通知設定画面



<補足説明>送信されるメールの内容



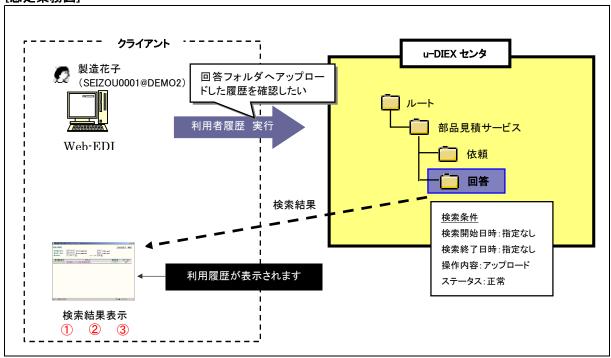
6.1.13. 利用者履歴

【機能説明】

[機能概説]

ログオンユーザの u-DIEX 上での期間内、操作別、ステータス別の利用履歴を表示します。

[想定業務図]



※ イメージ図は、『製造花子さんが、回答フォルダへアップロードを実行した履歴を確認する』流れを表しています。

[主な機能]

① 対象期間

表示する履歴の検索対象期間を指定することができます。

② 操作別

ログオンユーザの操作別の履歴を表示することができます。"全て/開く(表示)/開く(入力)/アップロード/ダウンロード/コピー(参照)/コピー(作成)/削除"から選択することができます。

③ ステータス

操作結果のステータス別に履歴を表示することができます。"全て/正常/警告/異常"から選択することができます。

4 履歴情報取得

利用者履歴コマンドでは、ログオンユーザの操作履歴情報を取得することができます。

[その他の機能]

⑤ ページ制御

利用者履歴で一度にブラウザに表示できるデータは100件です。それ以上のデータを表示する場合、ページ制御により次ページに100件表示されます。

【画面を用いた操作説明】

イメージ図の利用者履歴の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

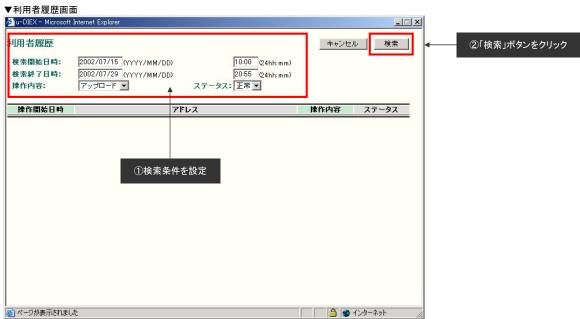
●利用者履歴画面の表示

① Web-EDI 画面で「利用者履歴」をクリックし、利用者履歴画面を表示させます



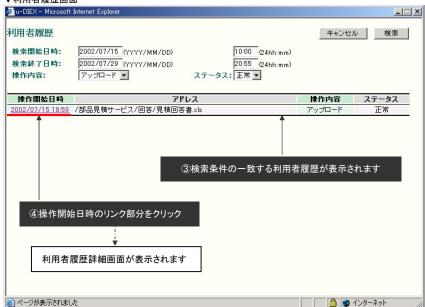
●利用者履歴の設定と表示

- ① 検索開始日時、検索終了日時、操作内容、ステータスを設定します
- ② 「検索」ボタンをクリックします

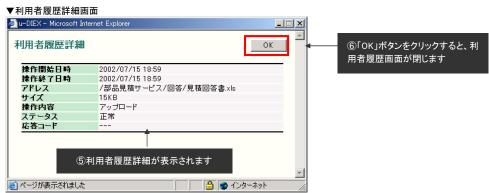


- ③ 検索条件に該当する情報が表示されます
- ④ 操作開始日時のリンク部分をクリックします

▼利用者履歴画面



- ⑤ 利用者履歴の詳細情報が表示されます
- ⑥「OK」ボタンをクリックすると、利用者履歴詳細画面が閉じます。



6.1.14. プロパティ

プロパティは、データとフォルダで表示内容が異なります。この章でデータとフォルダのプロパティ表示を分けて説明します。

◆データの場合

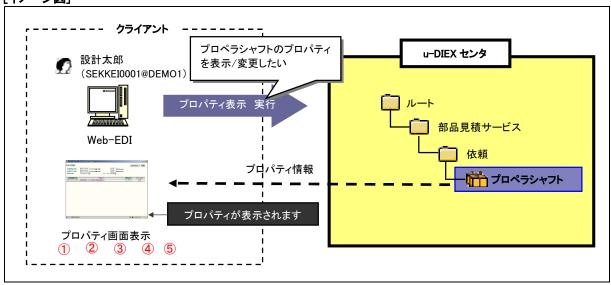
【機能説明】

[機能概説]

データの名称、容量、未読/既読などのデータ詳細情報、作成者の名前や会社名などの作成者情報、有効期限や回答期限などの期限情報、ログオンユーザや送信先ユーザなどのデータに対する操作履歴が表示されます。

データの作成者とサービスオーナは、属性を変更することができます。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『設計太郎さんが、自分がアップロードした u-DIEX 上の"/部品見積サービス/依頼/"配下のプロペラシャフトのプロパティ画面で設定内容・操作履歴を確認し、属性を変更する』流れを表しています。

[主な機能]

① データ情報

データの名称、u-DIEX 上の保管場所、容量、未読/既読、コメントを確認することができます。

② 作成者情報

データの作成者の名前、ユーザ ID/プロセス ID、組織名、組織コード、会社名、会社コードを確認することができます。

③ 期限

データの有効期限、回答期限、公開日時を確認することができます。

④ 操作履歴

ログオンユーザのデータに対する操作履歴を確認することができます。ログオンユーザがオーナまたはスーパーユーザまたはデータ作成者の場合は、"送信先ユーザ別/全て"の操作履歴も確認することができます。

⑤ 属性の変更

データの作成者とサービスオーナが、プロパティ画面から変更可能な属性は以下の通りです。

データ種類	変更可能な属性
ファイル	名称、コード形式、有効期限、回答期限、公開日時、コメント、送信先
パッケージ	名称、有効期限、回答期限、公開日時、コメント、送信先
パッケージフォルダ	名称
パッケージファイル	名称

[その他の機能]

⑥ ページ制御

操作履歴で一度にブラウザに表示できるデータは100件です。それ以上のデータを表示する場合、ページ 制御により次ページに100件表示されます。

【画面を用いた操作説明】

イメージ図のプロパティ作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●データのプロパティ表示

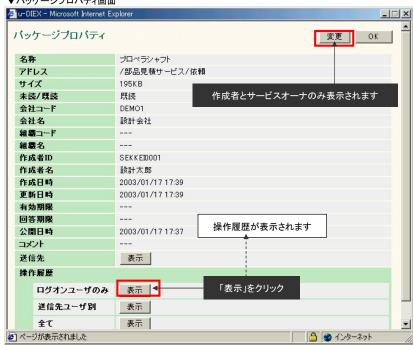
- ① プロパティを表示するデータの格納されているフォルダまたはパッケージフォルダをフォルダツリーから選択 します
- ② プロパティを表示するデータの選択をチェックします
- ③「プロパティ」ボタンをクリックします





④ データの詳細情報が表示されます

▼パッケージプロパティ画面



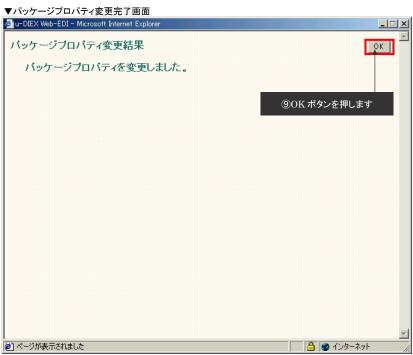
- ⑤ データの属性を変更します。
- ⑥「変更」ボタンを押します。



- ⑦ 変更箇所(赤色で表示されます)を確認します。
- ⑧「OK」ボタンを押します。
- ▼パッケージプロパティ変更確認画面

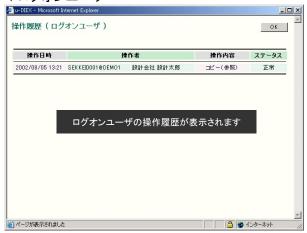


⑨「OK」ボタンを押します。

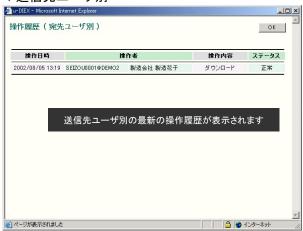


[操作履歴]

▼ログオンユーザ



▼送信先ユーザ別



▼全て

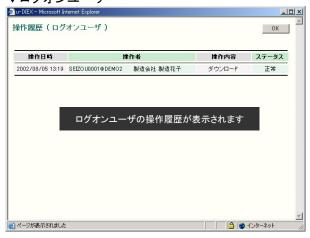


<補足説明>パッケージの作成者でない、一般ユーザのプロパティ画面



[操作履歴]

▼ログオンユーザ



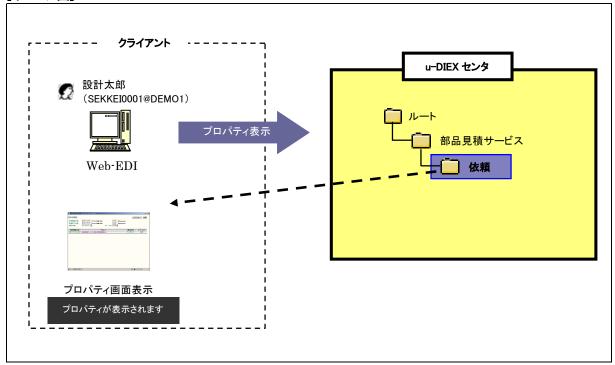
◆フォルダの場合

【機能説明】

[機能概説]

フォルダの名称、未読/既読、コメントなどのフォルダ詳細情報、作成者の名前や会社名などの作成者情報、有効期限や回答期限などの期限情報、オーナ/スーパーユーザ/ユーザのアクセス権情報とロールー覧が表示されます。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『サービスオーナである設計太郎さんが、u-DIEX 上の"/部品見積サービス/依頼/"フォルダ のプロパティ画面でロールー覧を確認する』流れを表しています。

[主な機能]

① フォルダ情報

フォルダの名称、u-DIEX 上のアドレス、未読/既読、作成日、更新日、コメントが確認できます。

② 作成者情報

フォルダの作成者の名前、ユーザ ID、組織名、組織コード、会社名、会社コードが確認できます。

③ 期限

データの有効期限、回答期限、公開基値が確認できます。

④ アクセス権

ログオンユーザがスーパーユーザの場合、ユーザとスーパーユーザのアクセス権を確認することができます。ログオンユーザがオーナの場合、さらにオーナのアクセス権も確認することができます。ログオンユーザが一般ユーザの場合、アクセス権は表示されません。

⑤ ロールー覧

ログオンユーザがスーパーユーザの場合、ユーザロールー覧とスーパーユーザロールー覧を確認することができます。ログオンユーザがオーナの場合、さらにオーナロールー覧も確認することができます。ログオンユーザが一般ユーザの場合、ロールー覧は表示されません。

【画面を用いた操作説明】

イメージ図のプロパティ作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●フォルダのプロパティ表示

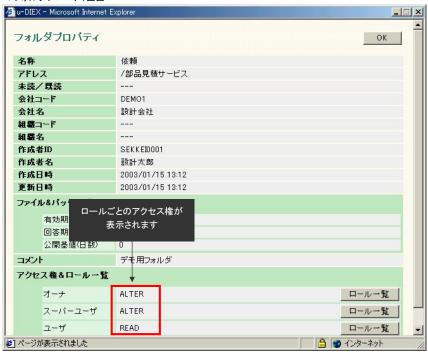
- ① プロパティを表示するフォルダの格納されているサービスまたはフォルダをフォルダツリーから選択します
- ② プロパティを表示するフォルダの「選択」をチェックします
- ③ 「プロパティ」ボタンをクリックします

▼Web-EDI 情報一覧画面



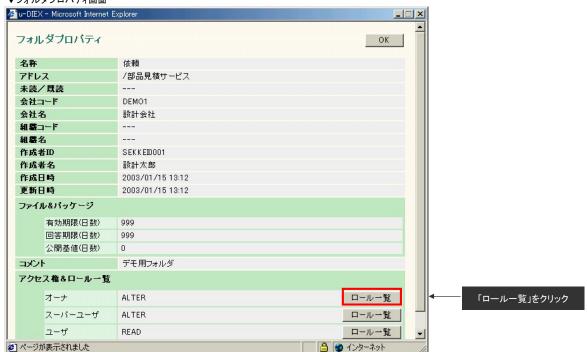
④ フォルダのプロパティ画面が表示されます

▼フォルダプロパティ画面

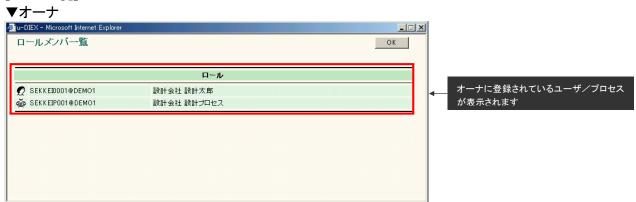


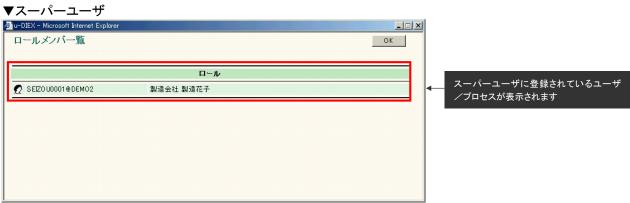
⑤ ロールー覧を表示します

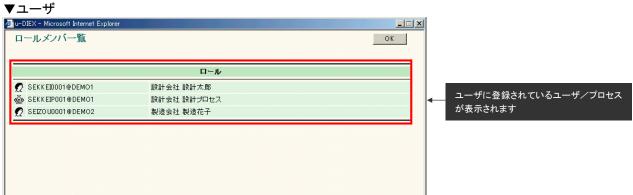
▼フォルダプロパティ画面



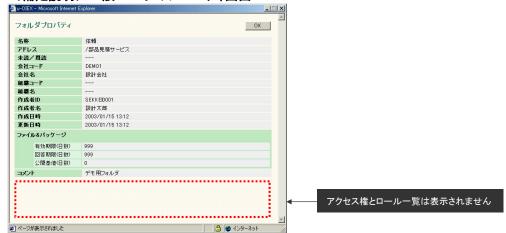
[ロールー覧]







<補足説明>一般ユーザのプロパティ画面



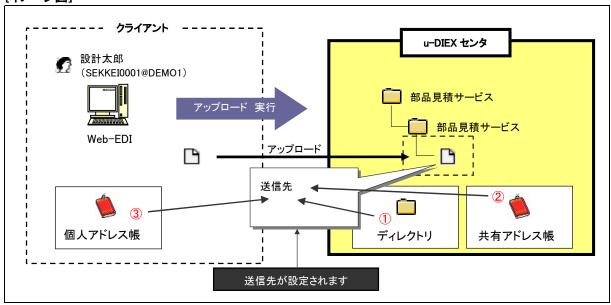
6.1.15. 送信先設定

【機能説明】

[機能概説]

アップロード、コピーを実行するデータに対して、送信先の設定を行います。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『設計太郎さんが、アップロードするデータの送信先設定をする』流れを表しています。

[主な機能]

- ① ディレクトリからの設定 会社、組織、ユーザ、プロセスが保存されているディレクトリから、送信先を設定します。
- ② 共有アドレス帳からの設定 u-DIEX センタに保存されている共有アドレス帳から、送信先を設定します。
- ③ **個人アドレス帳からの設定** クライアントに保存されている個人アドレス帳から、送信先を設定します。

【画面を用いた操作説明】

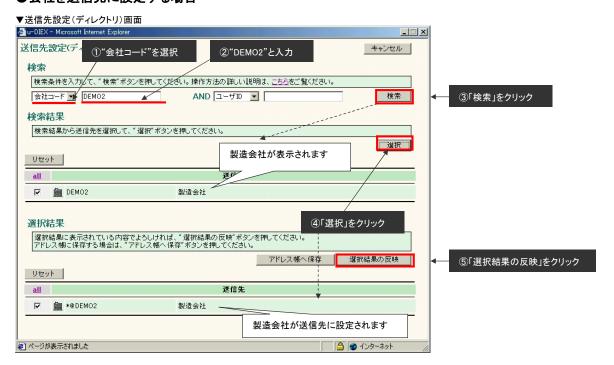
イメージ図の送信先設定の順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●ディレクトリから送信先を設定

- ① 送信先対象で"ディレクトリ"が選択されていることを確認します
- ② 「参照」ボタンをクリックします



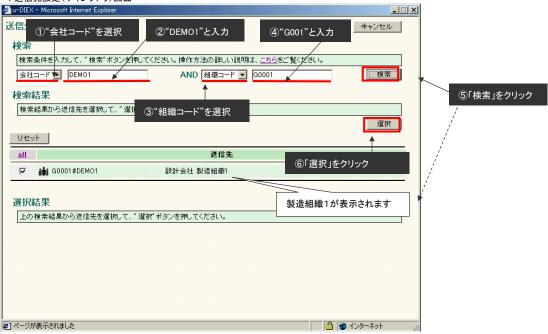
●会社を送信先に設定する場合



●組織を送信先に設定する場合

① 設定する組織を検索します

▼送信先設定(ディレクトリ)画面



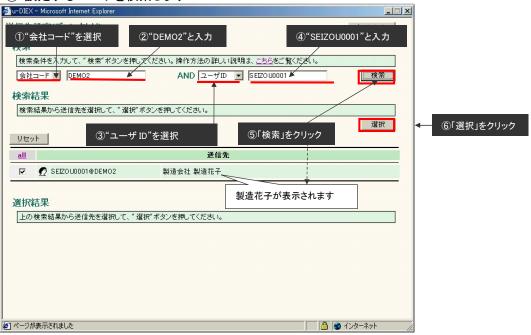
② 組織を設定します

▼送信先設定(ディレクトリ)画面



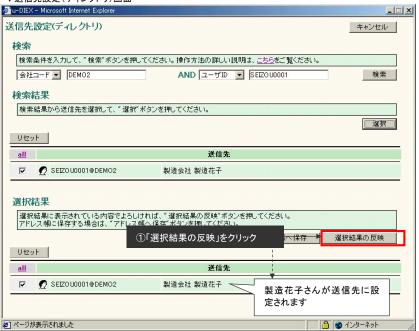
●ユーザを送信先に設定する場合

① 設定するユーザを検索します



② ユーザを設定します

▼送信先設定(ディレクトリ)画面



●プロセスを送信先に設定する場合

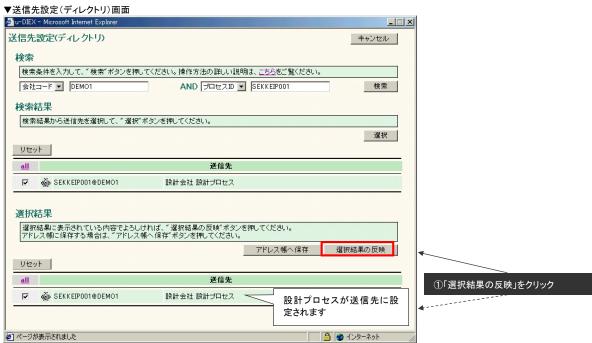
① 設定するプロセスを検索します

▼送信先設定(ディレクトリ)画面 @u-DIEX - Microsoft Internet Explo _ | X ①"会社コード"を選択 ③"プロセス ID"を選択 ④"SEKKEIP001"と入力 検索条件を入力して、"検索"ボタンを押してください。操作方法の詳しい説明は、<u>こちら</u>をご覧ください。 AND プロセスID V SEKKEIP001 (検索) 会社コード ▼ DEMO1 検索結果 検索結果から送信先を選択 ②"DEMO1"と入力 選択 ⑤「検索」をクリック 送信先 ▼

SEKKEIP001@DEMO1 設計会社 設計プロセス ⑥「選択」をチェック 選択結果 設計プロセスが表示されます 上の検索結果から送信先を選択して、"選択

② プロセスを設定します

② ページが表示されました



△ インターネット

●共有アドレス帳から送信先を設定

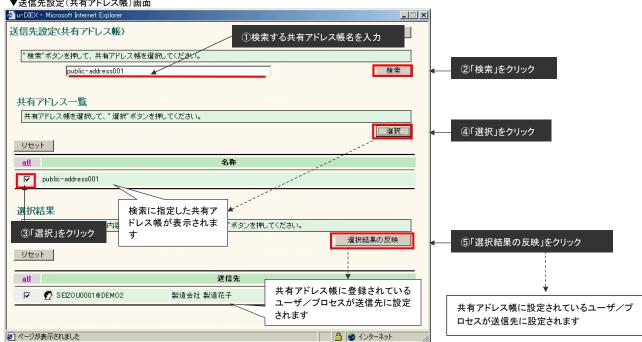
- ① 送信先対象で"共有アドレス帳"を選択します
- ②「参照」ボタンをクリックします

▼Web-EDI アップロード設定画面



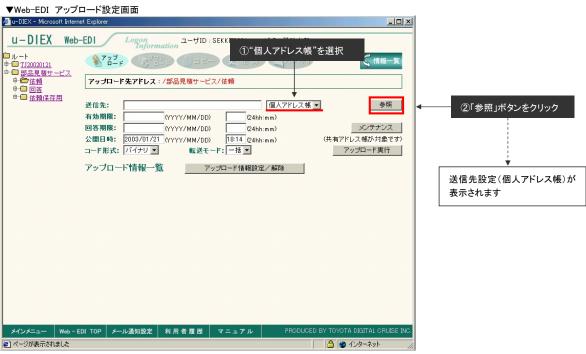
③ 共有アドレス帳を検索し、送信先に設定します

▼送信先設定(共有アドレス帳)画面



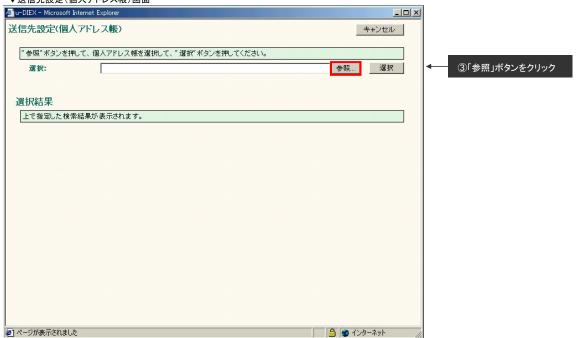
●個人アドレス帳から送信先を設定

- ① 送信先対象で"個人アドレス帳"を選択します
- ② 「参照」ボタンをクリックします

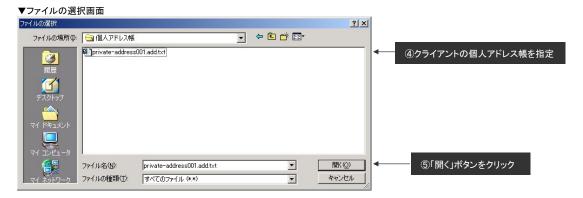


③ 「参照」ボタンをクリックします

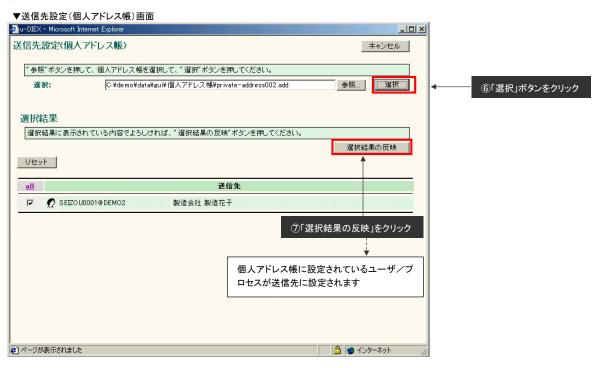
▼送信先設定(個人アドレス帳)画面



- ④ クライアントに保存されている個人アドレス帳を設定します
- ⑤ 「開く」ボタンをクリックします



- ⑥ 「選択」ボタンをクリックします
- ⑦ 「選択結果の反映」ボタンをクリックします



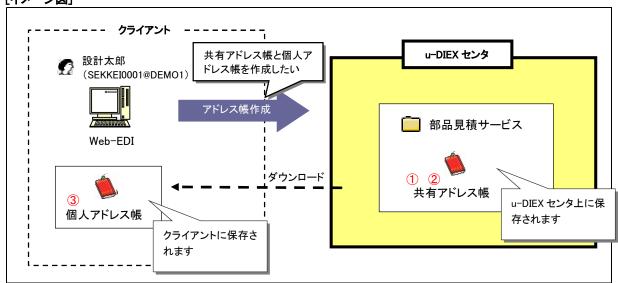
6.1.16. アドレス帳

【機能説明】

[機能概説]

送信先一覧をアドレス帳として保存し、アップロードまたはコピーを実行する際にアドレス帳から送信先の設定を行います。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『設計太郎さんが、共有アドレス帳の作成とメンテナンス、個人アドレス帳の作成をする』流れ を表しています。

[主な機能]

① 共有アドレス帳の作成

共有アドレス帳を作成し、u-DIEX センタ内に保存することができます。共有アドレス帳はサービスごとに管理されますので、サービスが開放されているユーザは利用可能です。

② 共有アドレス帳のメンテナンス

作成されている共有アドレス帳の内容を変更することができます。

③ 個人アドレス帳の作成

個人アドレス帳を作成し、クライアントに保存することができます。個人アドレス帳は作成したユーザのみ利用することができます。

【画面を用いた操作説明】

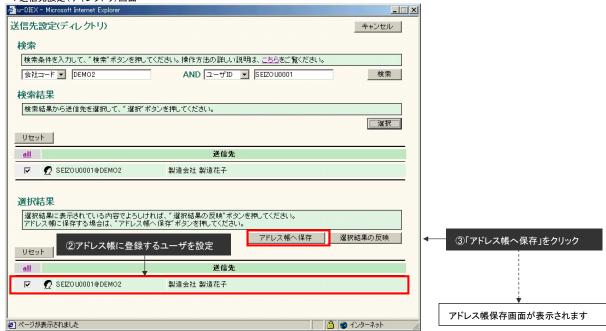
イメージ図のアドレス帳設定の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

◆アドレス帳の作成

① 送信先の「参照」ボタンをクリックします



- ② アドレス帳に登録するユーザを設定します
- ③「アドレス帳へ保存」をクリックします
- ▼送信先設定(ディレクトリ)画面



●共有アドレス帳作成の保存

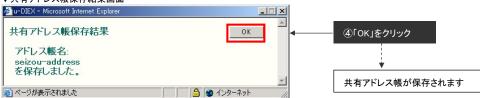
- ① 共有アドレス帳を選択します
- ② 共有アドレス帳名を設定します
- ③ 「保存」ボタンをクリックします

▼アドレス帳保存画面



④ 「OK」ボタンをクリックします

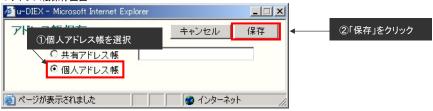
▼共有アドレス帳保存結果画面



●個人アドレス帳作成の保存

- ① 個人アドレス帳を選択します
- ② 「保存」ボタンをクリックします

▼アドレス帳保存画面

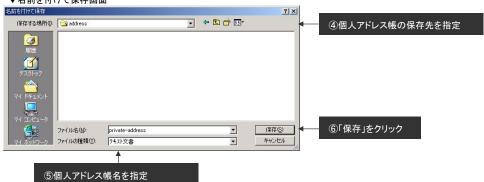


③ 「保存」ボタンをクリックします

▼ファイルのダウンロード画面



- 4) クライアントの保存先を設定します
- ⑤ 個人アドレス帳名を指定します
- ⑥「保存」ボタンをクリックします
- ▼名前を付けて保存画面



⑦ ダウンロード完了後、「閉じる」ボタンをクリックします

▼ダウンロードの完了画面

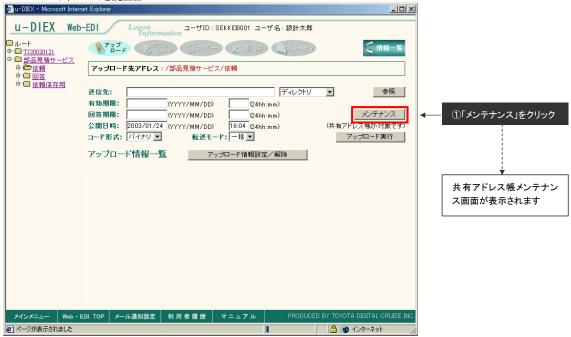


◆共有アドレス帳のメンテナンス

●メンテナンスする共有アドレス帳の検索

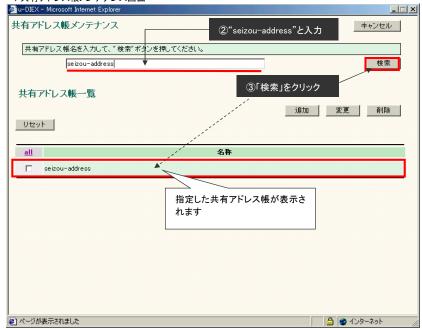
①「メンテナンス」ボタンをクリックします

▼Web-EDI アップロード設定画面



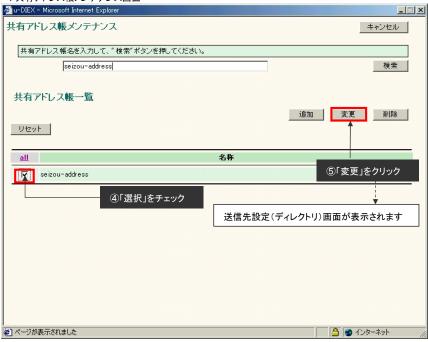
- ②検索する共有アドレス帳名を指定します
- ③「検索」ボタンをクリックします





- ④ 変更する共有アドレス帳の「選択」をチェックします
- ⑤ 「変更」ボタンをクリックします

▼共有アドレス帳メンテナンス画面



●共有アドレス帳の登録内容の変更

① 新たにアドレス帳に設定する送信先を設定します

▼送信先設定(ディレクトリ)画面 u-DIEX - Microsoft Internet Explorer _ | X 送信先設定(ディレクトリ) キャンセル 検索条件を入力して、"検索"ボタンを押してください。操作方法の詳しい説明は、<u>こちら</u>をご覧ください。 AND IN-会社コード ▼ DEMO2 検索 検索結果 検索結果から送信先を選択して、"選択"ボタンを押してください。 選択 リセット <u>all</u> 送信先 ☑ mm DEMO2 製造会社 選択結果に表示されている内容でよろしければ、"保存"ボタンを押してください。 共有アドレス帳名 seizou-address 保存 作成者名:設計会社 設計太郎 リセット ①製造会社を送信先に設定します all -送信先 製造会社 ▼ SEIZOU0001@DEMO2 製造会社製造花子 を ページが表示されました △ インターネット

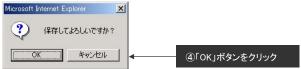
- ② 現在送信先に設定されているユーザの「選択」をチェックします
- ③ 「保存」ボタンをクリックします

▼送信先設定(ディレクトリ)画面



④「OK」ボタンをクリックします

▼保存確認画面



⑤「OK」ボタンをクリックします



⑥「OK」ボタンをクリックします



6.1.17. 仕分検索

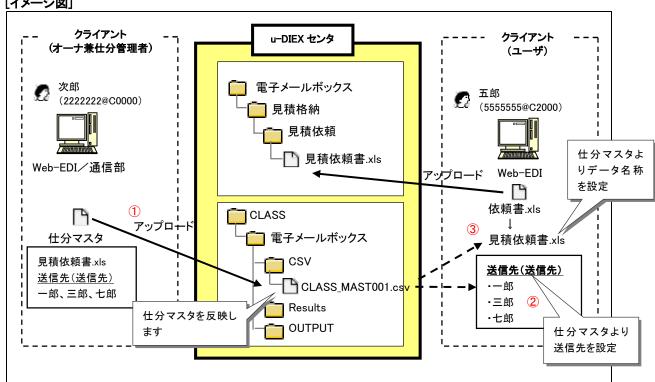
【機能説明】

[機能概説]

仕分検索機能は、アップロードノコピーするデータの送信先を仕分マスタを使って検索する機能です。デー タと送信先の関係が予め仕分マスタに定義されているので、誰でも間違いなく送信先を設定できます。

- ※仕分検索機能はオプション機能です。サービス毎にサービスオーナが申請します。
- ※仕分マスタはサービスオーナ(仕分管理者)がメンテナンスをします。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『オーナである次郎さんが仕分マスタを登録し、ユーザである五郎さんが仕分検索で送信先 を設定し、データをアップロードする』流れを表しています。

[主な機能]

① 仕分マスタの登録

サービスオーナは仕分マスタをアップロードし、仕分マスタを反映します ※仕分マスタの反映は日時処理で行ないます。必要に応じて Web-EDI から反映することも可能です

② 仕分マスタからの送信先(送信先)設定

ユーザはアップロード/コピーするデータの送信先を仕分マスタから設定することができます

③ 仕分マスタからのデータ名称設定

ユーザはアップロード/コピーするデータ名称を仕分マスタから設定することができます

【画面を用いた操作説明】

イメージ図の仕分検索の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

◆オーナの操作手順 サービスへの仕分マスタの登録

●仕分マスタの作成

① クライアントで仕分マスタを作成し、保存します (仕分マスタの作成方法はオンラインマニュアルをご覧下さい)

▼仕分マスタ作成画面

※仕分マスタの命名ルールは、CLASS_MAST~.csv です

●仕分マスタのアップロード

① Web-EDI 画面のフォルダツリーより、仕分マスタ格納用フォルダ(/CLASS/電子メールボックス/CSV)へ移動します ※仕分マスタ格納フォルダは(/CLASS/サービス名/CSV)となります



② 仕分マスタを仕分マスタ格納用フォルダ(/CLASS/電子メールボックス/CSV)にアップロードします (アップロード手順は 6.1.3 アップロードを参照してください)



以上で、Web-EDIによる仕分マスタのアップロードは完了です。

※仕分マスタの反映は日時処理で反映されます。すぐに反映をしたい場合は、Web-EDIにて反映が可能です。 次項目に操作方法を記載します。

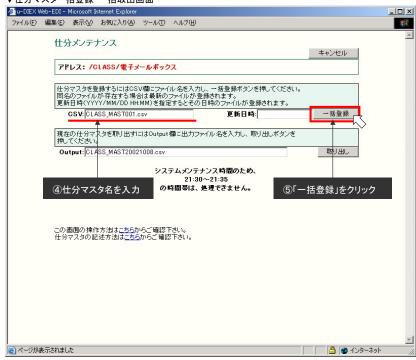
●仕分マスタの反映

- ① フォルダツリーより、/CLASS/電子メールボックスへ移動します
- ② /CLASS/電子メールボックス/maintenance.xml の選択欄をチェックします
- ③ 「開く」ボタンをクリックします



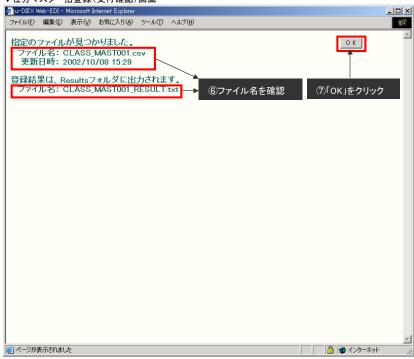
- ④ CSV 欄に/CLASS/電子メールボックス/CSV にアップロードした仕分マスタ名を入力します
- ⑤「一括登録」ボタンをクリックします

▼仕分マスター括登録・一括取出画面



- ⑥ 仕分マスター括登録(受付確認)に表示される仕分マスタと登録結果ファイル名を確認します
- ⑦ 「OK」ボタンをクリックします

▼仕分マスター括登録(受付確認)画面



●仕分マスタ反映の結果確認

- ① 仕分マスタ受付結果格納フォルダ (/CLASS/電子メールボックス/Results)へ移動します ※仕分マスタ受付結果格納フォルダは (/CLASS/サービス名/Results)となります
- ② 仕分マスター括登録(受付確認)で表示された受付結果ファイルのアイコンをクリックして、プロパティを表示します



③ プロパティ画面のコメントで反映処理の終了を確認します

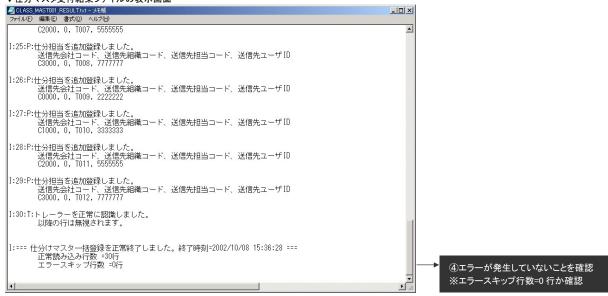


④ 仕分マスター括登録(受付確認)で表示された受付結果ファイルをダウンロードします (ダウンロード手順は 6.1.4 ダウンロードを参照してください)



⑤ ダウンロードした仕分マスタ受付結果ファイルの設定内容に、エラーがないことを確認します (仕分マスタ受付結果ファイルの見方はオンラインマニュアルをご覧下さい)

▼仕分マスタ受付結果ファイルの表示画面



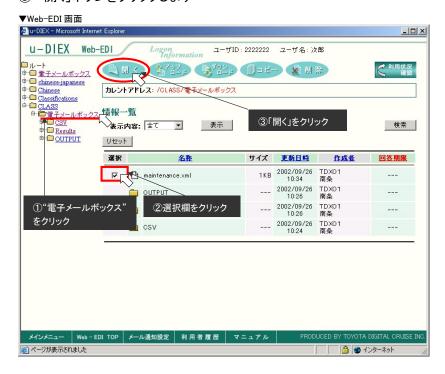
以上で、仕分マスタの反映は完了です

<補足説明>

登録されている仕分マスタの取り出し

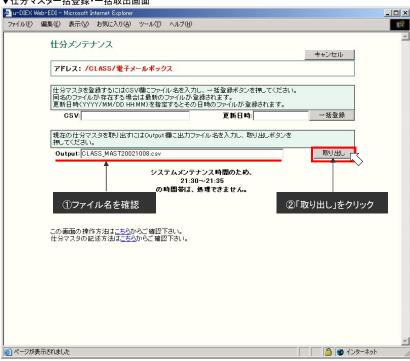
●仕分メンテナンス画面の表示

- ① フォルダツリーより/CLASS/電子メールボックスへ移動します
- ② /CLASS/電子メールボックス/maintenance.xml の選択欄をチェックします
- ③ 「開く」ボタンをクリックします



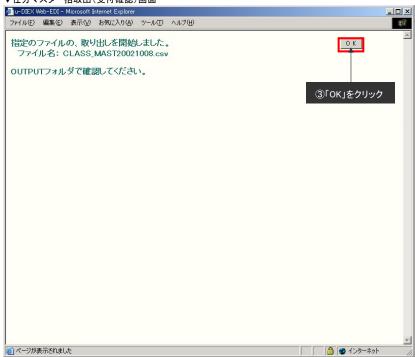
●仕分マスタの取り出し実行

- ① メンテナンス画面の Output 欄で出力ファイル名を確認します
- ②「取り出し」ボタンをクリックします
- ▼仕分マスター括登録・一括取出画面



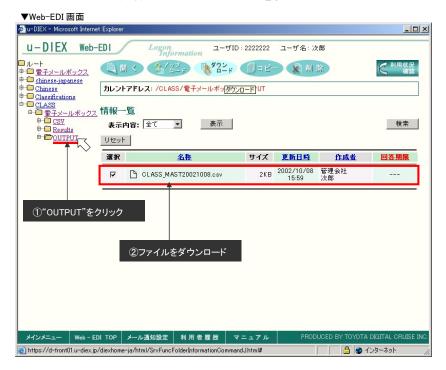
③「OK」ボタンをクリックします

▼仕分マスター括取出(受付確認)画面



●取り出した仕分マスタの確認

- ① フォルダツリーより/CLASS/電子メールボックス/OUTPUT へ移動します ※仕分マスタ取り出し格納フォルダは(/CLASS/サービス名/OUTPUT)となります
- ② 取り出したファイルをダウンロードします (ダウンロード手順は 6.1.4 ダウンロードを参照してください)



③ ダウンロードした仕分マスタの設定内容を確認します

▼ダウンロードした仕分マスタの表示画面



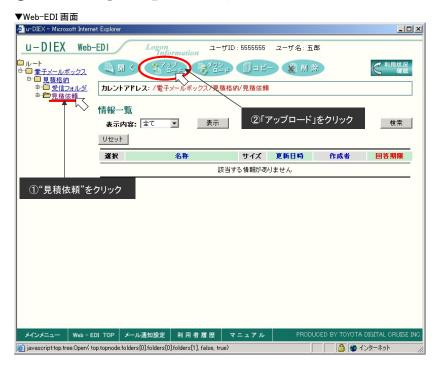
以上で、登録されている仕分マスタの取り出しは完了です

◆ユーザの操作手順

仕分利用[条件入力]による送信先(送信先)検索

●仕分利用[条件入力]画面の表示

- ① フォルダツリーよりアップロード先フォルダ(見積依頼)へ移動します
- ②「アップロード」ボタンをクリックします



- ③ 送信先(送信先)で「仕分利用[条件入力]」を選択します
- ※仕分検索機能を追加したサービスのみメニュー表示されます
- 4) 「参照」ボタンをクリックします



⑤ 送信先設定(仕分検索)画面が表示されます

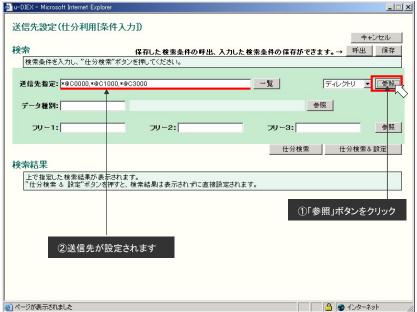
▼送信先設定(仕入先利用[条件入力])画面



●送信先設定の設定

- (1) 送信先指定で「ディレクトリ」を選択して「参照」ボタンをクリックします
- ② 送信先(送信先)設定より送信先(*@C0000、*@C1000、*@C3000)を設定します (送信先(送信先)設定の手順は 6.1.15 送信先(送信先)設定を参照してください)

▼送信先設定(仕入先利用[条件入力])画面



●データ種別の設定

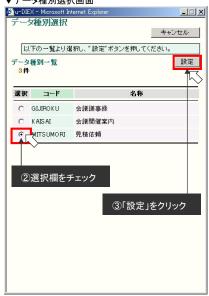
① データ種別の「参照」ボタンをクリックします

▼送信先設定(仕入先利用[条件入力])画面



- ② データ種別一覧より"見積依頼"の選択欄をチェックします
- ③「設定」ボタンをクリックします

▼データ種別選択画面

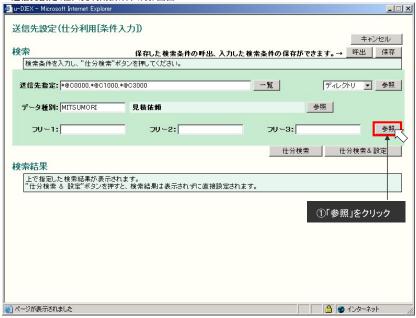


※仕分マスタより、送信先に指定した会社に送信可能なデータの一覧が表示されます

●フリー項目の設定

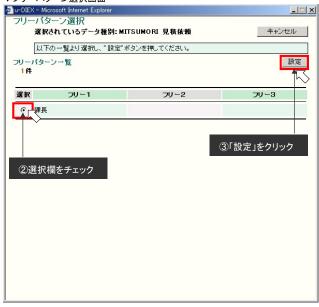
① フリー項目の「参照」ボタンをクリックする

▼送信先設定(仕入先利用[条件入力])画面



- ② フリーパターン一覧よりフリーパターンを選択します
- ③「設定」ボタンをクリックします

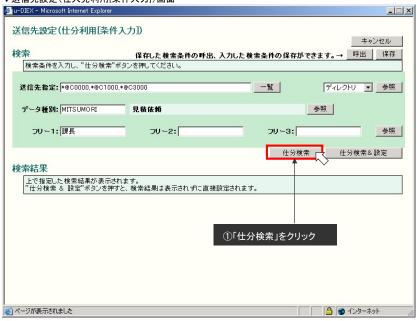
▼フリーパターン選択画面



※仕分マスタより、データ種別に対して追加指定可能な検索条件の一覧が表示されます

●仕分検索の実行

- ①「仕分検索」ボタンをクリックします
- ▼送信先設定(仕入先利用[条件入力])画面



- ② 検索結果に送信先(送信先)の一覧が表示されます
- ③ 「検索結果の設定」ボタンをクリックします

▼送信先設定(仕入先利用[条件入力])画面



④ アップロード(指示画面)の送信先(送信先)に仕分検索で設定したユーザが入力されます



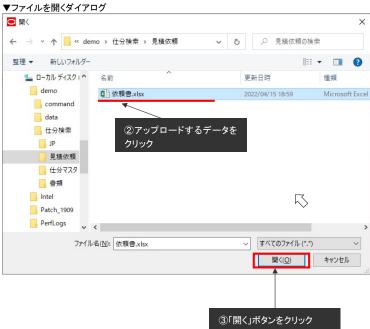
アップロードデータの名称選択

●アップロードデータの設定

① 「ファイルの選択」ボタンをクリックします



- ② アップロードするデータを指定します
- ③「アップロードー覧へ設定」ボタンをクリックします



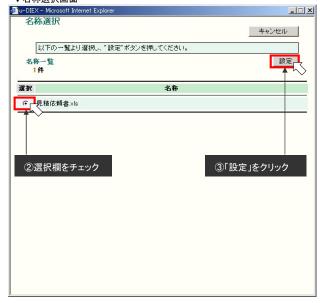
●データの名称選択

① アップロード画面で「名称選択」ボタンをクリックします



※名称選択するためには、事前に仕分検索をする必要があります ※仕分検索機能を追加したサービスのみ、「名称選択」ボタンが表示されます

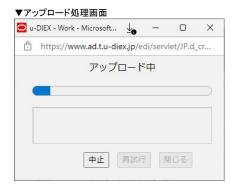
- ② 名称一覧から"見積依頼書.xls"の選択欄をクリックします
- ③ 「設定」ボタンをクリックします
- ▼名称選択画面



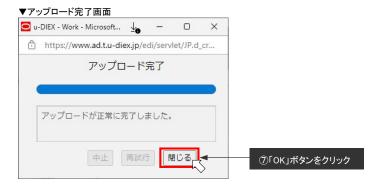
- ※仕分マスタから求まった名称が表示されます
- ④ アップロードデータの名称が"見積依頼書.xls"に変更されます
- ⑤ 「アップロード実行」ボタンをクリックします

▼アップロード(指示画面) ■ u-DIEX - 職場 - Microsoft Edge □ X https://www.t.u-diex.jp/home-edi-ja/html/SrvFuncWebEdiTopJ.html u-DIEX Web-EDI Logon ユーザID:5555555 ユーザ名:五郎 Information ロルート 白 電子メールボックス 白 見籍格約 中 □ 受信フォルダ 由 ● 見様依頼 アップロード先アドレス: /電子メールボックス/見積格納/見積依頼 1111111@C0000,3333333@C1000,7777777@C3000 (仕分利用[条件入力] 🗸 参照 闠放先: (YYYY/MM/DD) 有効期限: (24hh:mm) (24hh:mm) メンテナンス (共有アドレス帳が対象・ 回答期限: (YYYY/MM/DD) 回答期限: (YYY/MM/DD) 公開日時: 2022/04/15 (YYY/MM/DD) 18:15 (24hh:mm) アップロード実行 コード形式: バイナリマ ファイルの選択 アップロード情報一覧 解除 名称 見積依頼書 xlsx □ 名称変更 詳細設定 ④"見積依頼書.xls"に変更される ⑤「アップロード実行」をクリック メインメニュー Web - EDI TOP メール通知設定 利用者履歴 マニュアル PRODUCED BY TOYOTA SYSTEMS CORPORATI

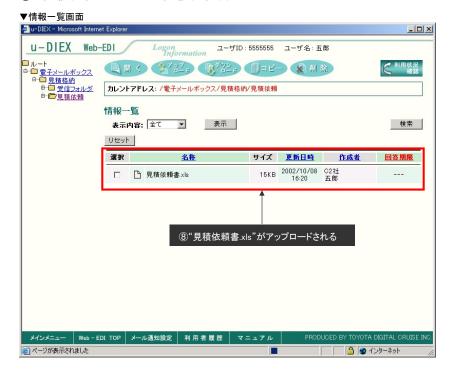
⑥ アップロード処理が実行されます



⑦ アップロード処理が正常終了したことを確認し、「OK」ボタンをクリックします



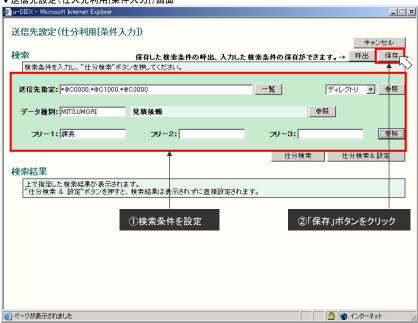
⑧ 見積依頼フォルダに"見積依頼書.xls"がアップロードされています



<補足説明 その1>

●検索条件の保存

- ① 検索条件を設定します
- ② 「保存」ボタンをクリックします
- ▼送信先設定(仕入先利用[条件入力])画面



- ③ 保存名欄に検索条件の保存名を入力します
- ④ 「保存」ボタンをクリックします
- ▼入力検索条件保存画面



⑤「OK」ボタンをクリックします

▼入力検索条件保存結果画面



※入力検索条件は 100 件まで保存することができます

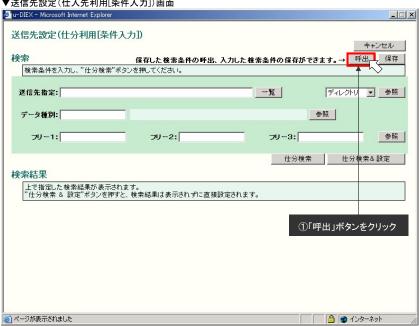
<補足説明 その2>

保存されている検索条件による仕分検索設定

●検索条件の呼出

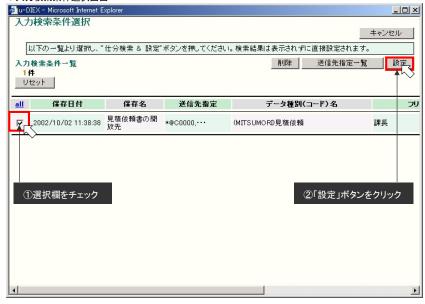
① 「呼出」ボタンをクリックします

▼送信先設定(仕入先利用[条件入力])画面

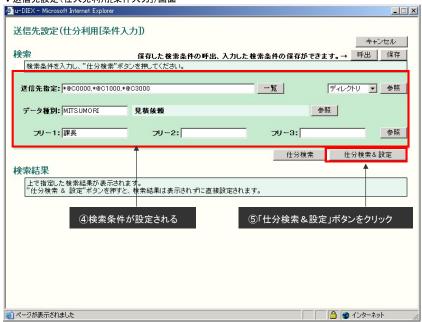


- ② 入力検索条件一覧から、呼出をする条件の選択欄をチェックします
- ③「設定」ボタンをクリックします

▼入力検索条件選択画面



- ④ 保存されていた検索条件が設定されます
- ⑤ 「仕分検索&設定」ボタンをクリックします
- ▼送信先設定(仕入先利用[条件入力])画面



⑥ アップロード(指示画面)の送信先(送信先)に仕分検索で求まった送信先(送信先)が入力されます



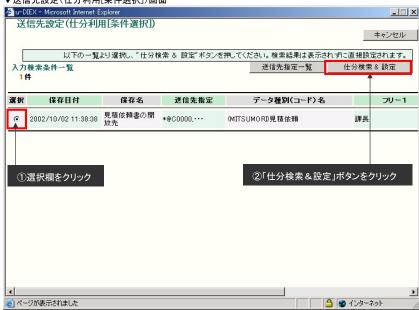
以上で、保存されている検索条件による送信先(送信先)設定は完了です

仕分利用[条件選択]による送信先(送信先)検索

- ●仕分利用[条件選択]画面の表示
- ① 送信先(送信先)の"仕分検索[条件選択]"を選択します
- ② 「参照」ボタンをクリックします



- ●入力検索条件一覧の選択
- ① 入力検索条件一覧の選択欄をチェックします
- ②「仕分検索&設定」ボタンをクリックします
- ▼送信先設定(仕分利用[条件選択])画面



※保存した検索条件の一覧が表示されます

③ 保存された条件で仕分検索を行い、求まった送信先(送信先)が設定されます



以上で、仕分利用[条件選択]による送信先(送信先)検索は完了です

7. USER 管理

7章では、u-DIEX における USER 管理機能について説明します。USER 管理は u-DIEX を利用するユーザ、プロセス、組織、会社の情報を管理する機能です。USER 管理は Web-EDI からのみ利用できます。

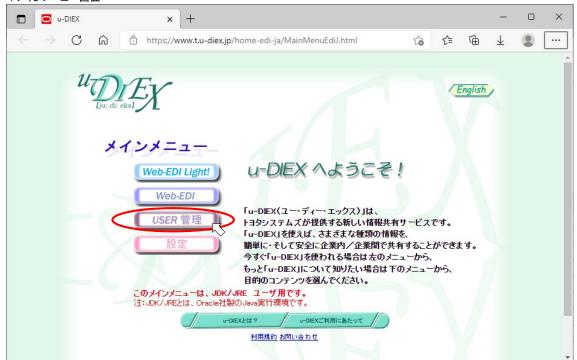
USER管理メニューで行われた情報更新(作成・変更・削除)は、24時間以内に他のメニュー(Web-EDI・設定)へ反映されます。

※反映は 0:00~1:00(u-DIEX センタ時間)に行われますので、上記時間での情報更新のご利用を控えるようお願いします。

USER 管理では、ログオンユーザが一般ユーザと会社管理者で利用される内容が異なります。そのため、本書では 7.1 章一般ユーザ用と 7.2 章会社管理者用で分けて説明をします。

USER 管理は、メインメニューの「USER 管理」ボタンをクリックすると、USER 管理 TOP 画面が表示されます。

▼メインメニュー画面



7.1. 一般ユーザ用

一般ユーザは、USER 管理機能で以下の機能を利用することができます。

[一般ユーザが利用可能な機能一覧]

機能名	説明
ユーザ情報表示	ログオンユーザのユーザ詳細情報を表示します。
ユーザ情報変更	ログオンユーザのユーザ詳細情報を変更します。
プロセス情報表示	ログオンユーザが管理者のプロセスを表示します。

▼一般ユーザ用 USER 管理 TOP 画面説明



●一般ユーザ用 USER 管理 TOP 画面構成

No.	機能名	機能説明
1	ログオンインフォメーション	ログオンユーザのユーザ ID とユーザ名が表示されます。
2	一般ユーザ用	一般ユーザ用の USER 管理機能が表示されます。
3	メインメニュー	メインメニュー画面が表示されます。
4	USER 管理 TOP	USER 管理 TOP 画面が表示されます。
⑤	マニュアル	USER 管理のオンラインマニュアル画面が表示されます。

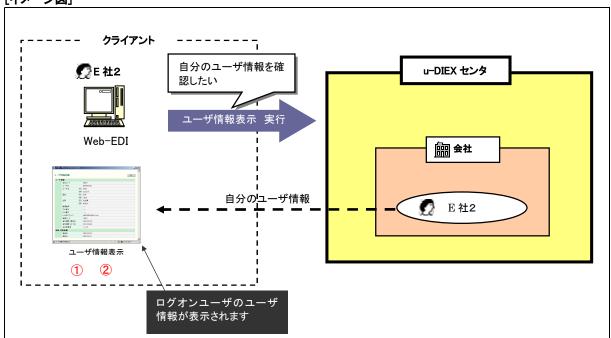
7.1.1. ユーザ情報表示

【機能説明】

[機能概説]

ログオンユーザの u-DIEX センタに登録されているユーザ情報詳細を表示します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『E 社 2 さんが、u-DIEX 上に登録されている自分のユーザ情報を確認する』流れを表しています。

[主な機能]

① ユーザ情報表示

ログオンユーザのユーザ名、ユーザ ID・組織コード・会社コード・国名・住所・E-MAIL アドレス・有効期限など、ユーザを登録した内容を確認することができます。

② 登録・更新情報表示

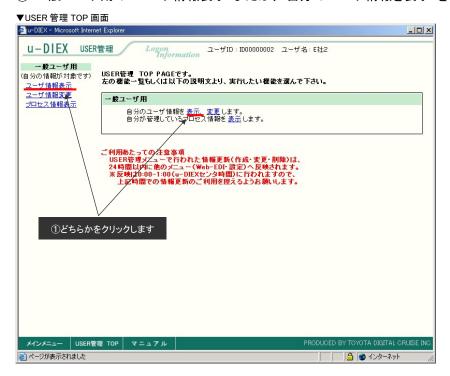
ログオンユーザが u-DIEX センタに登録された登録日、および登録情報が変更された更新日を確認することができます。

【画像を用いた操作説明】

イメージ図のユーザ情報表示の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

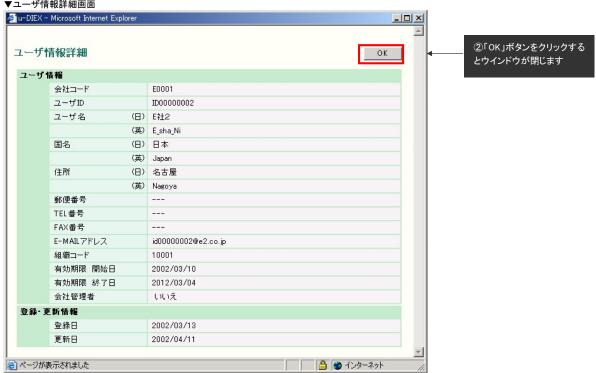
●ログオンユーザのユーザ情報表示

① 一般ユーザ用の"ユーザ情報表示"または、"自分のユーザ情報を表示"をクリックします



② ユーザ情報詳細画面にユーザ情報が表示されます

▼ユーザ情報詳細画面



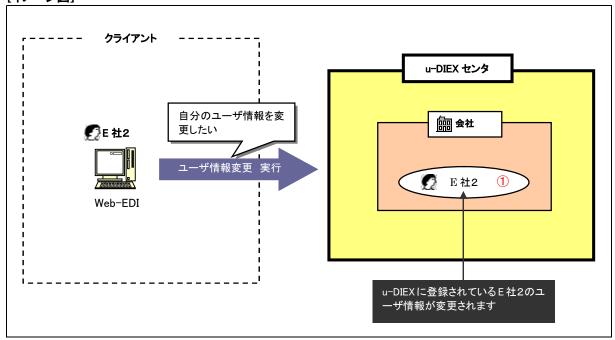
7.1.2. ユーザ情報変更

【機能説明】

[機能概説]

ログオンユーザの u-DIEX センタに登録されているユーザ情報を変更します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『E 社 2 さんが、u-DIEX 上に登録されている自分のユーザ情報を変更する』流れを表しています。

[主な機能]

① ユーザ情報変更

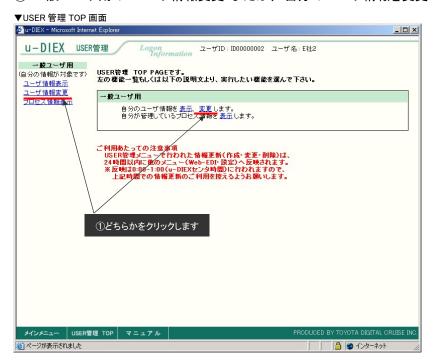
ユーザ情報の国名、住所、郵便番号、電話番号、FAX番号、E-MAILアドレスを変更することができます。

【画面を用いた操作説明】

イメージ図のユーザ情報変更の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●ログオンユーザのユーザ情報変更

① 一般ユーザ用の"ユーザ情報変更"または、"自分のユーザ情報を変更"をクリックします。



- ② ユーザ情報を変更します
- ③ ユーザ情報を変更後、「変更」ボタンをクリックします



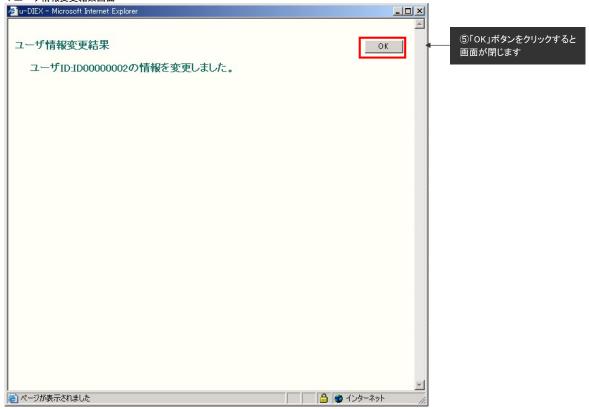
④ 変更項目を確認し、「OK」ボタンをクリックします

▼ユーザ情報変更確認画面



⑤ ユーザ情報が変更されたメッセージが表示されます

▼ユーザ情報変更結果画面



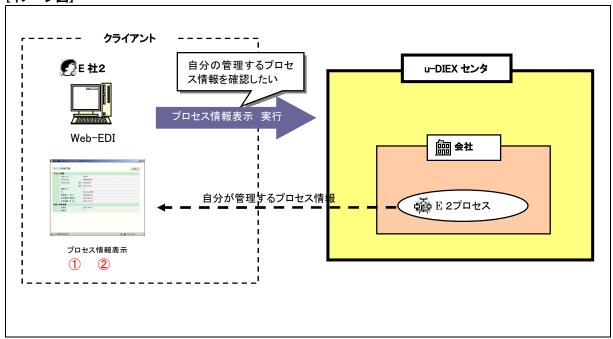
7.1.3. プロセス情報表示

【機能説明】

[機能概説]

ログオンユーザが管理しているプロセスの u-DIEX センタに登録されているプロセス情報を表示します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『E 社 2 さんが、u-DIEX 上に登録されている自分が管理するプロセス情報を確認する』流れを表しています。

[主な機能]

① プロセス情報表示

ログオンユーザが管理しているプロセスのプロセス名・プロセス ID・組織コード・会社コード・有効期限など、プロセスを登録した内容を確認することができます。

② 登録・更新情報表示

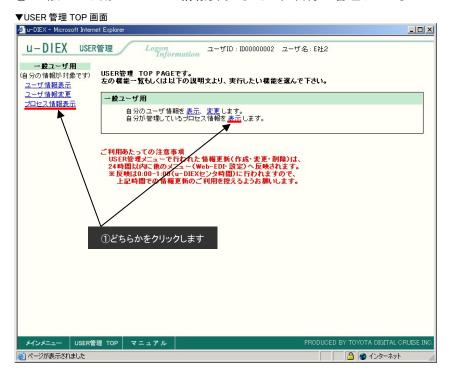
プロセスが u-DIEX に登録された登録日、および登録情報が変更された更新日を確認することができます。

【画像を用いた操作説明】

イメージ図のプロセス情報表示の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●ログオンユーザの管理するプロセス情報表示

① 一般ユーザ用の"プロセス情報表示"または、"自分の管理しているプロセス情報を表示"をクリックします。



- ② プロセスの検索項目で、"プロセス ID"を選択します
- ③ プロセスの検索内容に検索するプロセス ID を入力します
- 4 「検索」ボタンをクリックします



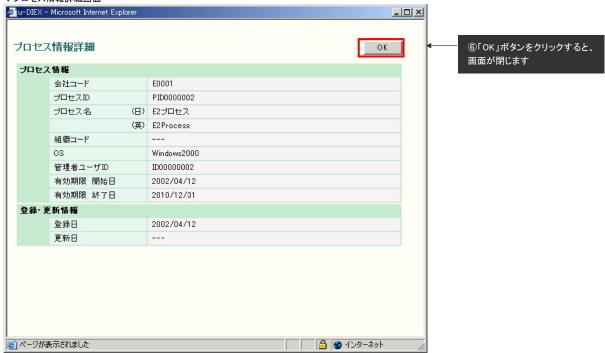
④「検索」ボタンをクリック

⑤ プロセス情報一覧より、プロセス ID のリンク部分を選択します

▼USER 管理 プロセス情報一覧画面 ∅ u-DIEX - Microsoft Internet Explorer _ | X u-DIEX USER管理 ユーザID: ID00000002 ユーザ名: E社2 一般ユーザ用(自分の情報が対象です) プロセス情報検索 検索 ユーザ 情報表示 検索項目 検索内容 ユーザ情報変更 プロセス情報表示 会社 会社コード E0001 組織 組織コード 10001 ID00000002 ユーザID ユーザ プロセスID 🔻 PID0000002 ブロセス プロセス情報一覧 ブロセス名(日) 会社コード プロセスID プロセス名(英) E0001 PID0000002 E2プロセス E2Process ⑤"PID00000002"のリンク部分を選択 メインメニュー USER管理 TOP マニュアル ◎ ページが表示されました △ ◇ インターネット

⑥ プロセスの情報詳細が表示されます

▼プロセス情報詳細画面



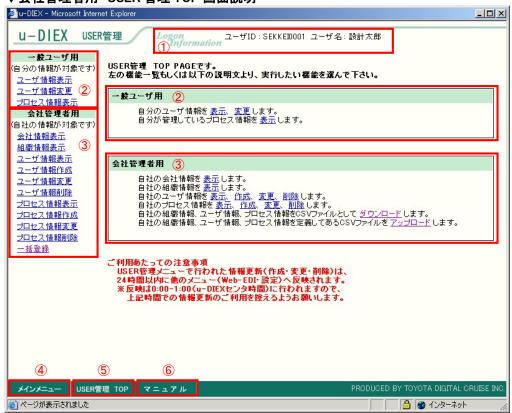
7.2. 会社管理者用

会社管理者は、USER 管理機能で以下の機能を利用することができます。

[会社管理者が利用可能な機能一覧]

機能名	説明
会社情報表示	ログオンユーザの属する会社の登録情報を表示します。
組織情報表示	登録されている会社内の組織情報を表示します。
ユーザ情報表示	会社内のユーザ情報を表示します。
ユーザ情報作成	会社内にユーザを作成します。
ユーザ情報変更	登録されている会社内のユーザ情報を変更します。
ユーザ情報削除	登録されている会社内のユーザを削除します。
プロセス情報表示	会社内のプロセス情報を表示します。
プロセス情報作成	会社内にプロセスを作成します。
プロセス情報変更	登録されている会社内のプロセス情報を変更します。
プロセス情報削除	登録されている会社内のプロセスを削除します。
一括登録	会社内のユーザ、プロセス、会社の情報を作成、変更、削除できます。

▼会社管理者用 USER 管理 TOP 画面説明



●会社管理者用 USER 管理 TOP 画面構成

No.	機能名	機能説明			
1	ログオンインフォメーション	ログオンユーザのユーザ ID とユーザ名が表示されます。			
2	一般ユーザ用	一般ユーザ用の機能が表示されます。			
3	会社管理社用	会社管理者用の機能が表示されます。			
4	メインメニュー	メインメニュー画面が表示されます。			
⑤	USER 管理 TOP	USER 管理 TOP 画面が表示されます。			
6	マニュアル	USER 管理のオンラインマニュアル画面が表示されます。			

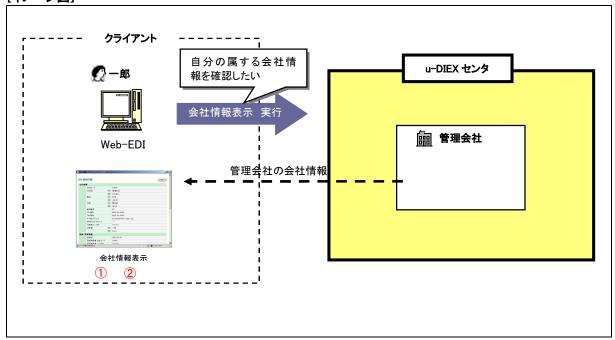
7.2.1. 会社情報表示

【機能説明】

[機能概説]

ログオンユーザの会社情報を表示します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『会社管理者である一郎さんが、自分の属する管理会社の登録情報を確認する』流れを表 しています。

[主な機能]

① 会社情報表示

ログオンユーザの属する会社の会社名、会社コード、会社代表者など、会社を登録した内容を確認することができます。

② 登録・更新情報表示

会社の登録日、登録申請者ユーザ名、登録申請者ユーザIDなどが表示されます。また、会社の登録内容が更新されている場合、更新日、更新申請者ユーザ名、更新申請者ユーザIDなどが表示されます。

【画面を用いた操作説明】

▼会社情報詳細画面

イメージ図の会社情報表示の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●ログオンユーザの会社情報表示

① 会社管理者用の"会社情報表示"または、"自社の会社情報を表示"をクリックします



② ログオンユーザの属する会社の情報詳細が表示されます

🎒 u-DIEX - Microsoft Internet Explorer _ | X 会社情報詳細 OK 会社情報

②「OK」ボタンをクリックすると、 画面が閉じます

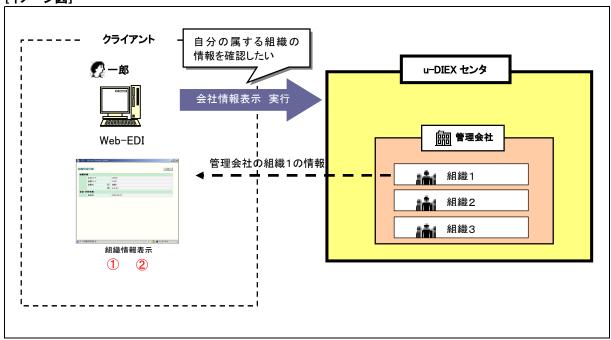
7.2.2. 組織情報表示

【機能説明】

[機能概説]

ログオンユーザの会社内の組織情報を表示します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『会社管理者である一郎さんが、自分の属する管理会社内の組織1の登録情報を確認する 。 る』流れを表しています。

[主な機能]

① 組織情報

ログオンユーザの属する会社内の組織の組織名、組織コードが表示されます。

② 登録・更新情報

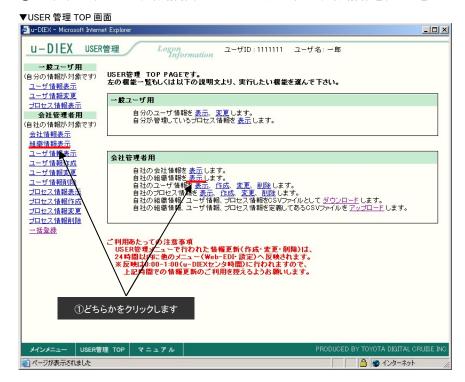
組織の登録日が表示されます。

【画面を用いた操作説明】

イメージ図の組織情報表示の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

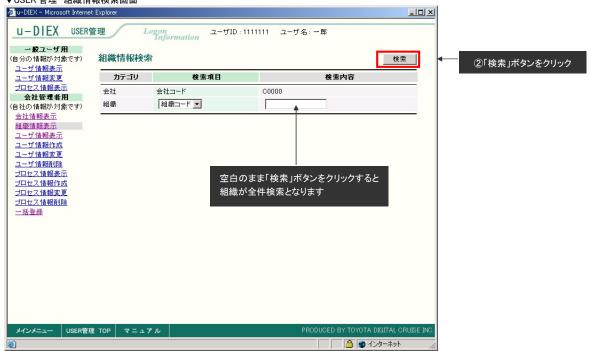
●ログオンユーザの会社内の組織情報表示

① 会社管理者用の"組織情報表示"または、"自社の組織情報を表示"をクリックします



② 「検索」ボタンをクリックします

▼USER 管理 組織情報検索画面



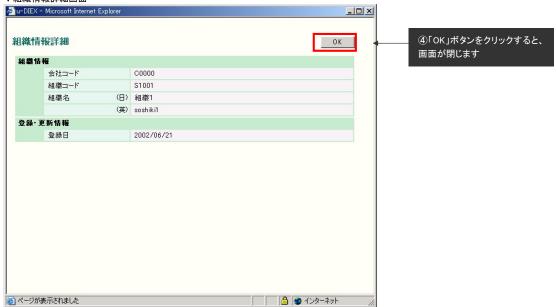
③ 組織情報一覧の組織コードのリンク部分をクリックします

▼USER 管理 組織情報一覧画面



④ 組織の情報詳細が表示されます

▼組織情報詳細画面



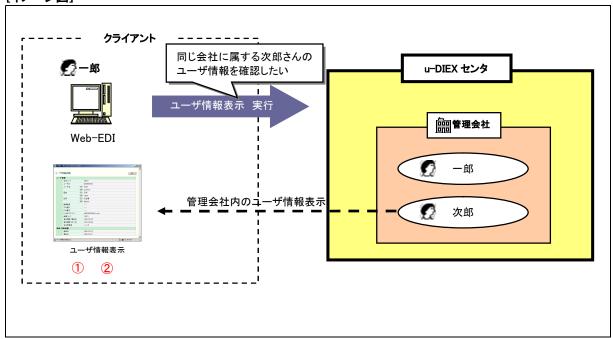
7.2.3. ユーザ情報表示

【機能説明】

[機能概説]

ログオンユーザの会社内のユーザ情報を表示します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『会社管理者である一郎さんが、自分と同じ会社の次郎さんのユーザ情報を確認する』流れを表しています。

[主な機能]

① ユーザ情報表示

ログオンユーザの属する会社内の全てのユーザ名/ユーザ ID/組織コード/会社コード/国名/住所 / E-MAIL アドレス/有効期限など、ユーザを登録した内容を確認することができます。

② 登録・更新情報表示

ログオンユーザの属する会社内のユーザの u-DIEX センタに登録された登録日、および登録情報が変更された更新日を確認することができます。

【画面を用いた操作説明】

イメージ図のユーザ情報表示の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●ログオンユーザの会社内のユーザ情報表示

① 会社管理者用の"ユーザ情報表示"または、"自社のユーザ情報を表示"をクリックします



- ② ユーザの検索項目で"ユーザ ID"を選択します
- ③ ユーザの検索内容に検索するユーザ ID を入力します
- ④ 「検索」ボタンをクリックします

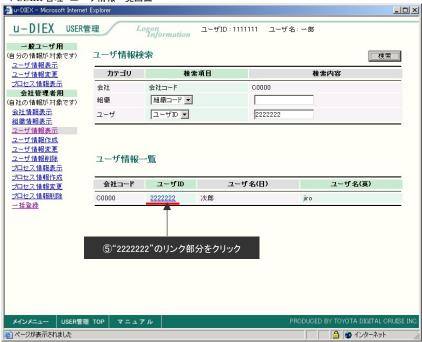
▼USER 管理 ユーザ情報検索画面



△ ◇ インターネット

⑤ ユーザ情報一覧のユーザ ID のリンク部分をクリックします

▼USER 管理 ユーザ情報一覧画面



⑥ ユーザ情報が表示され、「OK」をクリックすると画面が閉じます

▼ユーザ情報詳細画面



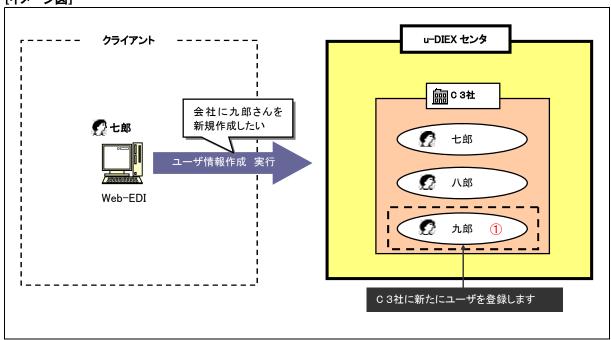
7.2.4. ユーザ情報作成

【機能説明】

[機能概説]

ログオンユーザが、自分の属する会社にユーザを作成します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『会社管理者である七郎さんが、自分の会社に新たなユーザとして、九郎さんを作成する』 流れを表しています。

[主な機能]

① ユーザ情報作成

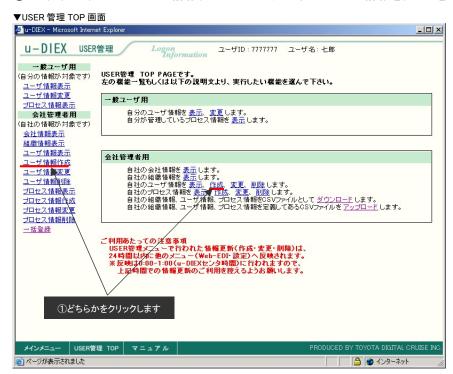
ログオンユーザの属する会社内にユーザを新規作成することができます。

【画面を用いた操作説明】

イメージ図のユーザ情報作成の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●ログオンユーザの会社内のユーザ情報作成

① 会社管理者用の"ユーザ情報表示"または、"自社のユーザ情報を表示"をクリックします



- ② 作成するユーザ情報を設定します
- ③ ユーザ情報を設定後、「作成」ボタンをクリックします
- ▼ユーザ情報作成画面



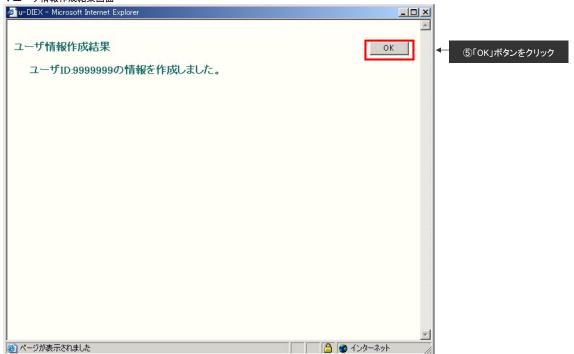
- ④ 設定したユーザ情報を確認します
- ⑤ ユーザ情報を確認後、「OK」ボタンをクリックします

▼ユーザ情報作成確認画面



⑥ ユーザ情報作成結果が表示されます

▼ユーザ情報作成結果画面



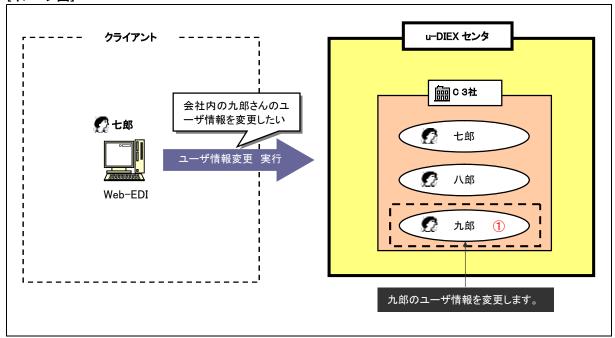
7.2.5. ユーザ情報変更

【機能説明】

[機能概説]

ログオンユーザの会社に属するユーザのユーザ情報を変更します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『会社管理者である七郎さんが、自分の会社のユーザである九郎さんのユーザ情報を変更 する』流れを表しています。

[主な機能]

① ユーザ情報変更

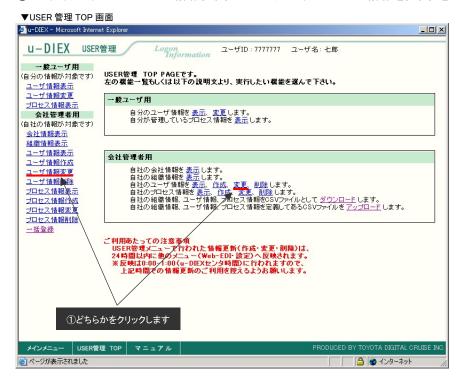
ログオンユーザが属する会社のユーザの登録情報を変更することができます。

【画面を用いた操作説明】

イメージ図のユーザ情報作成の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●ログオンユーザの会社内のユーザ検索

① 会社管理者用の"ユーザ情報変更"または、"自社のユーザ情報を変更"をクリックします



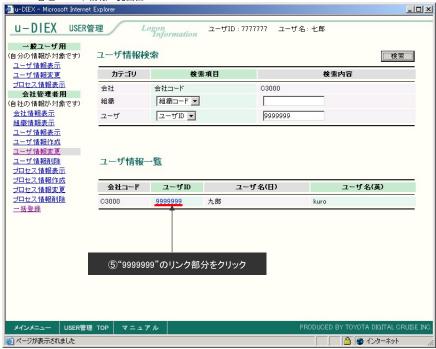
- ② ユーザの検索項目で"ユーザ ID"を選択します
- ③ ユーザの検索内容に検索するユーザ ID を入力します
- ④ 「検索」ボタンをクリックします

▼USER 管理 ユーザ情報検索画面



⑤ ユーザ情報一覧のユーザ ID のリンク部分をクリックします

▼USER 管理 ユーザ情報一覧画面



●ユーザ情報の変更

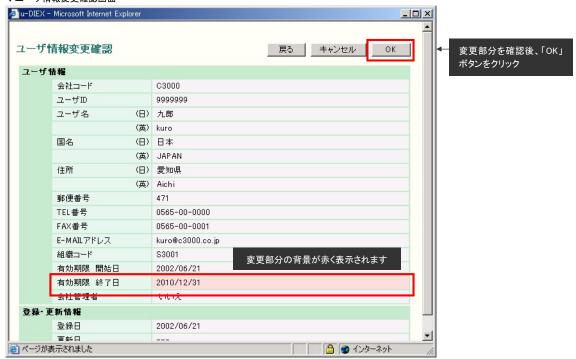
- ① ユーザ情報を変更します
- ② ユーザ情報を変更後、「変更」ボタンをクリックします

▼ユーザ情報変更画面



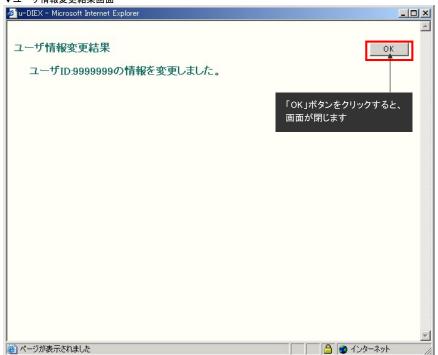
③ 変更項目を確認し、「OK」ボタンをクリックします

▼ユーザ情報変更確認画面



④ ユーザ情報変更結果画面にユーザ情報変更結果が表示されます

▼ユーザ情報変更結果画面



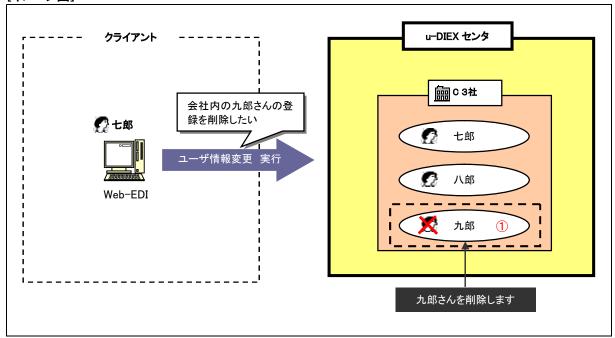
7.2.6. ユーザ情報削除

【機能説明】

[機能概説]

ログオンユーザの会社に属するユーザを削除します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『会社管理者である七郎さんが、自分の会社のユーザである九郎さんのユーザ情報を削除する』流れを表しています。

[主な機能]

① ユーザ情報削除

ログオンユーザの属する会社のユーザの登録情報を削除することができます。

※ログオンユーザは自分自身の登録情報を削除することはできません。

イメージ図のユーザ情報削除の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

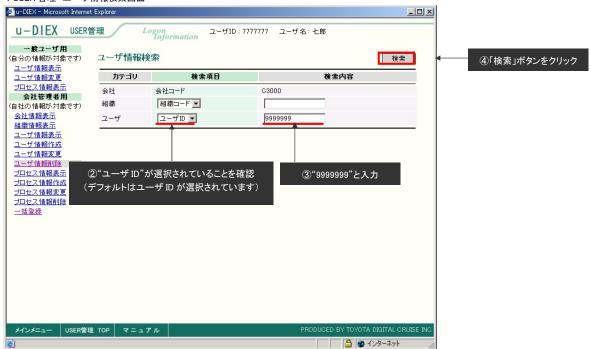
●ログオンユーザの会社内のユーザ検索

① 会社管理者用の"ユーザ情報削除"または、"自社のユーザ情報を削除"をクリックします

▼USER 管理 TOP 画面 🎒 u-DIEX - Microsoft Internet Explor _ | U × u-DIEX USER管理 ユーザID:7777777 ユーザ名:七郎 一般ユーザ用 (自分の情報が対象です) USER管理 TOP PAGEです。 左の機能一覧もしくは以下の説明文より、実行したい機能を選んで下さい。 フーザ情報表示 ユーザ情報変更 プロセス情報表示 自分のユーザ情報を<u>表示</u>、変更します。 自分が管理しているプロセス情報を<u>表示</u>します。 会社管理者用 (自社の情報が対象です) 会社情報表示 ユーザ情報表示 会社管理者用 ユーザ 情報作成 自社の会社情報を表示します。 自社の組織情報を表示します。 自社のコーザ情報を表示、作成、変更、削除します。 自社のプロス情報を表示、作成、変更、削除します。 自社の対ロス情報を表示、作成、変更、削除します。 自社の組織情報、ユーザ情報、プロセス情報をGSVファイルとして<u>ダウンロード</u>します。 自社の組織情報、ユーザ情報、プロセス情報を定義してあるGSVファイルをアップロードします。 ユーザ 情報変更 ユーザ情報削除 プロセス情報 元プロセス情報作成 プロセス情報変更 プロセス情報削除 一括登録 ご利用あたっての注意事項 USER管理メニューを行われた情報更新(作成・変更・削除)は、 24時間以内に他のメニュー(Web-EDI・設定)へ反映されます。 ※反映は0.02~1:00(セーDEXセンタ時間)に行われますので、 上記時間での情報更新のご利用を控えるようお願いします。 ①どちらかをクリックします メインメニュー USER管理 TOP マニュアル

- ② ユーザの検索項目に"ユーザ ID"が選択されていることを確認します
- ③ 検索内容に検索するユーザ ID を入力します
- ④ 「検索」ボタンをクリックします
- ▼USER 管理 ユーザ情報検索画面

ページが表示されました



△ ◇ インターネット

⑤ ユーザ情報一覧に表示されるユーザ情報のユーザ ID の部分をクリックします

▼USER 管理 ユーザ情報一覧



●ユーザの削除

- ① 削除するユーザ情報を確認します
- ②「OK」ボタンをクリックします

▼ユーザ情報削除確認画面



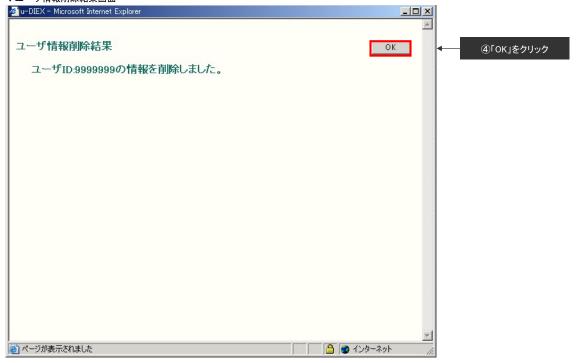
③ ユーザ情報の削除の最終確認で、「OK」ボタンをクリックします

▼削除確認画面



④「OK」ボタンをクリックするとウインドウが閉じます

▼ユーザ情報削除結果画面



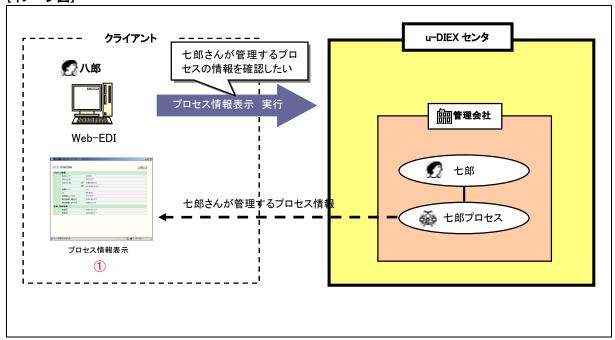
7.2.7. プロセス情報表示

【機能説明】

[機能概説]

ログオンユーザの会社内のプロセス情報を表示します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『会社管理者である八郎さんが、自分の会社のユーザである七郎さんが管理するプロセス のプロセス情報を確認する』流れを表しています。

[主な機能]

① プロセス情報表示

ログオンユーザは、ログオンユーザの属するユーザが管理するプロセスの情報を表示することができます。

② 登録・更新情報の表示

ログオンユーザの属する会社内のユーザが管理するプロセスの u-DIEX センタに登録された登録日、および登録情報が変更された更新日を確認することができます。

イメージ図のプロセス情報表示の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

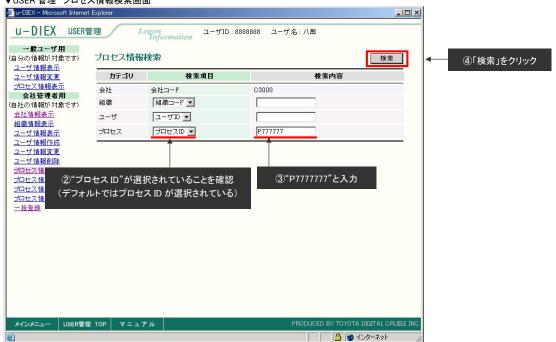
●ログオンユーザの会社内のプロセス検索

① 会社管理者用の"プロセス情報表示"または、"自社のプロセス情報を表示"をクリックします



- ② プロセスの検索項目に"プロセス ID"が選択されていることを確認します
- ③ プロセスの検索内容に表示するプロセス ID を入力します
- 4) 「検索」ボタンをクリックします

▼USER 管理 プロセス情報検索画面



⑤ プロセス情報一覧より、情報を表示するプロセスを選択します

▼USER 管理 プロセス情報一覧



●プロセスの情報表示

- ① プロセス情報詳細が表示されます
- ②「OK」ボタンをクリックすると、ウインドウが閉じます

▼プロセス情報詳細画面



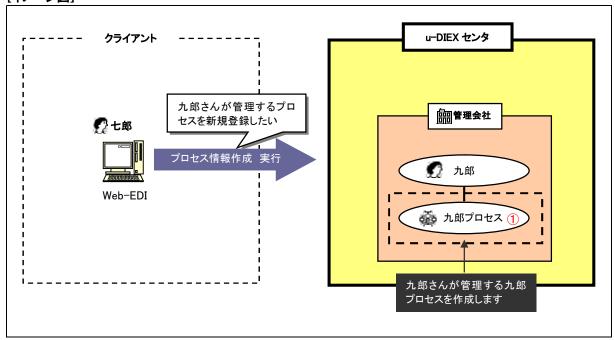
7.2.8. プロセス情報作成

【機能説明】

[機能概説]

ログオンユーザの会社に属するユーザが管理するプロセスを作成します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『会社管理者である七郎さんが、自分の会社のユーザである九郎さんが管理する九郎プロセスを新規登録する』流れを表しています。

[主な作業]

① プロセス登録

ログオンユーザが属する会社のユーザが管理するプロセスを新規作成することができます。

イメージ図のプロセス情報登録の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●ログオンユーザの会社内のプロセス登録

① 会社管理者用の"プロセス情報作成"または、"自社のプロセス情報を作成"をクリックします



- ② プロセス情報を設定します
- ③「作成」ボタンをクリックします
- ▼プロセス情報作成画面



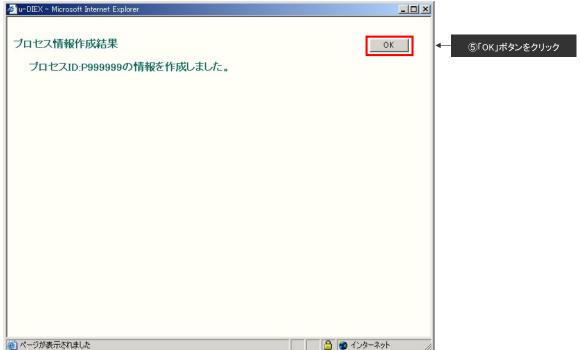
- 4 設定したプロセス情報を確認します
- ⑤「OK」ボタンをクリックします

▼プロセス情報作成確認画面



⑥「OK」ボタンをクリックすると、ウインドウが閉じます

▼プロセス情報作成結果画面



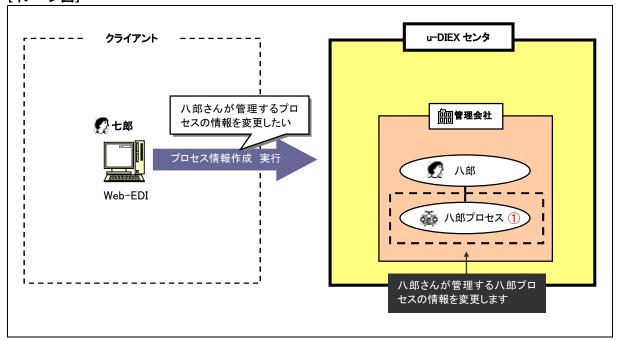
7.2.9. プロセス情報変更

【機能説明】

[機能概説]

ログオンユーザの会社に属するユーザが管理するプロセスの情報を変更します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『会社管理者である七郎さんが、自分の会社のユーザである八郎さんが管理する八郎プロセスの登録情報を変更する』流れを表しています。

[主な機能]

① プロセス情報変更

ログオンユーザが属する会社のユーザが管理するプロセスの情報を変更することができます。

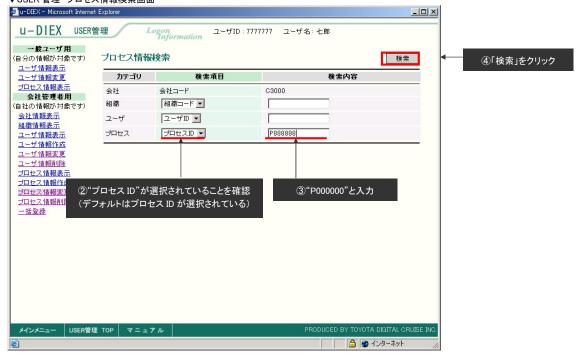
イメージ図のプロセス情報変更の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●ログオンユーザの会社内のプロセス検索

① 会社管理者用の"プロセス情報変更"または、"自社のプロセス情報を変更"をクリックします

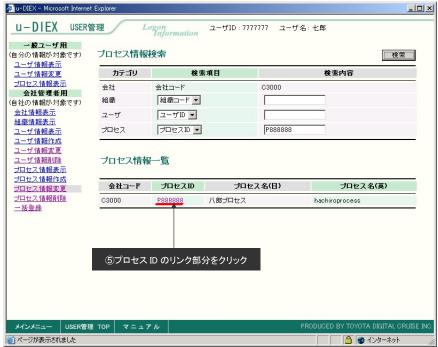


- ② プロセスの検索項目に"プロセス ID"が選択されていることを確認します
- ③ プロセスの検索内容に検索するプロセス ID を入力します
- ④ 「検索」ボタンをクリックします
- ▼USER 管理 プロセス情報検索画面



⑤ プロセス情報一覧より、プロセス ID のリンク部分をクリックします

▼USER 管理 プロセス情報一覧



●プロセス情報の変更

- ① プロセス情報を変更します
- ②「変更」ボタンをクリックします

▼プロセス情報変更画面



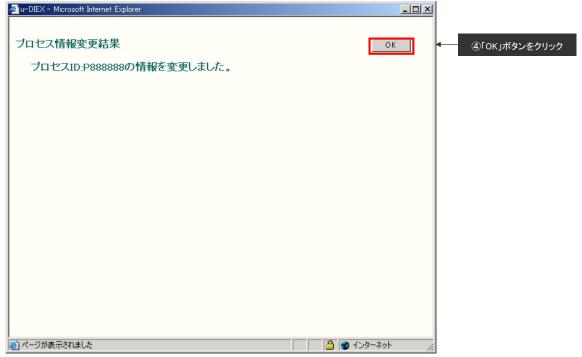
- ③ プロセス情報の変更部分を確認します
- ④「OK」ボタンをクリックします

▼プロセス情報変更確認画面



⑤「OK」ボタンをクリックします

▼プロセス情報変更結果画面



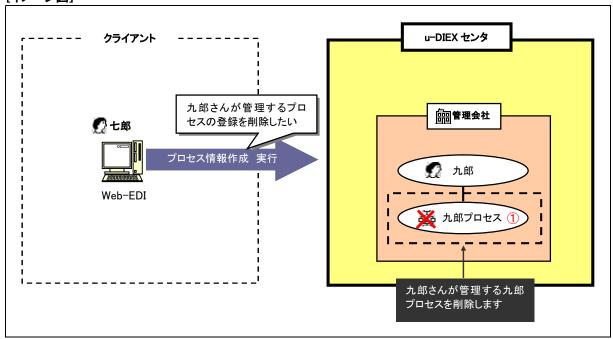
7.2.10. プロセス情報削除

【機能説明】

[機能概説]

ログオンユーザの会社に属するユーザが管理するプロセスを削除します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『会社管理者である七郎さんが、自分の会社のユーザである九郎さんが管理する九郎プロセスを削除する』流れを表しています。

[主な機能]

① プロセス情報削除

ログオンユーザが属する会社のユーザが管理するプロセスの情報を削除することができます。

イメージ図のプロセス情報削除の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

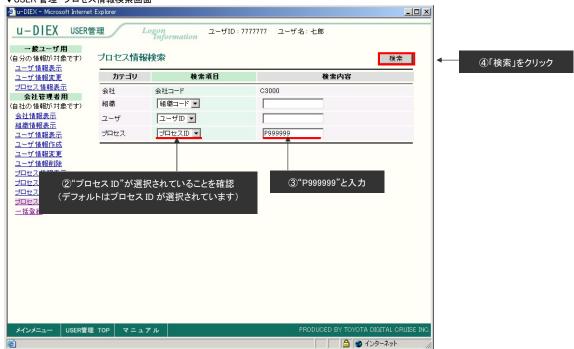
●ログオンユーザの会社内のプロセス検索

① 会社管理者用の"プロセス情報削除"または、"自社のプロセス情報を削除"をクリックします

▼USER 管理 TOP 画面 🎒 u-DIEX - Microsoft Internet Expl _ | U × u-DIEX USER管理 ユーザID:7777777 ユーザ名:七郎 一般ユーザ用 (自分の情報が対象です) USER管理 TOP PAGEです。 左の機能一覧もしくは以下の説明文より、実行したい機能を選んで下さい。 フーザ情報表示 ユーザ 情報変更 プロセス情報表示 自分のユーザ 情報を <u>表示</u>、変更 します。 自分が 管理しているプロセス 情報を <u>表示</u> します。 会社管理者用 (自社の情報が対象です) 会社情報表示 組織情報表示 ユーザ情報表示 会社管理者用 ユーザ 情報作成 自社の会社情報を表示します。 自社の組織情報を表示します。 自社のカローザ情報を表示、作成、変更、削除します。 自社のプロンス情報を表示、作成、変更、削除します。 自社の利田之情報を表示、作成、変更、削除します。 自社の組織情報、ユーザ情報、プロセス情報を定勢してあるGSVファイルをアップロードします。 自社の組織情報、ユーザ情報、プロセス情報を定義してあるGSVファイルをアップロードします。 ユーザ情報変更 ユーザ 情報削除 プロセス情報表示 プロセス情報作成 プロセス情報変更 プロセス情報削除 一括登録 ご利用あたっての注意事項 USER管理メニューで行われた情報更新(作成・変更・削除)は、 24時間以内に他のメニュー(Web-EDI・設定)へ反映されます。 ※反映は900-7400に対し29時間)に行われますので、 上記時間との情報更新のご利用を控えるようお願いします。 ①どちらかをクリックします メインメニュー USER管理 TOP マニュアル △ ◇ インターネット

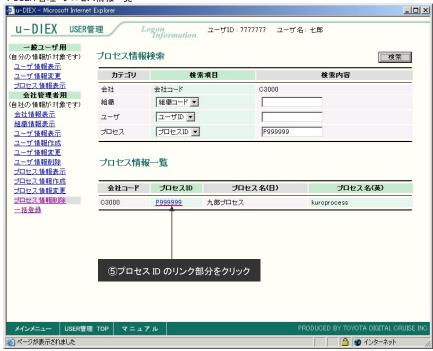
- ② プロセスの検索項目に"プロセス ID"が指定されていることを確認する
- ③ プロセスの検索内容に検索するプロセス ID を入力します
- ④ 「検索」ボタンをクリックします

▼USER 管理 プロセス情報検索画面



⑤ プロセス情報一覧のプロセス ID のリンク部分をクリックします

▼USER 管理 プロセス情報一覧



●プロセス情報削除の実行

- ① 削除するプロセスであるかを確認します
- ②「OK」ボタンをクリックします
- ▼プロセス情報削除確認画面



③ プロセス情報の削除の最終確認で、「OK」ボタンをクリックします

▼プロセス削除確認画面



④「OK」ボタンをクリックします

▼プロセス情報削除結果画面



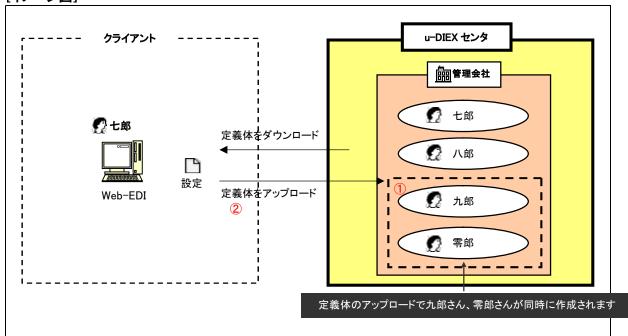
7.2.11. 一括登録

【機能説明】

[機能概説]

ログオンユーザの会社に複数の組織またはユーザまたはプロセスを一度の処理で登録します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『会社管理者である七郎さんが、自分の会社内に九郎さんと零郎さんを一括登録する』流れを表しています。

[主な機能]

① 一括登録

ログオンユーザが属する会社の組織、ユーザ、プロセスを一括登録(作成・変更・削除)することができます。

② 定義体

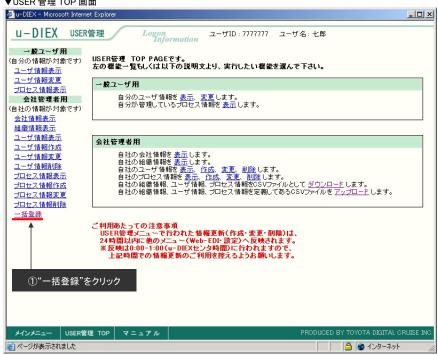
定義体ファイルに組織/ユーザ/プロセスの情報を設定し、u-DIEX センタにアップロードすることで一括登録ができます。

イメージ図の一括登録の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●一括登録定義体のダウンロード

① 会社管理者用の"一括登録"をクリックします

▼USER 管理 TOP 画面



- ② ダウンロードの定義体の種類を選択します
- ③「ダウンロード」ボタンをクリックします
- ▼USER 管理 一括登録



④ ユーザ情報定義体のダウンロードで「保存」ボタンをクリックします

▼定義体のダウンロード確認画面



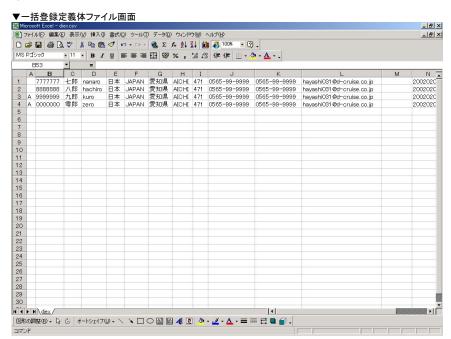
④「保存」をクリック

- ⑤ 定義体のダウンロード先を指定します
- ⑥「保存」ボタンをクリックします
- ▼名前をつけて保存画面



●一括登録定義体の編集

① ユーザ情報定義体ファイルを編集します



①一括登録定義体を編集 (編集方法は別資料をご覧下さい)

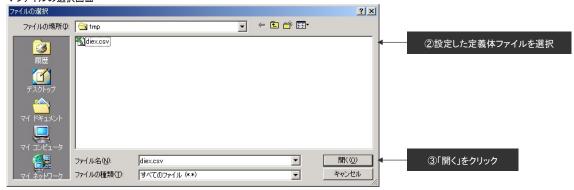
●一括登録定義体のアップロード

① アップロードファイルで「参照」ボタンをクリックします



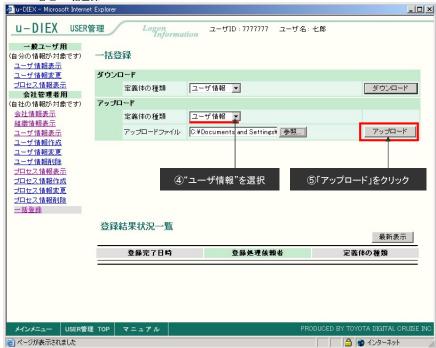
- ② アップロードする定義体を選択します
- ③ 「開く」ボタンをクリックします

▼ファイルの選択画面



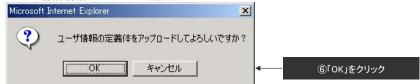
- ④ アップロードの定義体の種類で"ユーザ情報"を選択します
- ⑤「アップロード」ボタンをクリックします

▼USER 管理 一括登録



⑥ 定義体のアップロード確認で「OK」をクリックします

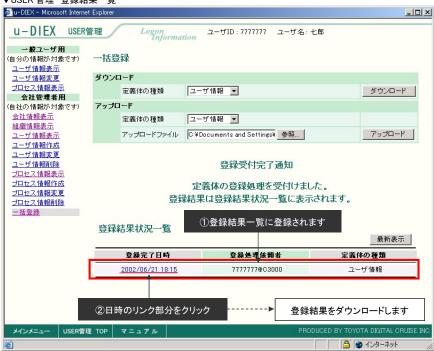
▼ユーザ情報定義体のアップロード確認画面



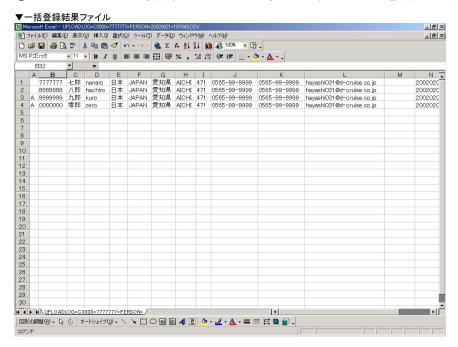
●一括登録定義体の登録確認

- ① ユーザ情報定義体の登録受付が完了し、登録結果状況一覧に情報が登録されます
- ② 登録完了日時のリンク部分をクリックします

▼USER 管理 登録結果一覧



③ ダウンロードした登録結果ファイルから登録が正常終了したことを確認します



正常終了、エラーなどの確認方法はオンラインマニュアルをご覧下さい

8. 設定

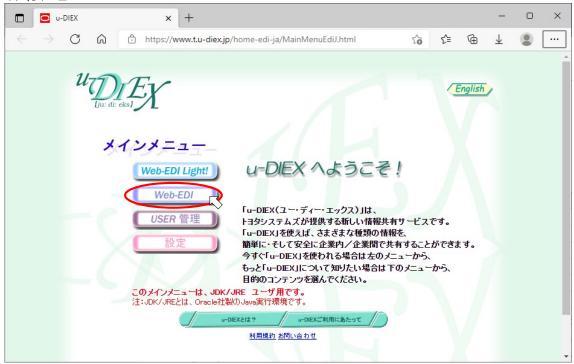
8 章では、u-DIEX における設定機能について説明します。設定機能は、オーナまたはスーパーユーザが利用することができます。設定は Web-EDI からのみ利用できます。

【設定の主な機能】

機能名	説明
情報一覧	自分が参照可能なデータを表示します。
利用状況確認	カレントフォルダのデータの最終利用履歴を表示します。
検索	検索条件に一致するデータを表示します。
フォルダ作成	サービス/フォルダ内にフォルダを作成します。
フォルダ変更	フォルダの設定内容を変更します。
フォルダ削除	フォルダを削除します。
スーパーユーザ設定	選択したフォルダに対して、スーパーユーザを設定します。
フォルダー括登録	サービス/フォルダ内にフォルダを一括登録します。
定義体登録	表示用、コード変換用などの定義体ファイルを登録します。

設定画面は、メインメニューの「設定」ボタンをクリックすると設定 TOP 画面が表示されます。

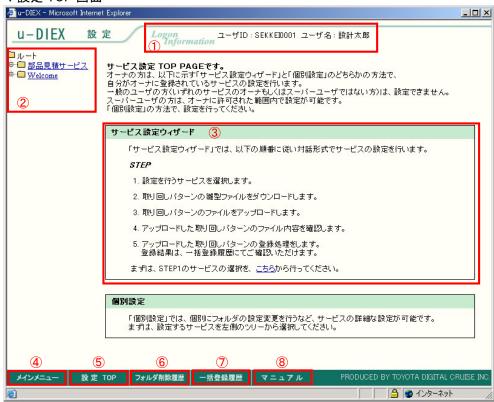
▼メインメニュー



8.1. オーナ・スーパーユーザ用

設定機能は、オーナまたはスーパーユーザが利用できます。

▼設定 TOP 画面



●設定 TOP 画面構成

<u> </u>				
No.	機能名	機能説明		
1	ログオンインフォメーション	ログオンユーザのユーザ ID とユーザ名が表示されます。		
2	サービスツリー	ログオンユーザが利用できるサービスが表示されます。		
		サービス配下は宀をクリックしてツリー構造を展開していきます。		
		サービスツリーのサービス名のリンク部分をクリックすると、設定		
		画面が表示されます。		
3	サービス設定ウィザード	サービス設定ウィザードの説明が表示されます。		
4	メインメニュー	メインメニュー画面が表示されます。		
⑤	設定 TOP	設定 TOP 画面が表示されます。		
6	フォルダ削除履歴	フォルダ削除履歴が表示されます。		
7	一括登録履歴	一括登録履歴が表示されます。		
8	マニュアル	設定のオンラインマニュアル画面が表示されます。		

▼設定 情報一覧画面



●設定 情報一覧画面構成

No.	機能名	機能説明
1	フォルダツリー	ログオンユーザが利用できるサービス・フォルダ・パッケージ・パッケージフォ
		ルダが表示されます。
		申をクリックしてツリー構造を展開していきます。
2	フォルダ作成	フォルダの作成を行います。
3	フォルダ変更	フォルダの設定内容を変更します。
4	フォルダ削除	フォルダを削除します。
5	フォルダー括登録	フォルダの一括登録を行います。
6	定義体の登録	表示用、入力用 XSL、入力用 DTD、コード変換用の定義体を登録します。
7	スーパーユーザの設	スーパーユーザの設定を行います。
	定	
8	利用状況確認	カレントフォルダのデータの最終利用履歴を表示します。
9	カレントアドレス	現在一覧表示しているアドレスを表示します。
10	表示内容	現在表示している情報一覧の中から、ログオンユーザが未読/既読の情報
		を絞り込んで一覧表示します。
11)	検索	現在表示しているアドレス以下の情報が検索できます。
12	情報一覧	カレントアドレスにあるデータを表示します。

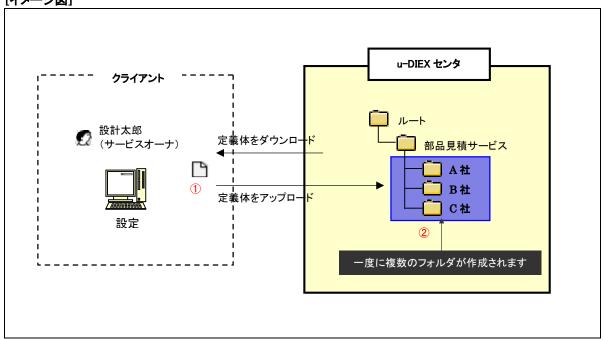
8.1.1. サービス設定ウィザード

【機能説明】

[機能概説]

サービス設定ウィザードの指示に従って、対話形式でサービスの設定を行います。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『サービスオーナである設計太郎さんが、u-DIEX センタの"/部品見積サービス"の設定を、サービス設定ウィザードに従って設定し、フォルダを一括登録する』流れを表しています。

[主な機能]

① 定義体への設定

フォルダー括登録の情報を定義体に設定します。

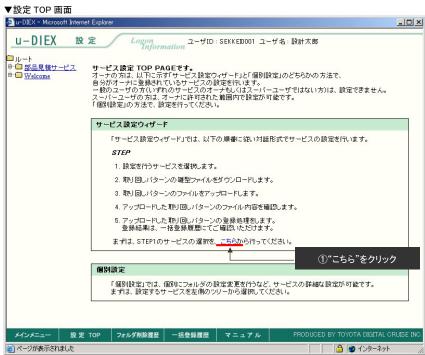
② フォルダー括登録

サービス設定ウィザードを順番に進めていくことで、サービス配下にフォルダを一括登録することができます。

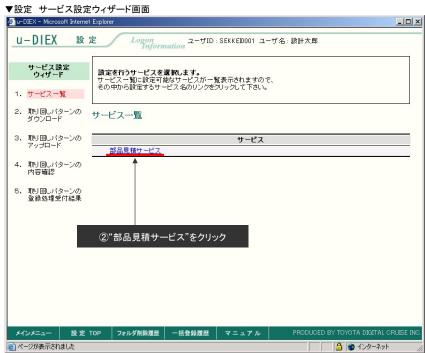
イメージ図のサービス設定ウィザードによるフォルダー括登録の作業順序を、Web-EDI画面を用いて説明しま す。

●サービス設定を行うサービスの選択

- ① サービス設定ウィザードを開始します

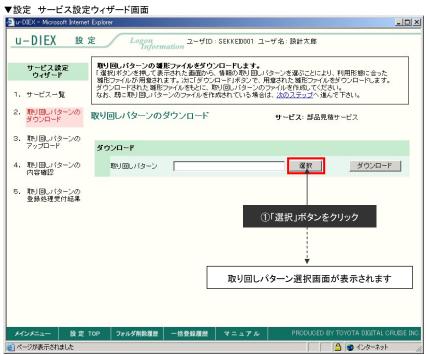


② サービス一覧より、設定を行うサービスを選択します

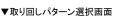


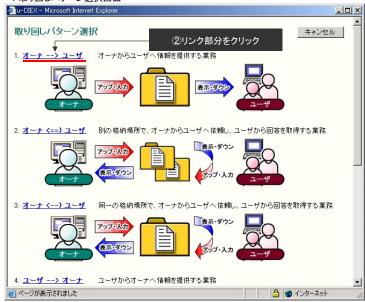
●取り回しパターンの選択

① 「選択」ボタンをクリックします



② フォルダの利用形態に近い取り回しパターンのリンク部分をクリックします





●定義体のダウンロード

① 取り回しパターンを決定後、定義体ファイルを「ダウンロード」をクリックします

▼設定 サービス設定ウィザード画面 u-DIEX - Microsoft Internet Explorer u-DIEX 設定 Logon ユーザID:SEKKEI0001 ユーザ名:設計太郎 **取り回しパターンの選形ファイルをダウンロードします。** 「選択Jボタンを押して表示された画面から、情報の取り回しパターンを選ぶことにより、利用形態に合った 選形アテイルが用意されます。次に「ダウンロード」味タンで、用意された選形アテイルを参りンロードします。 ダウンロードされた選形アテイルをもどに、取り回しパターンのファイルを作成してください。 なお、既に取り回しパターンのファイルを作成されている場合は、<u>次のステップ</u>へ進んで下さい。 サービス設定 ウィザード 1. サービス一覧 2. 取り回しバターンの ダウンロード 取り回しバターンのダウンロード サービス: 部品見積サービス 3. 取り回しバターンの アップロード ダウンロード 4. 取り回しバターンの 内容確認 選択 取り回しパターン オーナー-> ユーザ ダウンロード 5. 取り回しバターンの 登録処理受付結果 ①「ダウンロード」をクリック

② 「保存」ボタンをクリックします

▼ダウンロード画面

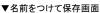


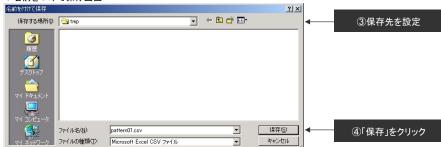
△ ✓ インターネット

③ クライアントの定義体ファイルの保存場所を設定します

設定 TOP フォルダ削除履歴 一括登録履歴 マニュアル

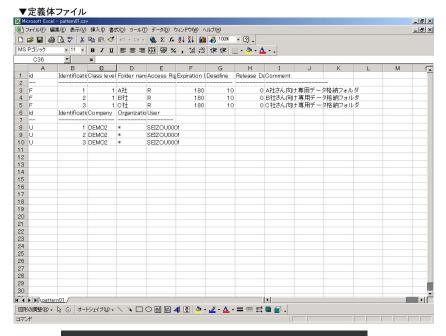
4) 「保存」ボタンをクリックします





●定義体ファイルの編集

① クライアントに保存した定義体ファイルを編集します

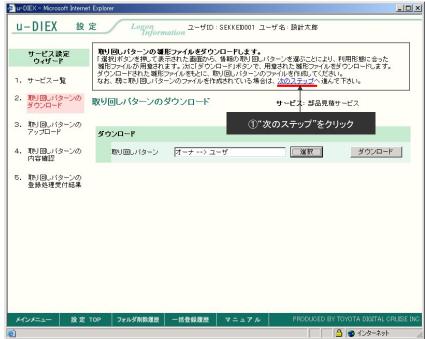


①フォルダー括登録定義体の編集はオンラインマニュアルをご覧下さい

●定義体ファイルのアップロード

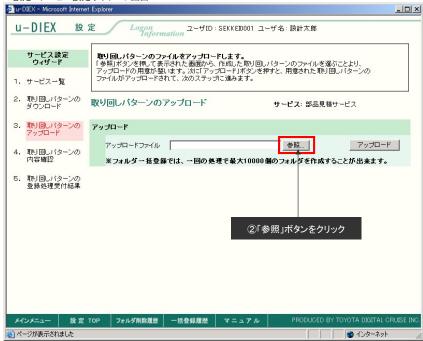
① 定義体ファイルを編集後、次のステップへ進みます





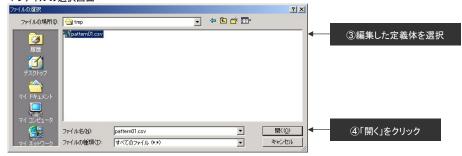
② 定義体ファイルのアップロードで「参照」ボタンをクリックします

▼設定 サービス設定ウィザード画面



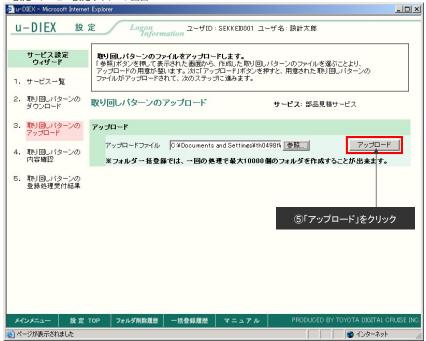
- ③ 編集した定義体ファイルを選択します
- ④ 「開く」ボタンをクリックします

▼ファイルの選択画面



⑤ アップロードする定義体ファイルを設定後、「アップロード」ボタンをクリックします

▼設定 サービス設定ウィザード画面



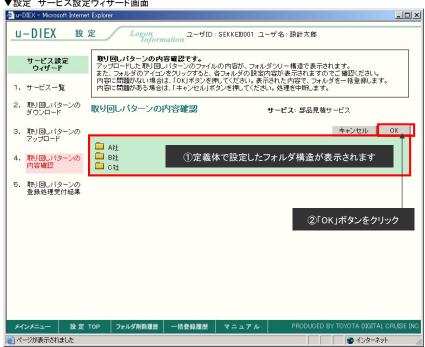
⑥「OK」ボタンをクリックします



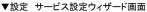
⑥「OK」をクリック

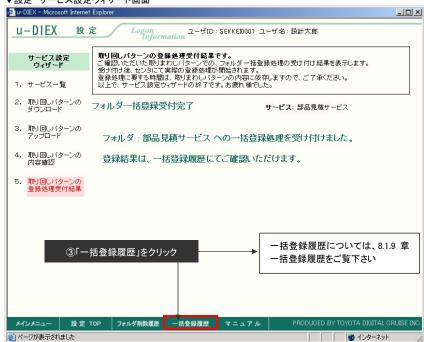
●定義体ファイルの登録確認

- ① 一括登録されるフォルダのイメージが表示されます
- ②「OK」ボタンをクリックします
- ▼設定 サービス設定ウィザード画面



③ 一括登録履歴で結果を確認するため、「一括登録履歴」ボタンをクリックします





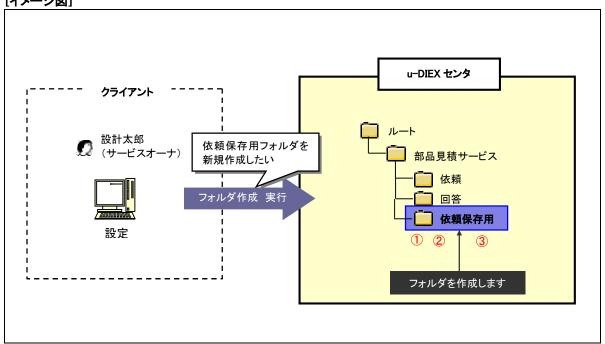
8.1.2. フォルダ作成

【機能説明】

[機能概説]

u-DIEX センタにフォルダを新規作成します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『サービスオーナである設計太郎さんが、u-DIEX センタの"/部品見積サービス"に依頼保存用という名前のフォルダを作成する』流れを表しています。

[主な機能]

① 期限

フォルダに有効期限、回答期限、公開基値を設定します。

② 送信先

フォルダに対する送信先を会社・組織・ユーザ・プロセスから設定します。フォルダに設定された送信先は、送信先を上位継承でフォルダ内にデータを作成した場合に設定されます。

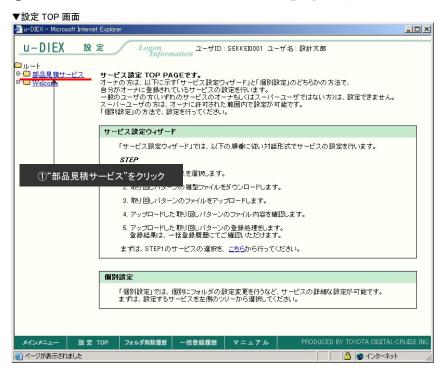
③ アクセス権

フォルダ内のデータに対して、送信先ユーザが操作をできる権限を設定します。

イメージ図のフォルダ作成の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●フォルダの作成

① サービスツリーからフォルダ作成するサービスを選択します



②「フォルダ作成」ボタンをクリックします

▼設定 情報一覧画面



- ③ フォルダの名称・有効期限・回答期限・公開基値・コメントの情報を入力します
- 4 ロールメンバを設定します
- ⑤ 作成するフォルダのユーザロールに対するアクセス権を設定します



⑤ 設定内容を確認し、「作成」ボタンをクリックします



- ⑥ 設定内容を確認します
- ⑦「OK」ボタンをクリックします

▼設定 フォルダ作成確認画面



⑧ フォルダ作成結果画面が表示されます

▼設定 フォルダ作成結果画面



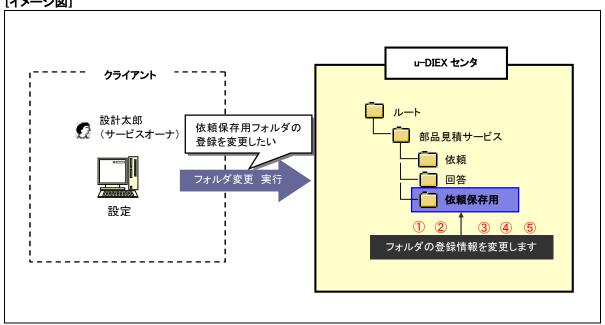
8.1.3. フォルダ変更

【機能説明】

[機能概説]

u-DIEX センタのフォルダの設定内容を変更します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『サービスオーナである設計太郎さんが、u-DIEX センタの"/部品見積サービス"配下の依 頼保存用という名前のフォルダの送信先とアクセス権を変更する』流れを表しています。

[主な機能]

① 名称変更

フォルダ名称を変更することができます。

② 期限変更

フォルダの有効期限、回答期限、公開基値の設定内容を変更します。

③ コメント変更

フォルダに設定されているコメントを変更します。

④ 送信先変更

フォルダに設定されている送信先を変更します。

⑤ アクセス権変更

フォルダに設定されている送信先ユーザのアクセス権を変更します。

⑥ スーパーユーザの設定

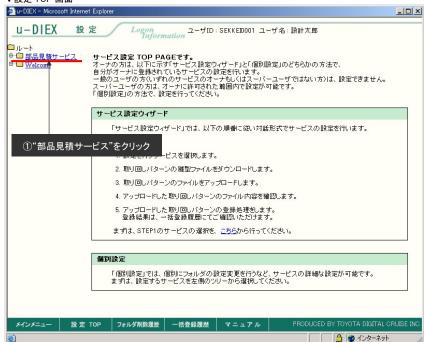
スーパーユーザの設定については、8.1.7 章 スーパーユーザの設定 をご覧ください。

イメージ図のフォルダ変更の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●フォルダの変更

① サービスツリーから変更するフォルダの格納されているサービスを選択します。

▼設定 TOP 画面

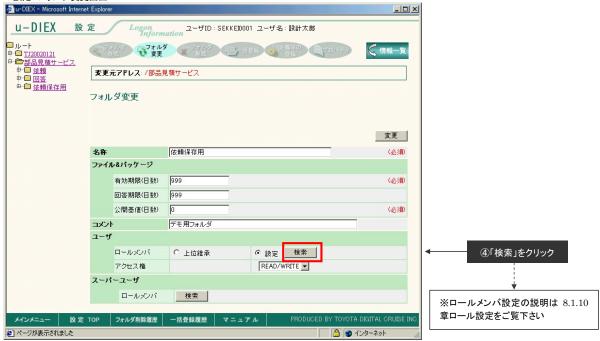


- ② 情報一覧の"依頼保存用"の「選択」をチェックします
- ③「フォルダ変更」ボタンをクリックします



④ ロールメンバの「検索」ボタンをクリックします

▼設定 フォルダ変更画面

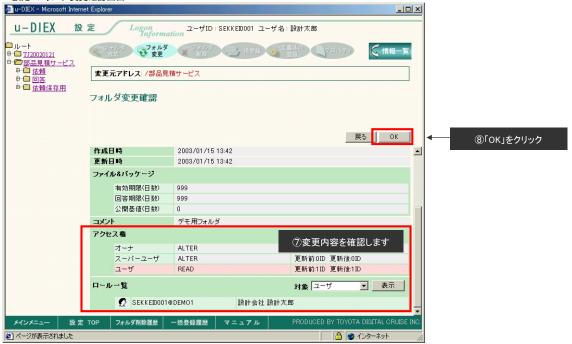


- ① アクセス権を変更します
- ② 「変更」ボタンをクリックします

▼設定 フォルダ変更画面



- ③ アクセス権、ロールメンバー覧の変更内容を確認します
- ④「OK」ボタンをクリックします
- ▼設定 フォルダ変更確認画面



⑤フォルダ変更結果画面が表示され、変更完了します

▼設定 フォルダ変更結果画面



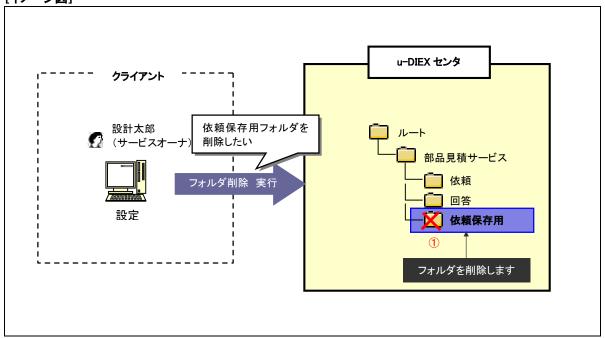
8.1.4. フォルダ削除

【機能説明】

[機能概説]

u-DIEX センタの不要となったフォルダを削除します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『サービスオーナである設計太郎さんが、u-DIEX センタの"/部品見積サービス"配下の依頼保存用という名前のフォルダを削除する』流れを表しています。

[主な機能]

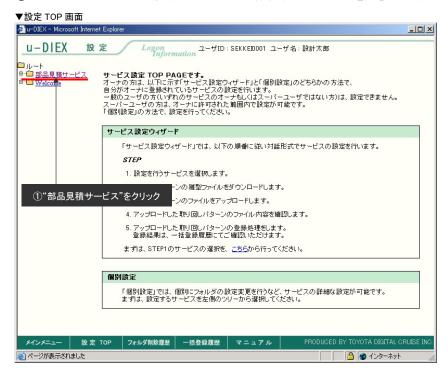
① フォルダ削除

削除するフォルダ内にデータが存在する場合、フォルダ削除と同時にフォルダ内のデータも同時に削除されます。

イメージ図のフォルダ削除の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●フォルダの変更

① サービスツリーから削除するフォルダの存在するサービスを選択します



- ② 削除するフォルダの「選択」をチェックします
- ③「フォルダ削除」ボタンをクリックします

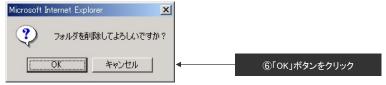


- ④ 削除するフォルダが表示されることを確認します
- ⑤「OK」ボタンをクリックします
- ▼設定 フォルダ削除確認画面



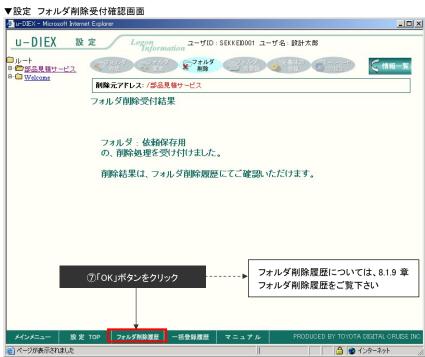
⑥「OK」ボタンをクリックします





⑦ フォルダ削除結果を確認するために「フォルダ削除履歴」をクリックします





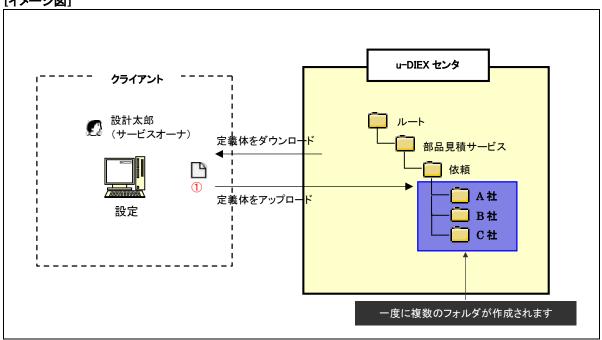
8.1.5. フォルダー括登録

【機能説明】

[機能概説]

フォルダー括登録用定義体を作成し、定義体を u-DIEX センタにアップロードすることで、フォルダを一度に 複数作成します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『サービスオーナである設計太郎さんが、u-DIEX上の"/部品見積サービス/依頼"配下にA 社、B社、C社いう名前のフォルダを一括作成する』流れを表しています。

[主な機能]

① 定義体への設定

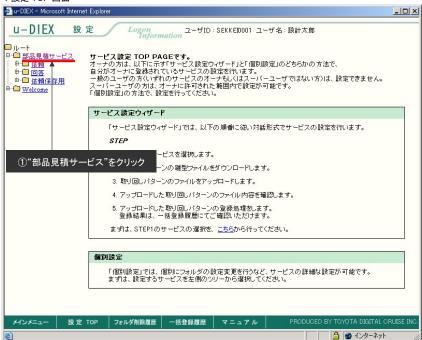
作成するフォルダの情報を定義体に設定します。定義体を u-DIEX センタにアップロードすることでフォルダを一括作成できます。

イメージ図のフォルダー括登録の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●フォルダー括登録を行うサービスの指定

① サービスツリーで、フォルダー括登録するサービスを選択します。

▼設定 TOP 画面



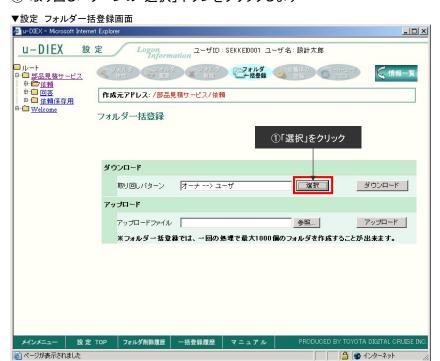
②「フォルダー括登録」ボタンをクリックします

▼設定 情報一覧画面

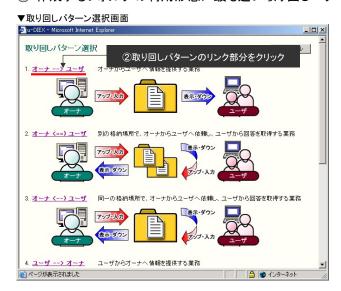


●取り回しパターンの選択

① 取り回しパターンの「選択」ボタンをクリックします



② 作成するフォルダの利用形態に最も近い取り回しパターンのリンク部分をクリックします



●定義体ファイルのダウンロード

① 取り回しパターンを選択後、「ダウンロード」ボタンをクリックします

▼設定 フォルダー括登録画面



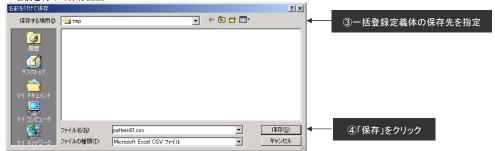
②「OK」ボタンをクリックします

▼ファイルのダウンロード画面



- ③ 一括登録定義体ファイルの保存先を指定します
- ④ 「保存」ボタンをクリックします

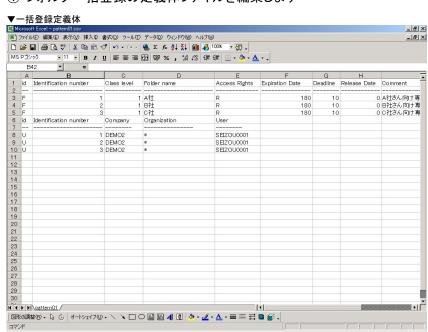
▼名前を付けて保存画面



●定義体ファイルの編集

① フォルダー括登録の定義体ファイルを編集します

▼一括登録定義体



フォルダー括登録定義体の作成は、オンラインマニュアルをご覧下さい

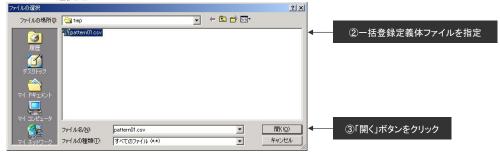
●定義体ファイルのアップロード

① 一括登録定義体ファイルのアップロードで「参照」ボタンをクリックします



- ② 編集した一括登録定義体ファイルを指定します
- ③ 「開く」ボタンをクリックします

▼ファイルの選択画面



4 「アップロード」ボタンをクリックします

▼設定 フォルダー括登録画面



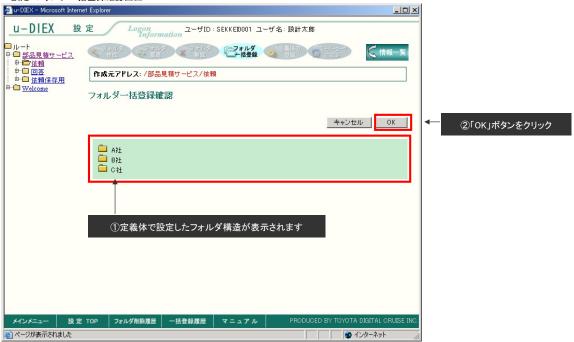
⑤ アップロード確認画面で「OK」ボタンをクリックします

▼アップロード確認画面

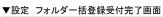


●定義体ファイルの登録確認

- ① フォルダー括登録確認に、作成されるフォルダのイメージ図が表示されます
- ②「OK」ボタンをクリックします
- ▼設定 フォルダー括登録確認画面



③ 一括登録履歴で登録結果を確認するため「一括登録履歴」ボタンをクリックします





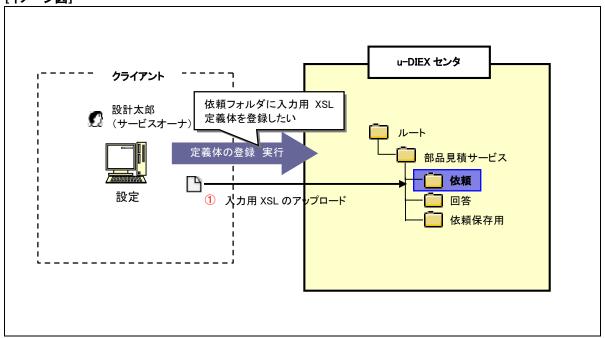
8.1.6. 定義体の登録

【機能説明】

[機能概説]

u-DIEX センタに表示用、入力用 XSL、入力用 DTD、コード変換用の定義体を登録します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『サービスオーナである設計太郎さんが、u-DIEX 上の"/部品見積サービス"に入力用 XSL ファイルを登録する』流れを表しています。

[主な機能]

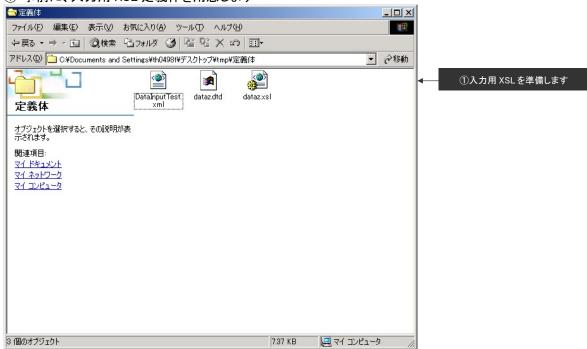
① 登録できる定義体の種類

登録できる定義体として、表示用定義体、入力用 XSL 定義体、入力用 DTD 定義体、コード変換用定義体があります。

イメージ図の定義体登録の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

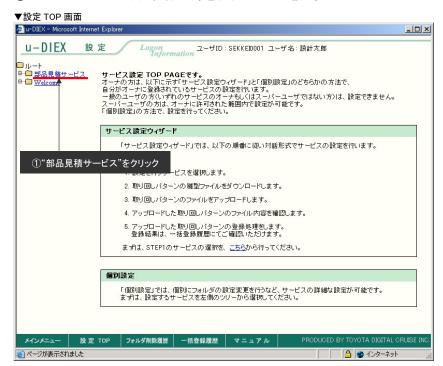
●定義体の事前準備

① 事前に、入力用 XSL 定義体を用意します



●定義体を登録するフォルダの指定

① サービスツリーで、定義体登録を行うサービスを選択します



② 「定義体の登録」ボタンをクリックします

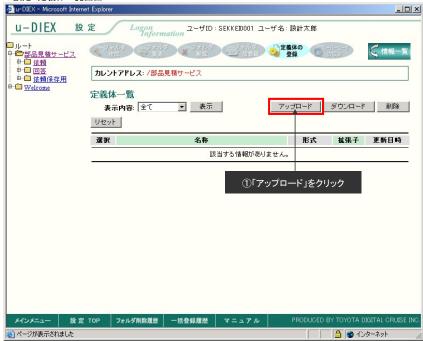
▼設定 情報一覧画面



●定義体のアップロード

① 定義体一覧の「アップロード」ボタンをクリックします

▼設定 定義体一覧画面

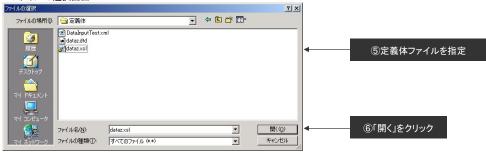


- ② アップロードする定義体形式を選択します
- ③ 定義体の拡張子を入力します
- ④ 「参照」ボタンをクリックします
- ▼定義体アップロード画面



- ⑤ アップロードする定義体ファイルを指定します
- ⑥ 「開く」ボタンをクリックします

▼ファイルの選択画面



⑦「アップロード」ボタンをクリックします





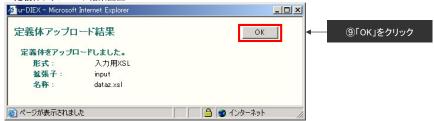
⑧「OK」ボタンをクリックします





⑨「OK」ボタンをクリックします

▼定義体アップロード結果画面



●定義体の登録確認

① 定義体一覧にアップロードした定義体ファイルが表示されます

▼設定 定義体一覧画面



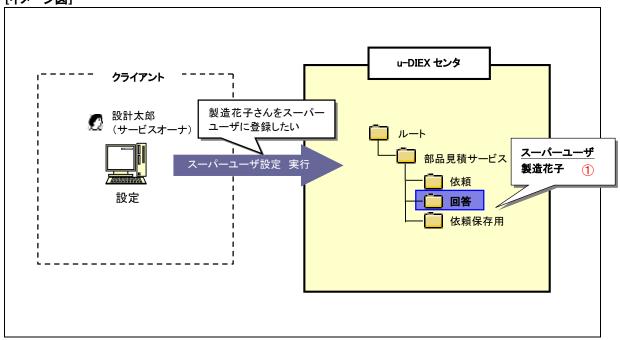
8.1.7. スーパーユーザの設定

【機能説明】

[機能概説]

サービスオーナが、フォルダに対してスーパーユーザを設定します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『サービスオーナである設計太郎さんが、u-DIEX 上の"/部品見積サービス/回答"に対して、 製造花子さんをスーパーユーザに設定する』流れを表しています。

[主な機能]

① スーパーユーザの設定

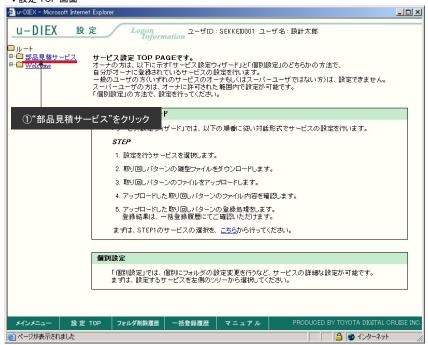
ログオンユーザは、フォルダのユーザロールに設定されているユーザをスーパーユーザに設定することができます。

イメージ図のスーパーユーザ設定の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●スーパーユーザを設定するフォルダの指定

サービスツリーで、スーパーユーザを設定するフォルダが存在するサービスを選択します。

▼設定 TOP 画面



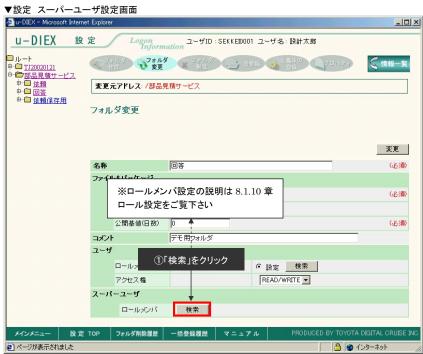
- ② スーパーユーザを設定するフォルダの「選択」をチェックします
- ③「フォルダ変更」ボタンをクリックします。

▼設定 情報一覧画面



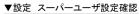
●スーパーユーザの設定

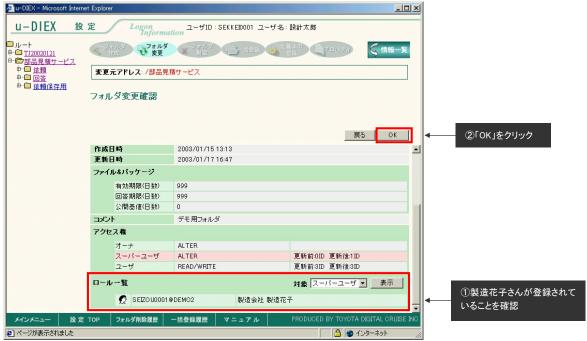
① ロールメンバで「検索」ボタンをクリックします



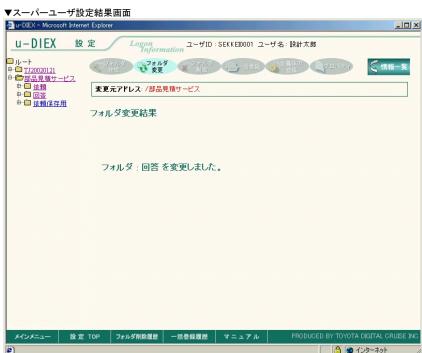
●スーパーユーザの設定確認

- ① スーパーユーザのロールー覧に設定したユーザが追加されていることを確認します
- ②「OK」ボタンをクリックします





③ スーパーユーザ設定結果画面が表示されます



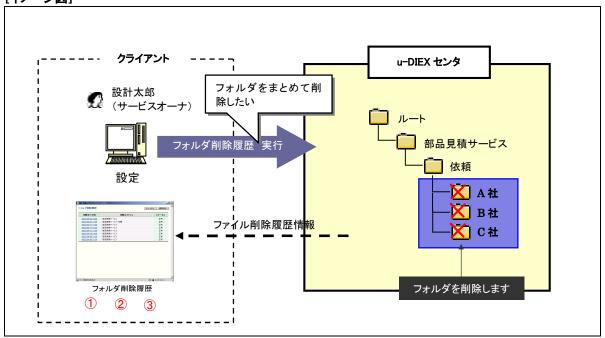
8.1.8. フォルダ削除履歴

【機能説明】

[機能概説]

ログオンユーザがフォルダを削除した履歴が表示されます。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『サービスオーナである設計太郎さんが、"部品見積サービス"配下のフォルダを削除した 履歴を確認する』流れを表しています。

[主な機能]

① フォルダ削除履歴の表示 ログオンユーザがフォルダを削除した履歴が表示されます。

② 履歴の表示対象期間

フォルダを削除後、30日間の履歴を確認することができます。

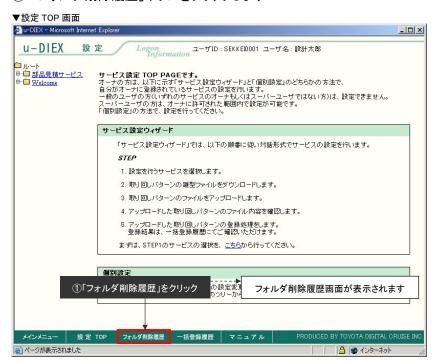
③ 履歴の表示件数

フォルダ削除履歴は最大10件まで表示されます。

イメージ図のフォルダ削除履歴の確認作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●フォルダ削除履歴の表示

①「フォルダ削除履歴」ボタンをクリックします



- ② フォルダ削除履歴画面にフォルダ削除履歴一覧が表示されます
- ③ 削除完了日時のリンクの部分をクリックします



▼フォルダ削除履歴画面

u-DIEX - Microsoft Internet Explore



△ ◇ インターネット

_ | X

キャンセル 最新表示

ステータス

④ フォルダ削除履歴の詳細が表示されます



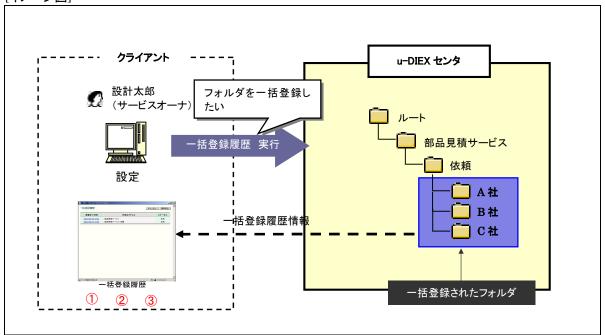
8.1.9. 一括登録履歴

【機能説明】

[機能概説]

一括登録履歴が一覧で表示されます。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『サービスオーナである設計太郎さんが、"部品見積サービス"のフォルダー括登録履歴を 確認する』流れを表しています。

[主な機能]

① 一括登録履歴の表示

ログオンユーザがフォルダまたはロールを一括登録した履歴が表示されます。

② 履歴の表示対象期間

一括登録後、30日間の履歴を確認することができます。

③ 履歴の表示件数

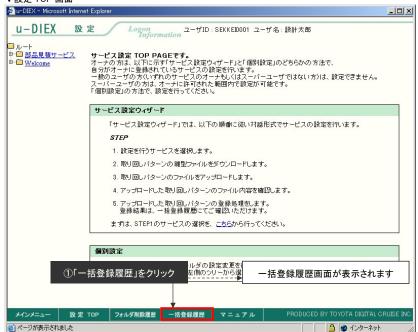
一括登録履歴は最大5件まで表示されます。

イメージ図の一括登録履歴の確認作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●一括登録履歴の表示

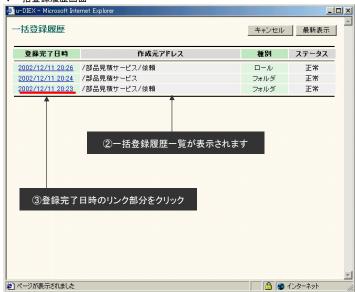
①「一括登録履歴」ボタンをクリックします

▼設定 TOP 画面



- ② 一括登録履歴画面に一括登録履歴一覧が表示されます
- ③ 登録完了日時のリンク部分をクリックします

▼一括登録履歴画面



④ 一括登録履歴の詳細が表示されます

▼一括登録履歴詳細画面(種別で「フォルダ」をクリックした場合)



▼一括登録履歴詳細画面(種別で「ロール」をクリックした場合)



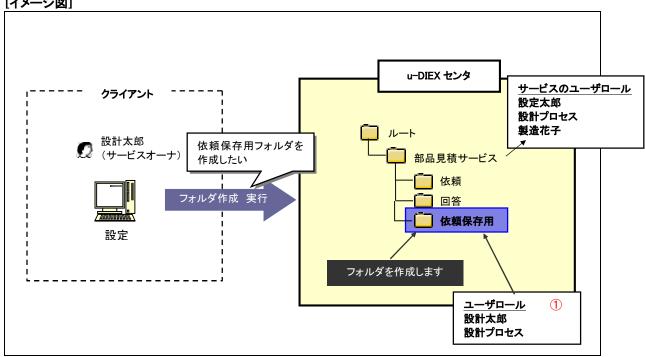
8.1.10. ロール設定

【機能説明】

[機能概説]

フォルダに対して、ユーザ/スーパーユーザのロールメンバをディレクトリより設定します。

[イメージ図]



※ イメージ図は、『サービスオーナである設計太郎さんが、u-DIEX 上の"/部品見積サービス"に依頼保存用 という名前のフォルダを作成し、フォルダに対してユーザロールを設定する』流れを表しています。

[主な機能]

① ロールの設定

ユーザロールまたはスーパーユーザロールには、会社/組織/ユーザ/プロセスを設定することができます。 ユーザロールを設定するフォルダに対して、上位のサービスまたはフォルダにオーナ/ユーザのロールメンバに 登録されている会社/組織/ユーザ/プロセスを設定することができます。

イメージ図の一括登録履歴の確認作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

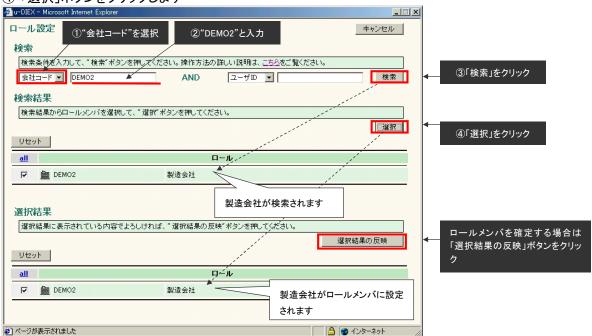
ロール設定の画面構成



- ロールメンバーに設定する会社/ 組織/ユーザ/プロセスを検索
- 上のフレームで入力した検索結果 を表示
- ロールメンバに設定されている会社/ 組織/ユーザ/プロセスを表示 ※サービスまたは上位フォルダに設定されて いるメンバは最初から設定されています

●会社をロールメンバに設定する場合

- ① "会社コード"を選択します
- ② 検索する会社コードを設定します
- ③「検索」ボタンをクリックします
- ④ 「選択」ボタンをクリックします

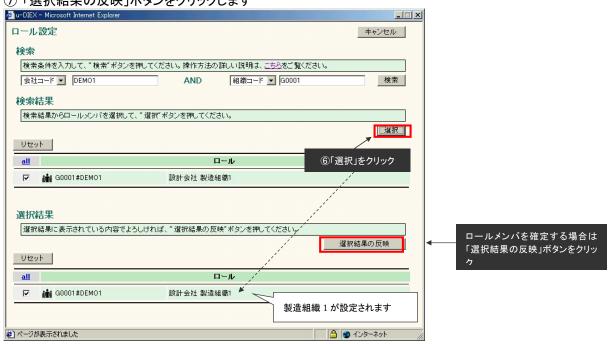


●組織をロールメンバに設定する場合

- ① "会社コード"を選択します
- ② 検索する会社コードを設定します
- ③ "組織コード"を選択します
- 4 検索する組織コードを設定します
- ⑤ 「検索」ボタンをクリックします



- ⑥「選択」ボタンをクリックします
- ⑦ 「選択結果の反映」ボタンをクリックします

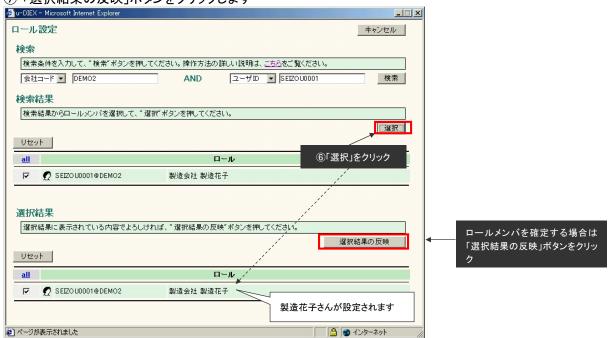


●ユーザをロールメンバに設定する場合

- ① "会社コード"を選択します
- ② 検索する会社コードを設定します
- ③ "ユーザ ID"を選択します
- ④ 検索するユーザ ID を設定します
- ⑤ 「検索」ボタンをクリックします

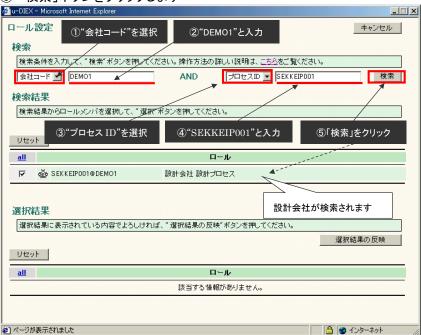


- ⑥「選択」ボタンをクリックします
- ⑦ 「選択結果の反映」ボタンをクリックします

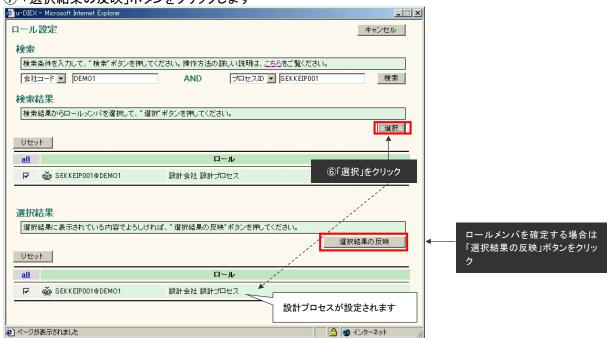


●プロセスをロールメンバに設定する場合

- ① "会社コード"を選択します
- ② 検索する会社コードを設定します
- ③ "プロセス ID"を選択します
- ④ 検索するプロセス ID を設定します
- ⑤ 「検索」ボタンをクリックします



- ⑥「選択」ボタンをクリックします
- ⑦ 「選択結果の反映」ボタンをクリックします

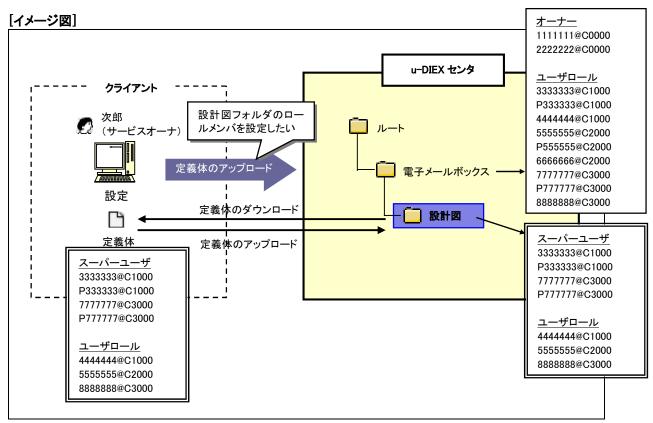


8.1.11. ロールー括登録

【機能説明】

[機能概説]

ユーザ/スーパーユーザのロールメンバを定義体に設定し、アップロードすることで、フォルダのロールメンバを 一括設定します。



※ イメージ図は、『サービスオーナである次郎さんが、u-DIEX 上の"/電子メールボックス/設計図"に設定するロールメンバの定義体を作成し、アップロードすることでロールメンバを設定する』流れを表しています。

[主な機能]

① 定義体のダウンロード

一括ロール設定するフォルダから、現在設定されているロールメンバの定義体をダウンロードできます。

② 定義体の編集

定義体の内容を変更して、フォルダのロールメンバを変更することができます。

③ 定義体のアップロード

定義体をアップロードすることで、フォルダに対して定義体に設定されているロールメンバに変更することができます。

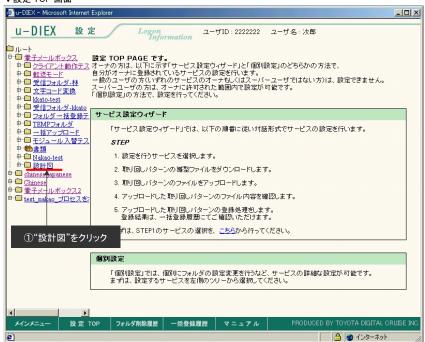
【画面を用いた操作説明】

イメージ図の一括登録(ロール)の作業順序を、Web-EDI 画面を用いて説明します。

●ロールー括登録を行うフォルダの指定

① サービスツリーで、ロールー括登録するフォルダを選択します。

▼設定 TOP 画面



②「一括登録」ボタンをクリックします

▼設定 情報一覧画面



③「ロール」ボタンをクリックします



●定義体のダウンロード

① ダウンロードするロールの種類を選択後、「ダウンロード」ボタンをクリックします

▼設定 ロールー括登録画面



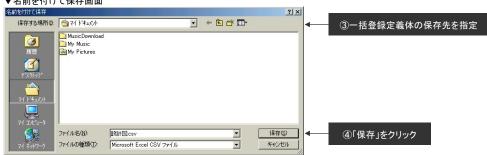
②「OK」ボタンをクリックします

▼ファイルのダウンロード画面



- ③ 一括登録定義体ファイルの保存先を指定します
- ④ 「保存」ボタンをクリックします

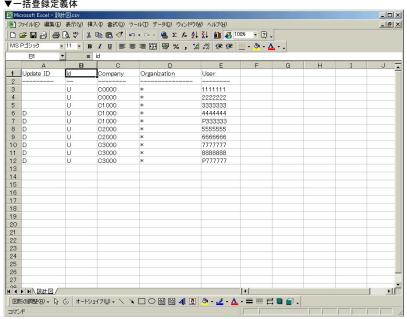
▼名前を付けて保存画面



●定義体の編集

① ロールー括登録の定義体ファイルを編集します

▼一括登録定義体



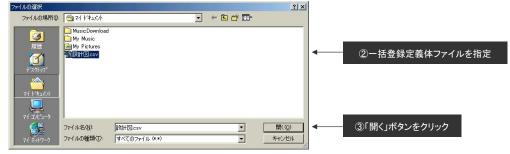
ロールー括登録定義体の作成は、オンラインマニュアルをご覧下さい

- ●定義体のアップロード
- ① 一括登録定義体ファイルのアップロードで「参照」ボタンをクリックします

▼設定 ロールー括登録画面 u-DIEX - Microsoft Internet Explorer _ | × U-DIEX 設定 ルート 中 電子メールボックス 中 つうイアント動作庁ス 中 設定子上ド 中 受信フルグー技 中 受信フルグー技 中 受信フルグー技 中 フォルダー技 中 フォルダー技 中 一 大アコード 中 電影型 中 一 モジュール入替テス 中 1 TEMPフォルダ 中 一 モジュール入替テス 中 1 TEMPフォルダ ー 1 大アコード 中 1 大アコート ー 1 大アコ Logon ユーザID:2222222 ユーザ名:次郎 クラオルダーフォルダー 一大登録 (東京林の) スート 支援 支援 の扱 作成元アドレス: /電子メールボックス/設計図 ロールー括登録 -ダウンロード ロールの種類 全て 申□ chineses inpaneses 申□ Chinese 申□ chineses 申□ thinese inpaneses p□ □ 世子/ルボック22 申□ test_nakao プロセスを アップロードファイル C:¥My Documents¥設計図csv 参照 アップロード ①「参照」ボタンをクリックします

- ② 編集した一括登録定義体ファイルを指定します
- ③ 「開く」ボタンをクリックします

▼ファイルの選択画面



4 「アップロード」ボタンをクリックします

▼設定 ロールー括登録画面



⑤ アップロード確認画面で「OK」ボタンをクリックします

▼アップロード確認画面



●定義体ファイルの登録確認

① 一括登録履歴で登録結果を確認するため「一括登録履歴」ボタンをクリックします



9. u-DIEX 補足説明

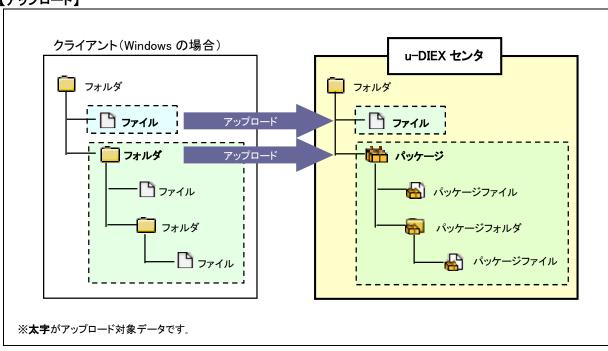
9章では、u-DIEXで各機能を利用するときに必要となる設定内容などの補足説明をします。

9.1. データの名称について

u-DIEX では、ユーザが取り扱うデータとして、ファイル/パッケージ/パッケージファイル/パッケージフォルダがあります。クライアントと u-DIEX センタのやりとりによるデータ名称について説明します。

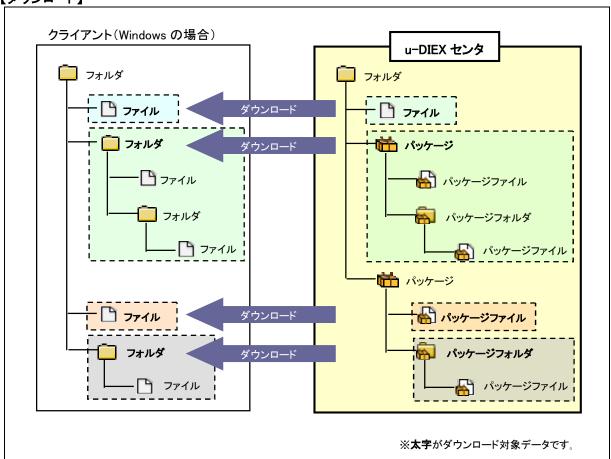
クライアントと u-DIEX でのデータ名称の違い

【アップロード】



クライアント上のデータ名称 (アップロード元)		u-DIEX センタのデータ名称 (アップロード先)
ファイル	→	ファイル
フォルダ	→	パッケージ
(アップロード対象フォルダ配下の全ファイル)	→	パッケージファイル
(アップロード対象フォルダ配下の全フォルダ)	→	パッケージフォルダ

【ダウンロード】



クライアント上のデータ名称	
(ダウンロード先)	
ファイル	←
フォルダ	←
ファイル	←
フォルダ	←

u-DIEX センタのデータ名称		
(ダウンロード元)		
ファイル		
パッケージ		
パッケージファイル		
パッケージフォルダ		

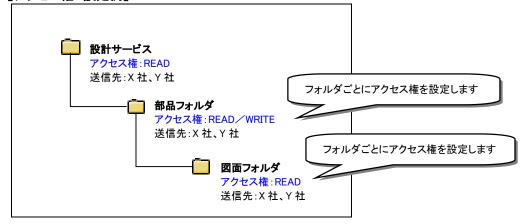
9.2. アクセス権について

アクセス権は、サービスとフォルダを作成するときに設定します。アクセス権を設定することにより、送信先のユーザがサービスまたはフォルダに対して、どのような操作ができるかを明確にします。

【アクセス権一覧表】

アクセス権	説明	備考
ALTER	フォルダ内のデータに対して、すべての機能が利用可能	オーナとスーパーユーザに与えられる
		権限
READ/WRITE	[利用可能な機能]	ユーザに与えられる権限
	・アップロード	
	・ダウンロード	
	•開く(表示)	
	・開く(入力)	
	・コピー(参照)	
	→コピー先フォルダでのアクセス権が ALTER または	
	READ/WRITE である場合	
	・コピー(作成)	
	- 削除	
	→操作ユーザ/プロセスがアップロードしたデータのみ	
READ	[利用可能な機能]	ユーザに与えられる権限
	・ダウンロード	
	・開く(表示)	
	·コピー(参照)	
	→コピー先フォルダでのアクセス権が ALTER または	
	READ/WRITE である場合	
NONE	サービスまたはフォルダの存在を見ることができなくなり、	ユーザに与えられる権限
	利用不可能になります。	

【アクセス権 設定例】



9.3. ロールについて

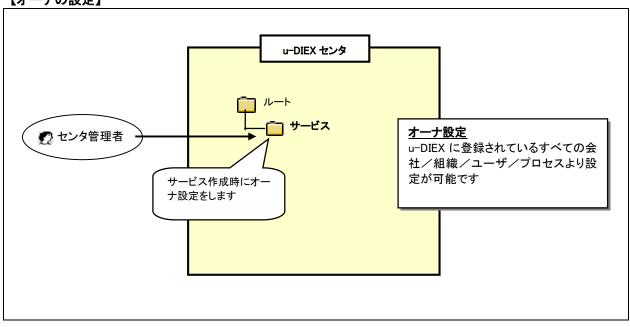
ロールには、オーナ/スーパーユーザ/ユーザがあります。ロールはサービスとフォルダに設定します。サービスまたはフォルダのロール一覧に設定されている会社/組織/ユーザ/プロセスは、そのサービスまたはフォルダ配下のデータを利用することができます。

以下にロールについて表でまとめます。

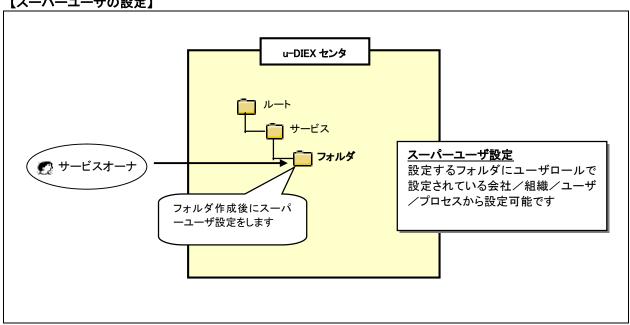
【ロールの設定】

ロール名	アクセス権	設定時期	設定者	設定条件
オーナ	ALTER	サービス作成時	センタ管理者	すべての会社/組織/ユーザ/
				プロセスが設定可
				※但し、同一会社内に限る
スーパーユーザ	ALTER	フォルダ作成後、	サービスオーナ	設定するフォルダのユーザロール
		フォルダに対して		に設定されている会社/組織/
		任意に設定		ユーザ/プロセス
ユーザ	-READ/WRITE	サービスの場合	センタ管理者	すべての会社/組織/ユーザ/
	•READ	→サー ビス作成時		プロセスが設定可
	•NONE			
	のいずれか	フォルダの場合	フォルダ作成者(サ	サービスまたは上位フォルダのユ
	0,000	→フォルダ作成時	ービスオーナまた	ーザロールに設定されている会社
			はスーパーユー	/組織/ユーザ/プロセス
			ザ)	

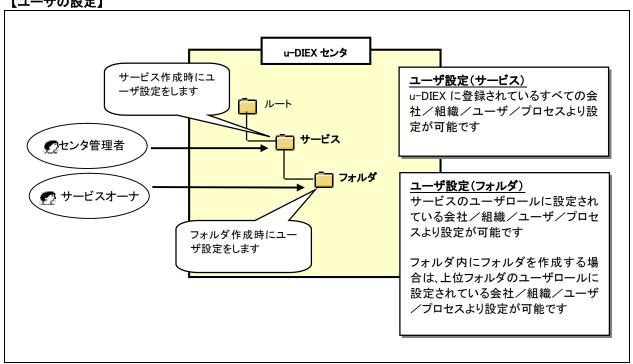
【オーナの設定】



【スーパーユーザの設定】



【ユーザの設定】



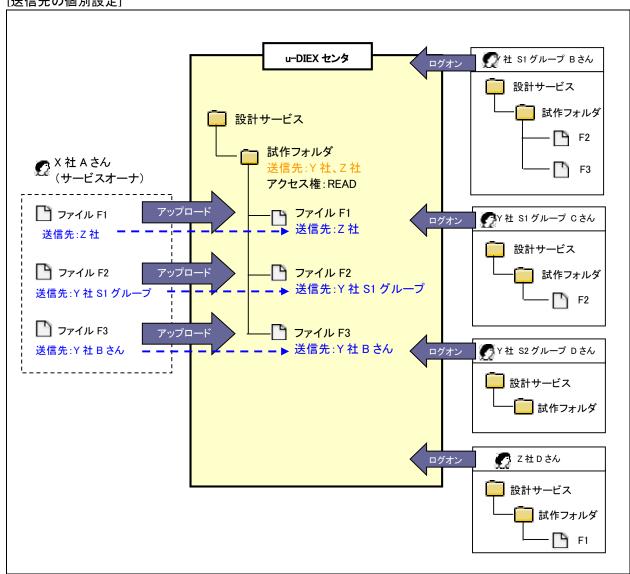
9.4. 送信先について

u-DIEX センタの全てのデータに送信先が設定されます。送信先を設定する方法として、個別設定と上位継承があります。送信先はフォルダのユーザロールに設定されているユーザ/プロセス/組織/会社から選択します。送信先に会社を設定した場合、その会社に属するすべてのユーザとプロセスに送信されます。送信先に組織を設定した場合、その組織に属するすべてのユーザとプロセスに送信されます。

【個別設定】

個別設定では、上位フォルダの送信先に設定されているユーザ/プロセス/組織/会社から送信先を選択します。

[送信先の個別設定]

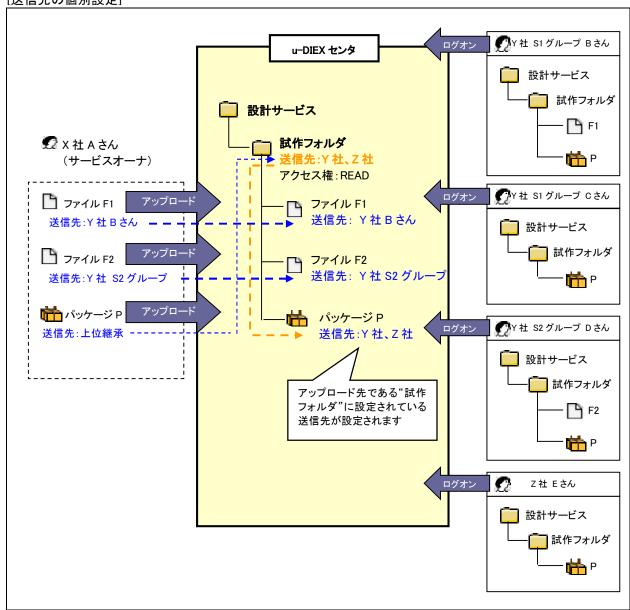


- ・ ファイル F1 をアップロード(送信先: Z 社) → Z 社に属するユーザとプロセスが参照することができます
- ・ ファイル F2 をアップロード(送信先: Y 社 S1 グループ) → Y 社の S1 グループに属するユーザとプロセスが参照することができます
- ・ ファイル F2 をアップロード(送信先:Y 社 B さん) → Y 社の B さんが参照することができます

【上位継承】

上位継承では、データを格納するフォルダに設定されている送信先を継承します。

[送信先の個別設定]



- ・ ファイル F1 をアップロード(送信先:Y 社 B さん) → Y 社 B さんのみ参照することができます
- ・ ファイル F2 をアップロード(送信先: Y 社 S2 グループ) → X 社 S2 グループに属するすべてのユーザとプロセスが参照することができます
- ・ パッケージ P をアップロード(送信先:上位継承) → Y 社と Z 社のすべてのユーザとプロセスが参照できます

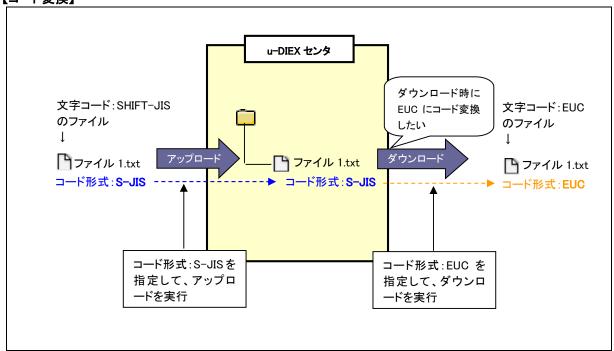
9.5. コード形式について

データをアップロードする際に、データのコード形式を指定します。データをダウンロードする際に、異なるコード 形式を指定すると、データのコード変換を行うことができます。

u-DIEX で扱うコード形式

- ·S-JIS
- •EUC
- •JIS
- -ASCII
- •EBCDIC
- EBCDIK
- ※上記以外のコード形式はバイナリとして扱います。バイナリの場合は、コード変換をすることができません。

【コード変換】



9.6. 有効期限・回答期限・公開日時について

u-DIEX センタに存在するすべてのデータとフォルダに、有効期限・回答期限・公開期日(基値)が設定されます。 フォルダは作成時に設定します。データはアップロードまたはコピー時に設定します。設定をしない場合は、アップロード先またはコピー先フォルダの設定内容からデータに設定されます。

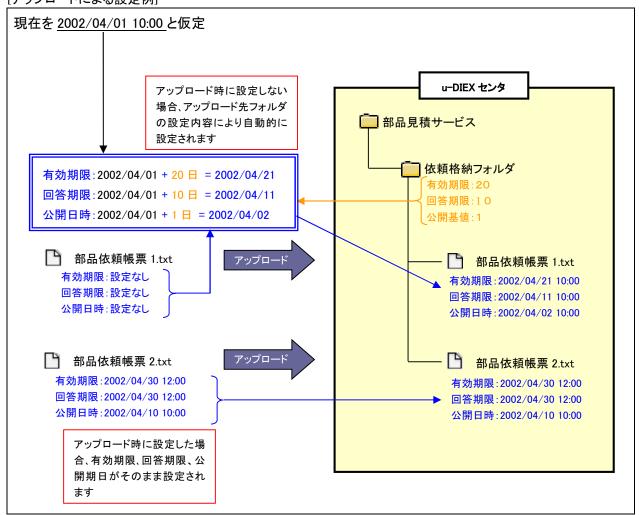
【フォルダに対する設定】

・有効期限(日数) … フォルダ内のデータの有効期限基値を設定します。
 ・回答期限(日数) … フォルダ内のデータの回答期限基値を設定します。
 ・公開基値(日数) … フォルダ内のデータの公開基値を設定します。

【データに対する設定】

・有効期限(YYYY/MM/DD 24hh:mm) … データの有効期限を設定します。
・回答期限(YYYY/MM/DD 24hh:mm) … データの回答期限を設定します。
・公開日時(YYYY/MM/DD 24hh:mm) … データの公開日時を設定します。

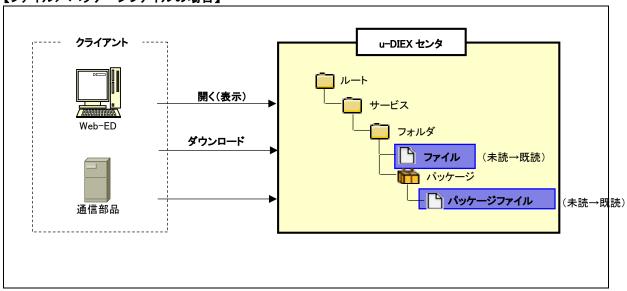
[アップロードによる設定例]



9.7. 未読/既読について

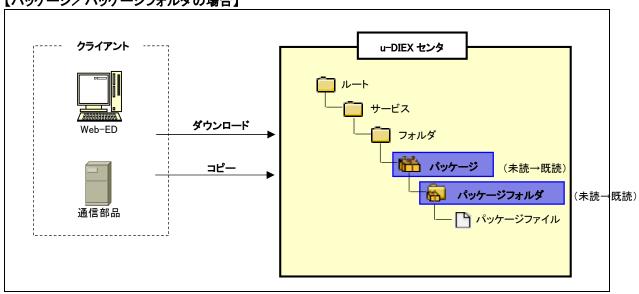
u-DIEX センタのデータとフォルダのプロパティ情報として未読/既読があります。データ、フォルダの未読/既読の判定について説明します。

【ファイル/パッケージファイルの場合】



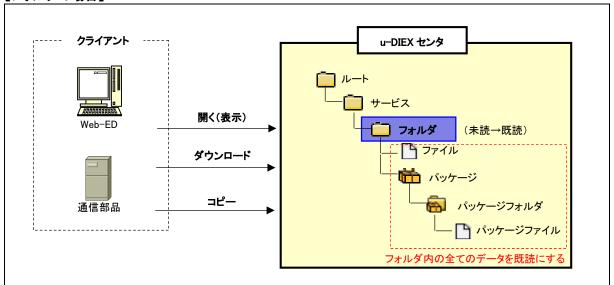
ファイル/パッケージファイルは、u-DIEX上に作成された状態では、未読となります。未読のファイル/パッケージファイルは、開く(表示)/ダウンロード/コピーのいずれかの操作を行うと既読になります。

【パッケージ/パッケージフォルダの場合】



パッケージ/パッケージフォルダは、u-DIEX 上に作成された状態では、未読となります。未読のパッケージ/パッケージフォルダは、ダウンロード/コピーのいずれかの操作を行うと既読になります。

【フォルダの場合】

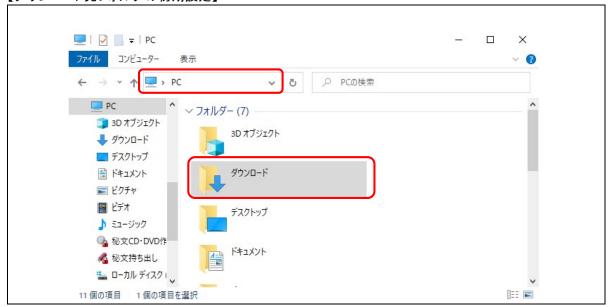


フォルダは、u-DIEX 上に作成された状態では、既読となります。未読のフォルダは、フォルダ内のデータが全て既読の場合に既読となります。

9.8. ダウンロード先フォルダについて

ダウンロードしたデータは、Edge のダウンロード先フォルダに保存されます。

【ダウンロード先フォルダの初期設定】

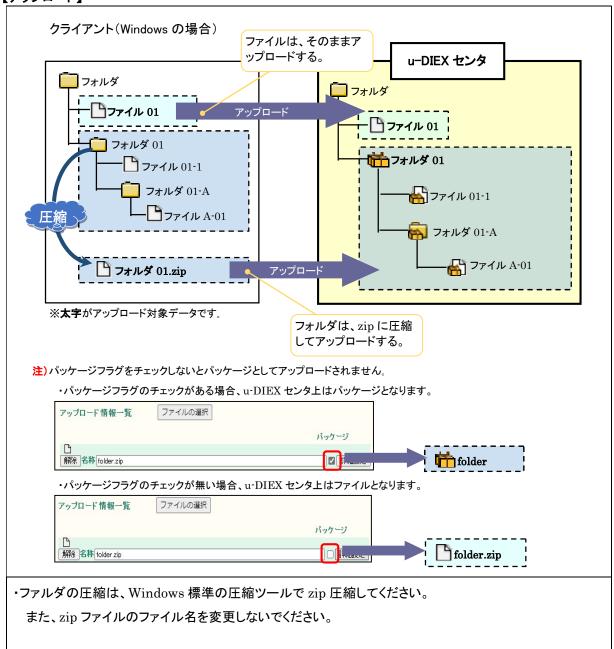


9.9. パッケージの転送について

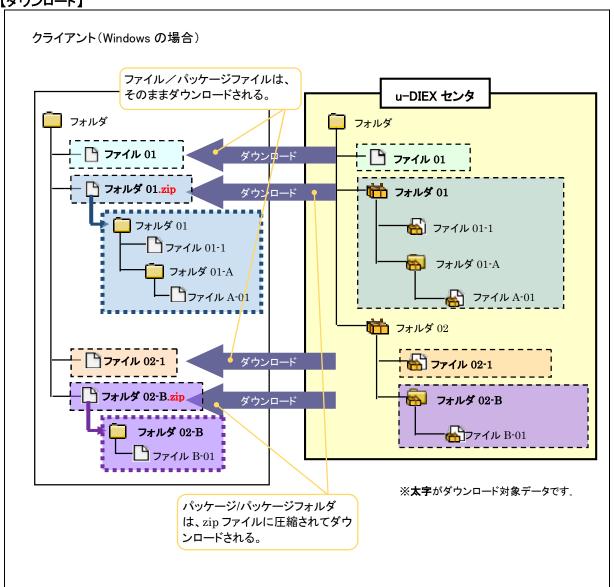
パッケージ(クライアント PC のフォルダ)を u-DIEX センタへアップロードする場合、アップロードするフォルダを zip に圧縮したファイルをアップロードして下さい。

また、パッケージ及びパッケージフォルダを u-DIEX センタからダウンロードした場合、ダウンロードしたパッケージは zip ファイルとしてダウンロードされます。

【アップロード】



【ダウンロード】



10. 用語集

10章では、u-DIEXで使用されている用語の説明をします。

説明の形式として、

●用語 [カテゴリ サブカテゴリ]

用語説明

となります。

■■■ A~Z ■■■

●ALTER [u-DIEX 特有 アクセス権]

資源にアクセスする権限のことで、ALTER=「全権」のことです。ALTER権がある場合、ファイルの参照、書込み、削除ができます。

●ASCII [コンピュータ用語 ファイル形式]

ANSI(米国企画協会)が制定した英数字、記号、改行コードで構成される文字コード体系のことです。7ビットで表現され、128 種類のローマ字、数字、記号、制御コードで構成されています。

●CSV [コンピュータ用語 ファイル形式]

データをカンマ(",")および TAB で区切って並べたファイル形式のことです。主に表計算ソフトやデータベースソフトがデータを保存するときに使う形式で、汎用性が高いものです。

●EBCDIC [コンピュータ用語 ファイル形式]

IBM 社が策定した8ビットの文字コード体系のことです。EBCDICコードとしては英小文字EBCDICとカナEBCDICの2通りをサポートしています。

●EBCDIK [コンピュータ用語 ファイル形式]

IBM 社が策定した8ビットの文字コード体系(EBCDIC)に K(カナ)を追加した文字コード体系のことです。

●EUC [コンピュータ用語 ファイル形式]

EUC 文字コードです。UNIX でマルチバイトの文字を扱うための文字コード体系のことです。日本語だけでなく、中国語、韓国語にも対応しています。

●Java [コンピュータ用語 Java]

Oracle 社の開発したプログラミング言語のことです。

●JBK [コンピュータ用語 Java]

Java 言語開発環境のことです。u-DIEX でサポートしているヴァージョンについてはインストールガイドまたはセンタ管理者にお問い合わせ下さい。

●JDK [コンピュータ用語 Java]

Oracle 社が無償で提供している Java 言語開発環境のことです。u-DIEX でサポートしているヴァージョン

についてはインストールガイドまたはセンタ管理者にお問い合わせ下さい。

●JIS [コンピュータ用語 ファイル形式]

u-DIEX で取り扱う JIS コートは、ISO-2022-JP にエスケープシーケンスで半角カタカナを追加したJIS7です。

●JRE [コンピュータ用語 Java]

Java 言語で開発されたソフトウェアを実行するために必要なソフトウェアのセットのことです。

●Logon Information [u-DIEX 特有 ログオン]

ログオンされている利用者の情報(ユーザ ID とユーザ名)を画面上部に Logon Information として表示しています。

●MIME [コンピュータ用語 インターネット]

インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワーク上でやりとりされる電子メールで、各国語や画像、音声、動画などを扱うための規格のことです

●NONE [コンピュータ用語 アクセス権]

資源にアクセスする権限のことで、NONE=「アクセス権がない」ということです。

●READ [u-DIEX 特有 アクセス権]

資源にアクセスする権限のことで、READ=「参照権」のことです。READ 権がある場合、ファイルの参照のみできます。

●READ/WRITE [u-DIEX 特有 アクセス権]

資源にアクセスする権限のことで、READ/WRITE=「更新権」のことです。READ/WRITE 権がある場合、ファイルの参照、書き込みができます。

●S-JIS [コンピュータ用語 インターネット]

シフト付きJIS文字コードです。日本語用文字コードのひとつで、日本で使われているパソコンの標準の文字コードとして広く普及しています。

●SSL [コンピュータ用語 セキュリティ]

インターネット上で情報を暗号化して送受信するプロトコルのことです。

●URI [コンピュータ用語 インターネット]

インターネット上での情報資源の場所を指し示す記述方式のことです。インターネットにおける情報の「住所」にあたります。URI は包括的な概念であり、「URL」は URI の機能の一部を具体的に仕様化したものです。

●URL「コンピュータ用語 インターネット]

インターネット上での情報資源の場所を指し示す記述方式のことです。インターネットにおける情報の「住所」にあたります。

●USER 管理 [u-DIEX 特有 サービス]

一般の利用者にお使いいただく利用者情報(組織情報、ユーザ情報、プロセス情報)を管理する機能のことです。

●Web-EDI 「u-DIEX 特有 サービス]

一般の利用者にお使いいただく資源のアップロードやダウンロード、開く、コピー、及び削除を行う機能のことです。

●What's New [u-DIEX 特有 Web-EDI 機能]

What's New とは新着情報のことです。ファイルやパッケージをアップロード/コピー/開く(入力)して登録した場合に、その資源を利用可能な人(送信先)に対して What's New メッセージを出すことができます。送信先利用者が Web-EDI TOP 画面を表示すると、設定された What's New メッセージが表示されます。メッセージ部分をクリックすると、直接その資源があるフォルダに遷移し、さらに対象のファイルまたはパッケージのみ表示します。

■■■ あ行 ■■■

●アクセス権 [u-DIEX 特有 アクセス権]

u-DIEX 上の資源にアクセスする権限のことです。「アクセス権」には「ALTER,READ/WRITE,READ,NONE」があります。

●アップロード [u-DIEX 特有 Web-EDI 機能]

クライアントマシン内のファイル/フォルダを u-DIEX の指定フォルダにアップロードする操作のことです。フォルダを指定してアップロードを行なう場合、そこに含まれるファイルも含めて全てが登録されて、「パッケージ」という名前でまとめて操作できるようになります。フォルダにアップロードをするためには、フォルダに対して READ/WRITE 権、ALTER 権を有する必要があります。

●一括登録 [u-DIEX 特有 USER 管理機能]

会社管理者が利用するセンタツールのことです。ツールの機能として組織情報、ユーザ情報、プロセス情報を一括して登録、変更、削除を行うことができます。

●一括登録履歴 [u-DIEX 特有 設定]

一括登録を行った履歴で、登録完了日時、作成元アドレス、ステータスのことです。

●一般ユーザ [u-DIEX 特有 アクタ]

u-DIEX に存在する 2 種類のユーザ(会社管理者、一般利用者)のうち一般利用者のことです。

1.サービスの利用者のことです。

2.オーナの設定により、スーパーユーザになります。

●**オーナ** [u-DIEX 特有 アクタ]

1.サービスの所有者のことです。

2.サービスに登録されたファイルに対するすべての権限を有します。

3.所有者は、フォルダ構造を作成することができます。

4.スーパーユーザを設定し、権限を委譲することができます。

● **応答コード** [u-DIEX 特有 操作]

処理を行った時に出たエラーコードのことです。利用状況確認画面でエラーコードが表示されます。正常 処理の場合は、「---」が表示されます。

■■■ か行 ■■■

●**会社** [u-DIEX 特有 会社]

利用者の所属する会社のことです。

●会社管理者 [u-DIEX 特有 アクタ]

会社を管理しているユーザのことです。主な業務としてユーザ情報の登録/削除を行います。

●**会社コード** [u-DIEX 特有 会社]

利用者の所属する会社に付与された識別コードのことです。

●会社情報 [u-DIEX 特有 会社]

利用者の所属する会社の情報のことです。

●会社情報削除 [u-DIEX 特有 USER 管理機能]

会社情報の削除を行うことです。センタ管理者のみ削除が可能です。

●会社情報作成 [u-DIEX 特有 USER 管理機能]

会社情報および、会社管理者情報の作成を行うことです。センタ管理者のみ作成が可能です。

●会社情報変更 [u-DIEX 特有 USER 管理機能]

会社情報の変更を行うことです。センタ管理者のみ変更が可能です

●**会社名** [u-DIEX 特有 会社]

利用者の所属する会社の名称のことです。

●回答期限 [u-DIEX 特有 期日]

ファイルやパッケージをアップロード/コピー/開く(入力)を実行して、回答を行う時の期限のことです。回答期限を省略してアップロード/コピー/開く(入力)すると、その資源の置かれたフォルダに設定されている「回答期限基値」+現在の日時が、回答期限に設定されます。ただし本期限については資源受け渡し上のコメントとしての位置付けです。

※タイムゾーン:日本時刻です。

●拡張子 [u-DIEX 特有 定義体]

定義体と u-DIEX 上のファイルとの紐付け情報のことです。

●仮パスワード [u-DIEX 特有 プロセス]

通信部品配布時に仮に設定されるパスワードのことです。通信を開始する前に正式のパスワードに変更 する必要があります。

●カレントアドレス [u-DIEX 特有 アドレス]

現在、操作しているフォルダ位置のことです。

●既読 [u-DIEX 特有 情報一覧]

表示条件の指定が「開封済み」であることです。開封済みとは、「開く」「ダウンロード」「コピー」のいずれかが行われた場合です。

●共有アドレス帳 [u-DIEX 特有 送信先]

ファイルやパッケージをアップロード/コピー/開く(入力)するときに誰に開放するか設定する必要があります。この情報はディレクトリを使用して毎回設定しても良いのですが、何度も同じ送信先で設定する場合

には、送信先の組み合わせ情報を、サービス内で共通に利用可能な「共有アドレス帳」として登録しておくことができます。

●掲示板 [u-DIEX 特有 Web-EDI 機能]

センタ管理者が、全ての利用者にお知らせする情報のことです。Web-EDI TOP 画面上に表示されます。

●コード形式 [コンピュータ用語 コード形式]

u-DIEX のダウンロード時のオプション機能として、コード変換があります。サポートするコード形式としては

1.シフト JIS(S-JIS)

2.EUC(EUC)

3.JIS 7(JIS)

4.ASCII I(ASCII)

5.英小文字 EBCDIC+IBM 漢字(EBCDIC)

6.カナ EBCDIC+IBM 漢字(EBCDIK)

の 6 通りがあります。相互に変換可能なコード形式についてはダウンロード/コピーの説明を参照ください。

●コード変換用定義体 [u-DIEX 特有 定義体]

EBCDIC の半角データと全角データが混在した時にバイト位置情報を定義したファイルのことです。

●公開日時 [u-DIEX 特有 期日]

ファイルやパッケージをアップロード/コピー/開く(入力)するときにその資源を利用可能にする日時を設定します。

公開日時を省略してアップロード/コピー/開く(入力)すると、その資源の置かれたフォルダに設定されている「公開日時基値」+現在の日時が、公開日時に設定されます。※タイムゾーン:日本時刻です。

●個人アドレス帳 [u-DIEX 特有 送信先]

ファイルやパッケージをアップロード/コピー/開く(入力)するときに誰に開放するか設定する必要があります。この情報はディレクトリを使用して毎回設定しても良いのですが、何度も同じ送信先で設定する場合には、送信先の組み合わせ情報を、クライアントマシン内に送信先の組み合わせ情報を書いたテキストファイルを作成しておき、「個人アドレス帳」として使用することができます。

●コピー [u-DIEX 特有 Web-EDI 機能]

ファイル、パッケージ、パッケージファイル、パッケージフォルダを u-DIEX 内の別フォルダ(同じも可)にコピーする操作のことです。コピーを行なうためには、コピー先のフォルダに対して READ/WRITE 権、ALTER 権を有する必要があります。

■■■ さ行 ■■■

●**サービス** [u-DIEX 特有 サービス]

u-DIEX で設定するサービスとは、資源を蓄積/交換する「場」のことです。サービスの登録はサービスの申請をして頂き、センタ管理者が認めることにより開始することができます。

●サービス削除 [u-DIEX 特有 設定]

サービスの削除を行うことです。センタ管理者のみサービスの削除が可能です。

●サービス作成 [u-DIEX 特有 設定]

サービスの作成を行うことです。センタ管理者のみサービスの作成が可能です。

●サービス設定ウィザード [u-DIEX 特有 設定]

対話形式でサービスの設定(フォルダー括登録)を行うためのツールのことです。サービスの設定メニューからウィザードに添って進むことにより設定を行うことができます。対象サービスのオーナのみ利用可能な機能です。

●サービス変更 [u-DIEX 特有 設定]

サービスの変更を行うことです。センタ管理者のみサービスの変更が可能です。

●最終利用者 [u-DIEX 特有 利用履歴機能]

u-DIEX 上の対象資源に対して、最後に利用した利用者のことです。

●最終利用日時 [u-DIEX 特有 利用履歴機能]

u-DIEX 上の対象資源に対して、最後に利用した日時のことです。※タイムゾーン:日本時刻です。

●作業フォルダ(通信部品) [u-DIEX 特有 通信部品]

一時的に使用するワークスペースフォルダのことです。おおむね、転送する資源の約 3 倍の領域が必要です。

●削除 [u-DIEX 特有 Web-EDI 機能]

ファイルやパッケージを削除する操作のことです。削除を行なうためには、そのファイルやパッケージに対して ALTER 権限を有する必要があります。

●作成者 [u-DIEX 特有 アクタ]

ファイル、フォルダ、パッケージ、パッケージファイル、パッケージフォルダに対して、新規に名前を登録し、 送信先設定を行ったユーザのことです。

●上位継承 [u-DIEX 特有 送信先]

上位階層のフォルダからアクセス権やロール設定内容を継承することです。

●情報一覧 [u-DIEX 特有 情報一覧]

u-DIEX 上のファイルやパッケージ資源の一覧のことです。参照権限(ALTER 権、READ 権、READ/WRITE 権)が付与されている資源が対象となります。情報一覧する対象のファイルとして、「全て」「未読」「既読」の選択が可能です。

●証明書「コンピュータ用語 セキュリティ」

認証局が発行する、電子的な自分証明書のことです。暗号化時の公開鍵が真正であることを証明します。

●仕分管理者 [u-DIEX 特有 仕分機能]

仕分マスタの一括登録や取り出しを行う利用者のことです。

●仕分検索 [u-DIEX 特有 仕分機能]

特定の条件を満たすユーザを送信先へ設定するために使用する検索です。

●仕分マスタ [u-DIEX 特有 仕分機能]

仕分検索を行う際に、元となる情報のことです。

●仕分メンテナンス「u-DIEX 特有 仕分機能]

仕分マスタの一括登録や取り出しを行う機能のことです。

●仕分利用[条件選択] [u-DIEX 特有 仕分機能]

以前に保存した検索条件を選択して、仕分検索を行う機能のことです。頻繁に使用する検索条件を保存しておき、同じ条件で仕分検索を行う場合に利用します。

●仕分利用[条件入力] [u-DIEX 特有 仕分機能]

検索条件を入力して仕分検索を行う場合や、以前に保存した検索条件を使用して仕分検索を行う機能 のことです。

●スーパーユーザ [u-DIEX 特有 アクタ]

サービスの所有者により、全ての権限(ALTER 権)を付与された利用者のことです。権限委譲されたフォルダから配下のフォルダを作成することができます。

●全て [u-DIEX 特有 情報一覧]

表示条件の指定がないことです。既読と未読の両方の情報が表示されます。

●設定 [u-DIEX 特有 サービス]

一般の利用者にお使いいただくサービスを設定(構築)する機能のことです。

●センタ管理者 [u-DIEX 特有 アクタ]

u-DIEX を管理している管理者のことです。主な業務として会社情報の登録/削除や、サービスの登録/削除を行います。

●送信先設定 [u-DIEX 特有 送信先]

ファイルやパッケージをアップロード/コピー/開く(入力)するときに、その資源を利用可能な人を設定することです。送信先に設定された人と、操作対象のあるフォルダに ALTER 権限がある人、資源作成者自身だけが、その資源を参照することができます。送信先設定を省略した場合には、フォルダに設定された送信先設定と同一になります。

●操作者 [u-DIEX 特有 アクタ]

ファイルやパッケージに対して操作を行なったユーザのことです。

●操作内容 [u-DIEX 特有 操作]

ファイルやパッケージに対して行なった操作の内容のことです。

●操作日時 [u-DIEX 特有 操作]

ファイルやパッケージに対して操作を行なった日時のことです。

●操作履歴 [u-DIEX 特有 利用履歴機能]

ファイル/パッケージ/パッケージファイル/パッケージフォルダに対する操作履歴のことです。以下の3つの視点から操作履歴を表示します。

- 1.「全て」全ての操作が表示されます。
- 2.「ログオンユーザ」ログオンユーザに対する操作履歴が表示されます。
- 3.「送信先ユーザ別」アップロード、コピー時に設定した送信先に対する最終操作履歴が表示されます。

表示には、ALTER 権が必要です。

●送達確認「u-DIEX 特有 Web-EDI 機能]

指定した資源に対する送信先ユーザに情報(ファイル/パッケージ)が渡ったことを確認することができます。(通信部品のみ)

●組織 [u-DIEX 特有 組織]

利用者の所属する部門・グループの総称のことです。

●組織コード [u-DIEX 特有 組織]

部門・グループに付与された識別コードのことです。会社内で重複しない必要があります。

●組織情報 [u-DIEX 特有 組織]

利用者の所属する部門・グループの情報のことです。

●組織情報削除 [u-DIEX 特有 USER 管理機能]

組織情報の削除を行うことです。

会社管理者のみが自社内の組織情報を削除可能です。組織の削除は定義体を用いて一括登録にて行います。

●組織情報作成 [u-DIEX 特有 USER 管理機能]

組織情報の作成を行うことです。

会社管理者のみが自社内の組織情報を作成可能です。組織の作成は定義体を用いて一括登録にて行います。

●組織情報表示 [u-DIEX 特有 USER 管理機能]

組織情報の検索、表示を行うことです。

センタ管理者のみ全ての会社の組織情報の検索、表示が可能です。

●組織名 [u-DIEX 特有 組織]

利用者の所属する組織の名称のことです。

■■■ た行 ■■■

●タイムアウト時間(通信部品) [u-DIEX 特有 通信部品]

資源の送受信中に、何らかの原因で異常が発生した場合の、応答待ち時間のことです。

●タイムアウトリトライ回数(通信部品) [u-DIEX 特有 通信部品]

資源の送受信中に、何らかの原因で異常が発生した場合の、再実行する回数のことです。

●ダウンロード [u-DIEX 特有 Web-EDI 機能]

ファイル、パッケージ、パッケージファイル、パッケージフォルダを利用者のクライアントマシン内にダウンロードする操作のことです。ダウンロード先に既に同名のファイルが存在すると、「ファイル名_999」の形で別名でダウンロードされます。

●データ種別 [u-DIEX 特有 仕分機能]

仕分検索を行うための検索条件のひとつです。

●定義体 [u-DIEX 特有 定義体]

u-DIEX 上の資源についての各種定義(コード変換、表示用、入力用)を記述したファイルのことです。 ※各種定義の内容につきましては、オンラインマニュアルの「定義体」をご参照ください。

●ディレクトリ [u-DIEX 特有 送信先]

u-DIEX では、利用可能な会社や組織、ユーザ、プロセスの情報をディレクトリとして一元管理しています。 ディレクトリから送信先として設定することができます。

●取り出し [u-DIEX 特有 仕分機能]

登録されている仕分マスタをファイルとして取り出す機能のことです。取り出したファイルは仕分マスタの登録時にそのまま使用することができます。

●取り回しパターン(雛型) [u-DIEX 特有 設定]

パターンとして、以下の6つが存在します。

- 1.オーナからユーザへ情報を提供する業務。
- 2.別の格納場所で、オーナからユーザへ依頼し、ユーザから回答を取得する業務。
- 3.同一の格納場所で、オーナからユーザへ依頼し、ユーザから回答を取得する業務。
- 4.ユーザからオーナへ情報を提供する業務。
- 5.別の格納場所で、ユーザからオーナへ依頼し、オーナから回答を取得する業務。
- 6.同一の格納場所で、ユーザからオーナへ依頼し、オーナから回答を取得する業務。

■■■ な行 ■■■

●入力用 DTD 定義体 [u-DIEX 特有 定義体]

XML データの定義を行うファイルのことです。サービス内の xml ファイルと紐付けされ、開く(入力)時の XML データ妥当性チェックに適用します。※サービス単位で定義可能。

●入力用 XSL 定義体 [u-DIEX 特有 定義体]

XML データを表示するためのスタイルシートのことです。サービス内の xml ファイルと紐付けされ、開く(表示)時に適用されます。※サービス単位で定義可能です。

●認証局 [コンピュータ用語 セキュリティ]

電子的な身分証明書を発行する機関のことです。

■■■ は行 ■■■

●バイナリ [コンピュータ用語 コード形式]

コード形式無しのことです。ファイルをアップロードするときに特にコード形式にこだわらない場合には「バイナリ」と指定します。バイナリと指定してアップロードした場合には、ダウンロードや表示でのコード変換は行うことはできません。

●パスワード「u-DIEX 特有 プロセス]

通信部品が、u-DIEX にアクセスする場合には、プロセス ID とパスワードで認証しています。パスワード設定コマンドで、パスワードを変更します。

●パッケージ [u-DIEX 特有 資源]

u-DIEX 上の資源で、複数のファイル/フォルダをパッケージングしたもののことです。「パッケージフォルダ」「パッケージファイル」から構成され、操作がパッケージ単位で行えます。

●パッケージファイル [u-DIEX 特有 資源]

u-DIEX 上の複数のファイル/フォルダをパッケージングしたもののうち、「パッケージ」の中のファイルのことです。

●パッケージフォルダ [u-DIEX 特有 資源]

u-DIEX 上の複数ファイル/フォルダをパッケージングしたもののうち、「パッケージ」の中のフォルダのことです。

●パラメータ [コンピュータ用語 コマンド]

関数やコマンドを利用する際に、それらの名前に続けて記述する文字列のことです。

●表示用定義体 [u-DIEX 特有 定義体]

画面表示のための、文字コード(CharSet)、マイムタイプ、表示形式(タイトル、区切りバイト位置)を定義したファイルのことです。

●開く [u-DIEX 特有 Web-EDI 機能]

ファイル、パッケージファイルの中を参照することです。開くには、開く(表示)と開く(入力)の2通りがあります。開く(入力)でフォルダにファイルを作成する場合には、そのフォルダに対して READ/WRITE 権/ALTER 権を有する必要があります。

●ファイル [u-DIEX 特有 資源]

u-DIEX で資源を扱うときの基本単位である、電子データのことです。

●フォルダ 「u-DIEX 特有 資源]

u-DIEX 上の資源を保存しておく入れ物のことです。

●フォルダー括登録 [u-DIEX 特有 設定]

フォルダを作成する 1 つの方法で、まとめて複数のフォルダをバッチ的に一括して登録することです。オーナが登録可能です。

●フォルダ削除 [u-DIEX 特有 設定]

選択されているフォルダを削除することです。フォルダの配下に資源(フォルダ/ファイル/パッケージ/パッケージフォルダ/パッケージファイル)が存在する場合には全て削除されます。サービスのオーナおよびスーパーユーザが削除可能です。

●フォルダ削除履歴 [u-DIEX 特有 設定]

フォルダ削除を行った履歴で、削除完了日時、削除元アドレス、ステータスのことです。

●フォルダ作成 [u-DIEX 特有 設定]

カレントアドレスの配下に、フォルダの作成を行うことです。フォルダ作成時に送信先や各種基値(基値とは、公開日時、回答期限、有効期限を設定する為の相対日数)を設定します。サービスのオーナおよびスーパーユーザが作成可能です。

●フォルダ変更 [u-DIEX 特有 設定]

選択されているフォルダに対して、設定の変更を行うことです。フォルダ変更時に送信先や各種基値(基

値とは、公開日時、回答期限、有効期限を設定する為の相対日数)の変更が可能です。基値は変更された後に作成された資源に対して反映されます。サービスのオーナおよびスーパーユーザが変更可能です。

●ブラウザ [コンピュータ用語 インターネット]

WEB ページを閲覧する為のアプリケーションソフトのことです。インターネットから HTML ファイルや、画像ファイル、音楽ファイルをダウンロードし、レイアウトを解析して表示、再生する機能を持ちます。

●フリーパターン [u-DIEX 特有 仕分機能]

仕分検索を行うための検索条件のひとつです。

●フルパス [コンピュータ用語 コマンド]

目的のファイルを参照する時に、ルートディレクトリから目的のディレクトリまで順々に記述したパスのことです。

●プロキシ [コンピュータ用語 インターネット]

内部ネットワークとインターネットの境にあり、直接インターネットに接続できない内部ネットワークのコンピュータに代わって、「代理」としてインターネットとの接続を行うコンピュータのことです。また、その機能を実現するソフトウェアのことです。

●プロセス [u-DIEX 特有 プロセス]

u-DIEX が提供するデータ通信を主とした通信部品のことです。

●プロセス ID 「u-DIEX 特有 プロセス]

プロセスに付与された識別コードのことです。会社内で重複しない必要があります。

●プロセス管理者「u-DIEX 特有 アクタ]

プロセスを管理する人のことです。プロセス情報変更とプロセスのパスワード変更を行うことができます。

●プロセス固有情報ファイル [u-DIEX 特有 プロセス]

プロセス固有情報ファイルとは、プロセスが u-DIEX センタと通信するときの認証情報ファイルのことです。 通信部品を配信時にプロセス固有情報も合わせて配信しています。

●プロセス情報 [u-DIEX 特有 プロセス]

プロセスの情報で、プロセス名情報、OS、利用期間情報のことです。

●プロセス情報削除 [u-DIEX 特有 USER 管理機能]

プロセス情報の削除を行うことです。会社管理者のみが自社内のプロセス情報を削除可能です。

●プロセス情報作成 [u-DIEX 特有 USER 管理機能]

プロセス情報の作成を行うことです。

会社管理者のみが自社内のプロセス情報を作成可能です。

●プロセス情報表示 [u-DIEX 特有 USER 管理機能]

プロセス情報の検索、表示を行うことです。

ログオンユーザがプロセス管理者となっているプロセス情報の検索、表示が可能です。

●プロセス情報変更 [u-DIEX 特有 USER 管理機能]

プロセス情報の変更を行うことです。プロセス管理者、会社管理者が自社内のプロセス情報を変更可能です。

●プロセス名 [u-DIEX 特有 プロセス]

プロセスの名称のことです。

●プロトコル [コンピュータ用語 通信]

ネットワークを介してコンピュータ同士が通信を行う上で、相互に決められた約束事の集合のことです。

■■■ ま行 ■■■

●未読 [u-DIEX 特有 情報一覧]

表示条件の指定が「未開封」であることです。未開封とは、対象ファイルに対して、一度も「開く」「ダウンロード」「コピー」がされていない場合です。

●未利用 [u-DIEX 特有 情報一覧]

ログオンユーザ以外のユーザが、「未開封」であることです。未開封とは、対象ファイルに対して、一度も 「開く」「ダウンロード」「コピー」がされていない場合です。

●メール通知設定 [u-DIEX 特有 Web-EDI 機能]

Web-EDI サービスでは、メール通知設定を行なうことにより、ご利用のフォルダにファイル/パッケージが新規登録されるとメールを受け取ることができます。言語指定により、日本語又は英語で受け取ることができます。メール通知の停止もメール通知設定画面で行うことができます。

●名称選択 [u-DIEX 特有 仕分機能]

送信先に送信するデータに付ける名前の候補を選択することです。仕分検索後、名称選択画面で行うことができます。

●メンテナンス [u-DIEX 特有 送信先]

サービス内で共通に利用可能な「共有アドレス帳」に対して、追加・更新・削除・検索するメンテナンス機能のことです。

■■■ や行 ■■■

●ユーザ [u-DIEX 特有 ユーザ]

ATSC/TSC に登録され、かつ u-DIEX に登録された利用者のことです。

●ユーザ ID [u-DIEX 特有 ユーザ]

利用者に付与された識別コードのことです。会社内で重複しない必要があります。

●ユーザ情報 [u-DIEX 特有 ユーザ]

利用者の情報で、ユーザ名情報、勤務先情報、利用期間情報、資格情報(会社管理者かどうか)のことです。

●ユーザ情報削除 [u-DIEX 特有 USER 管理機能]

ユーザ情報の削除を行うことです。会社管理者のみが自社内のユーザ情報を削除可能です。

●ユーザ情報作成 [u-DIEX 特有 USER 管理機能]

ユーザ情報の作成を行うことです。会社管理者のみが、自社内のユーザ情報を作成可能です。

●ユーザ情報表示 [u-DIEX 特有 USER 管理機能]

ユーザ情報の表示を行うことです。会社管理者のみが自社内のユーザ情報を検索、表示可能です。

●ユーザ情報変更 [u-DIEX 特有 USER 管理機能]

ユーザ情報の変更を行うことです。会社管理者のみが自社内のユーザ情報を変更可能です。

●ユーザ名 [u-DIEX 特有 ユーザ]

利用者の名称(氏名)のことです。

●有効期限 [u-DIEX 特有 期日]

ファイルやパッケージをアップロード/コピー/開く(入力)するときにファイルを有効にする期限を設定します。有効期限を過ぎるとその資源は自動的に削除されます。有効期限を省略してアップロード/コピー/開く(入力)すると、その資源の置かれたフォルダに設定されている「有効期限基値」+現在の日時が有効期限に設定されます。

※タイムゾーン:日本時刻です。

●呼出 [u-DIEX 特有 仕分機能]

以前に保存した仕分検索の検索条件を表示する機能のことです。

■■■ ら行 ■■■

●利用 [u-DIEX 特有 情報一覧]

表示条件の指定が「未開封」であることです。未開封とは、対象ファイルに対して、一度も「開く」「ダウンロード」「コピー」がされていない場合です。

●利用者履歴 [u-DIEX 特有 利用履歴機能]

利用者が現在まで利用した Web-EDI サービスの履歴のことです。日時や操作内容、ステータス(正常のみ、警告のみ、異常のみ、全て)を指定して見ることができます。

●利用状況確認「u-DIEX 特有 利用履歴機能]

最後に利用した利用者、最後に利用した時刻の確認を行うことができます。全ての権限(ALTER 権)が付与されている資源に対して行うことができます。

●利用履歴 [u-DIEX 特有 利用履歴機能]

u-DIEX 上のファイル等を最後に利用した「機能」のことです。「機能」には、「開く(表示),開く(入力),ダウンロード,アップロード,コピー(参照),コピー(作成)」があります。

●ルート [u-DIEX 特有 アドレス]

u-DIEX 上のサービスはフォルダ構造をしています。ファイルを格納するフォルダ構造の TOP のことです。

●ロール「u-DIEX 特有 送信先]

u-DIEX 上の役割のことです。「ロール」には、「オーナ、スーパーユーザ、ユーザ」があります。

●ロールメンバ [u-DIEX 特有 送信先]

ロールに割り当てられた送信先のことです。